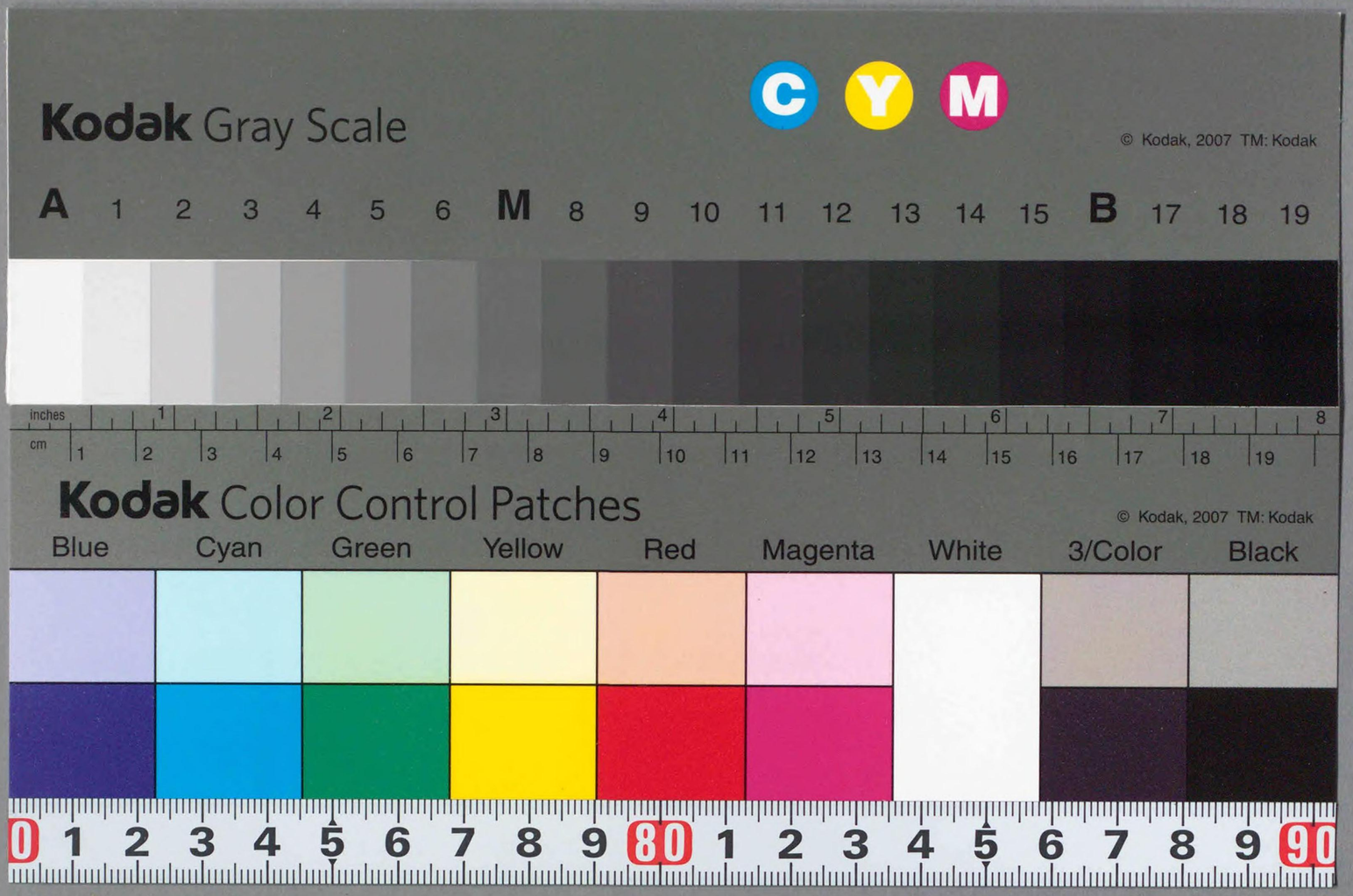


14.7
456
CZ-1451-35-01
12007013312 18
禁電子式複写

土木例規類集

千葉縣

14-7-456

目次

道路

道路取締ニ關スル件 一一
電柱移轉ニ關スル件 二二
遞信省ニ於テ電柱建設敷地測定ノ際立會ニ關スル件 二三
改修道路ニ關スル件 二三
仝 二三
道路ノ區域變更ニ關スル件 二四
道路占用規程 二七
府縣道占用其ノ他ニ關スル件 一〇
道路占用料徵收標準變更ニ關スル件 一一
占用料徵收標準 一二
街燈建設ノ爲ニスル道路占用ニ關スル件 一二
道路占用ニ關スル件 一三
道路法第五十條ニ依ル沿道ノ區域 一四
沿道取締規則 一四
沿道取締規則ニ關スル件 一五
仝 一五

河川港灣

河川取締規程 三一
河川管理員設置規程 三八
河川管理員執務心得 三八
江戸川筋其他ノ一部ヲ利根川ノ派川ト認定スルノ件 四二
河川法ヲ準用スヘキ河川認定ノ件（横利根川、北利根川） 四二
仝（鹿島川、印旛沼、長門川） 四二
仝（小櫃川、養老川） 四三
仝（長門川） 四三

横利根川其他ノ河川沼ニ河川法ヲ準用ノ件 四三
河川法ヲ準用ノ件 四三
河川法ヲ準用ノ件 四三
河川區域變更認定ノ件 四四
利根川河川區域變更ノ件 四四
江戸川河川區域認定ノ件 四五
附屬物認定ノ件 四五
河川附屬物認定ノ件 四六
仝 四六
仝 四八
利根川沿堤土地及河川附近ノ土地ノ區域認定ノ件 四九
利根川沿堤土地及河川附近地變更ノ件 五六
江戸川河川附近ノ土地ノ區域變更ノ件 五六
仝 認定ノ件 五六
河川附近地工作物施設ノ件 五七
明治三十三年勅令第三百號ノ家屋ノ意義ニ關スル件（東京府知事伺） 五七
治水工夫使用方心得ノ件 五八
水門管理ニ關スル件 五八
願書添申樣式ノ件 六〇
河川管理員ノ事務取扱ニ關スル件 六〇
河川管理員ニ於テ治水工夫使用ノ件 六〇
何川敷堤防敷占用料徵收標準 六〇
河川敷及堤防敷占用等河川ニ關スル出願ノ件 六一
河川敷及堤防敷ノ所屬ニ關スル件 六一
河川工作物及土木工事竣功届出ニ關スル件 六二
河川敷掃除ニ關スル件 六二
河川法第二十三條ニ依レル洪水防禦準備 六二
洪水防禦準備ヲ爲スヘキ公共團体指定ノ件 六三
洪水防禦準備手續 六四
水防委員設置規程 六四
水防地區及水防配置表 六五
水害防備ニ關スル件 六六
水防關係町村ニ對シ注意 六九
水量報告時刻表 七〇
土木事業取締規程 七一
水車願書取扱ニ關スル件 七三
勝浦港ノ區域認定ノ件 七九
水利關係者ノ調査ニ關スル件 七九
港灣ニ關スル無願土木工事取締ニ關スル件 八〇
港灣工事ニ關スル件 八〇
公水引用ノ出願ニ關スル件 八〇
河川法準用河川認定ノ件 八一

地理

國有財産使用及産物賣拂規則 八三
國有財産使用及産物賣拂ニ關スル手續 八七
國有土地其他願書取扱方ノ件 八七
官有堤防道路並木敷等ハ其ノ費用ノ負擔ニヨリ所屬ヲ定ムル件 八八
縣工事用土石採取ノ件 八八
公有水面埋立出願手續 八九
公有水面無願埋立取締ニ關スル件 九〇
道路法第六十二條ノ規定ニ依ル不用物件等處分ノ場合取扱方ノ件 九一
耕地整理施行ニ關スル申請書其ノ他樣式 九一
縣有財産管理規則 九六

縣工事

道路工事執行令 九九
道路工事執行令施行細則 一〇二
道路以外ノ工事執行ニ關スル件 一〇七
直轄工事施行規定 一〇八
工事竣功延期及材料完納延期ノ件 一〇九
入札保證金及請負契約保證金免除ノ件 一〇九
仝 一〇九
請負人身分證明書及資格證明書ニ關スル件 一〇九
仝 一一〇
身分證明及資格證明ニ關スル件 一一〇
セメント檢收內規ニ關スル件 一一〇
セメント試驗施行ニ關スル件 一一一
セメント檢收內規附檢定法 一一一
セメント試驗法 一一二

補助工事

土木費縣費補助規則 一一五
土木費縣費補助規則施行手續 一一七

會計

千葉縣會計規則 一二九
千葉縣會計規則施行細則 一三五
千葉縣雜部金出納規則 一四三

道路

目次

千葉縣物品會計規則 一四四
縣費支辨給料手當及旅費支給規則 一五〇
經費節約ノ爲半紙罫紙使用ノ件 一五五
縣費支辨ノ官吏吏員職員及雇員傭員ノ宿直及徹夜勤務食料 一五五
測量人夫使用ノ件 一五六
配付豫算ノ件 一五六
測量ニ要スル物品借入ノ件 一五七
收入印紙ノ拂高報告ニ關スル件 一五七
宿直賄料ノ請求ニ關スル件 一五七

雜

土木出張所設置ノ件 一五九
工區廢止ノ件 一五九
月額旅費支給ノ件 一五九
土木出張所規程 一五九
土木出張所處務細則 一六一
土木出張所規定等制定ノ件 二〇四
工區事務監督規定 二〇四
常工夫表彰規程 二〇五
出張下令申請方ニ關スル件 二〇六
警察罰則(抜萃) 二〇六
測量標取締ノ件 二〇六
勤怠報告ノ件 二〇六
建築工事費ニ關スル件 二〇七
傭員ニ辭令書交附ノ件 二〇八
縣廳直轄工事ノ件 二〇九
建築技術員市內ニ於テ工事監督ニ從事スル場合手當支給ノ件 二〇九
市町村長委任事項(抄) 二一〇
市町村長委任事項ニ關スル件 二一〇
占用料徵收ニ關スル件 二一〇
自轉車鑑札取締ノ件 二一一
縣費支辨道路延長幅員勾配屈曲表及橋梁表提出ノ件 二一一
工事監督日誌ニ關スル件 二一一

道路取締ニ關スル件

（大正十年二月十第二九五號
各工區主幹宛內務部長通牒）

道路取締令第十七條ノ規定ニ依リ國道、府縣道ノ道路工事ニ關シ管理者ニ於テ道路ノ通行ヲ禁止制限スルノ必要アル場合ニ於テハ豫メ警察官署ト協議シテ便宜建札シ其ノ旨速ニ報告セラルヘク　又道路法第二十八條ノ規定ニ依リ國道、府縣道ノ占用願出ヲ受ケタル場合ニ於テモ警察官署ヘ照會シ其ノ回答書ヲ添付進達スルコトヲ要スルコトト承知セラルヘク此段及通牒候也

追テ本文ノ道路ノ通行禁止又ハ制限ハ工事上必要ノ區域ノミニ止ムヘキハ勿論ノ義ニ有之候得共從來往々必要ノ區域外ナル廻リ道ノ地點ニ榜示札ヲ建設シタルモノ有之哉ニ承知セラレ候右ハ畢竟便宜ノ方法ニ出テタルモノナルヘクモ廻リ道ニハ單ニ「此ノ先ニ通行禁止（又ハ何々）ノ箇所アリ」等ノ注意札ヲ建札シ禁止制限ノ榜示札ハ必要區域ヲ超越セサル樣留意相成度尚榜示札ハ大略左記樣式ニ據ラルヘク候此段申添候

榜示

車馬通行禁止（何々）

但シ郵便車消防器械車ニ限リ特ニ通行スルコトヲ得

年月日　縣名

電柱移轉ニ關スル件

（大正十一年二月十第二二一號
各工區主幹宛　內務部長通牒）

國府縣道路工事ノ爲メ電柱ノ移轉ヲ要スルモノハ別紙樣式ニ依リ取調ヘ平面圖添付工事執行伺ト共ニ移轉方上申相成度此段及通牒候也

追テ平面圖ニハ工事計畫幅員線ヲ記入シ又遞信省所管電柱ニ付テハ移轉費見積額ヲ工事設計書ニ掲上セラレ度候

電柱移轉調書

道路ノ路線名及種類	電柱電線電線現在所在地路名番號位置	計畫道路ニ對スル位置移轉事由	管理者

備考

一、現在ノ位置欄ニハ法敷路端ヨリ何尺又ハ曲角ヨリ何尺ノ處ト記入ノコト

一、計畫道路ニ對スル位置欄ニハ計畫道ノ路端ヨリ何

尺又曲角ヨリ何尺ノ處ト記入ノコト

遞信省ニ於テ電柱建設敷地測定ノ際立會ニ關スル件

（大正十一年三月十五日第二、一五〇號各工區主幹宛　内務部長通牒）

遞信省ニ於テ電柱建設敷地ヲ國府縣道ニ於テ測定ノ際立會ヲ命セラレタル場合ハ交通並ニ道路改良工事施行ノ關係ヲ顧慮シ道路ノ曲角又ハ曲角附近ニ其ノ位置ヲ選定セシムルカ如キコトハ萬々無之樣相當注意相成度尚止ムヲ得サル事由ノ爲立會スルコトヲ得サリシトキハ其ノ事由ノ止ミタル後直ニ測定位置ヲ調査シ若シ交通上道路維持上又ハ工事施行關係上障害アリト認メタル箇所ニ付テハ其ノ事由ヲ取急ギ報告セラレ度此段及通牒候也

追ヲ右報告書ニハ測定位置表示圖ヲ添付セラレ度

改修道路ニ關スル件

（大正十一年五月十五日第一、六六七號各工區主幹宛　内務部長通牒）

道路工事ノ爲メ道路ノ區域ニ變更ヲ來シ又ハ供用ヲ廢止スヘキ道路ヲ生シタル場合ハ工事完成ト共ニ別紙調書及道路平面圖提出有之度此段及通牒候也

備考

一、平面圖ニハ改修道路ノ起終點地ノ字名及地番ヲ表示スルコト

二、平面圖ニハ測點地ヲ表示シ其ノ地點ニ於ケル道路ノ敷幅ヲ記載スルコト

三、圖面ハ二葉添付スルコト

改修道路調

道路ノ種類	路線名	改修區間	改修道路		改修前道路	
			延長	巾員	延長	巾員

供用廢止道路調

道路ノ種類	路線名	供用廢止區間	延長	幅員	面積	民有地 町村、字名、地番、地目、	所有者
		自何町村何大字何字何番地至仝上					

備考

一、平面圖ニハ廢止道路ノ起終點地ノ字名地番ヲ記載スルコト

二、面積計算表ヲ添付スルコト

改修道路ニ關スル件

（大正十二年四月十日第七二四號各工區主幹宛　内務部長通牒）

道路工事ノ爲道路ノ區域ヲ變更シ其ノ供用ヲ廢止スヘキ道路ヲ生シタル場合ノ報告ニ付テハ大正十一年五月二十日附土第一、六六七號及同十二年四月十九日附土第七二四號通牒ノ通ナルモ添付ノ平面圖ニシテ從來ノ區域ト變更ニ依ル區域ト判然セサルモノアリ取扱上支障多キニ付色分ケヲ以テ表示セラレ度尚供用廢止ノ後町村道トシテ存置ノ必要アルモノ交換スルモノ又ハ賣却處分ヲ爲スヘキモノアル場合ハ夫々其圖面ニ明記シ外ニ其ノ局部圖左記ノ通リ添付セラレ度

(イ)交換箇所平面圖二葉

(ロ)町村道トシテ存置ノ箇所平面圖二葉

(ハ)賣却處分個所平面圖（求積圖）一葉公圖寫三葉

舊府縣道敷中市町村道トシテ存置調書

道路ノ種類	路線名	市町村道トシテ存置區間	延長	幅員	面積

備考

一、平面圖ニハ供用廢止ノ區間ト市町村道トシテ存置スヘキ區間ヲ區別表示シ其ノ起點終點ノ字名地番ヲ記載スルコト

二、面積計算表ヲ添付スルコト

道路ノ區域變更ニ關スル件

（昭和三年十二月工區事務主任會議注意事項）

改修ノ爲道路ノ區域ニ變更ヲ生シタル場合ノ報告ニ付テハ大正十一年五月二十日附土第一、六六七號及同十二年四月十九日附土第七二四號通牒ノ通ナルモ添付ノ平面圖ニシテ從來ノ區域ト變更ニ依ル區域ト判然セサルモノアリ取扱上支障多キニ付色分ケヲ以テ表示セラレ度尚供用廢止ノ後町村道トシテ存置ノ必要アルモノ交換スルモノ又ハ賣却處分ヲ爲スヘキモノアル場合ハ夫々其圖面ニ明記シ外ニ其ノ局部圖左記ノ通リ添付セラレ度

(イ)交換箇所平面圖二葉

(ロ)町村道トシテ存置ノ箇所平面圖二葉

(ハ)賣却處分個所平面圖（求積圖）一葉公圖寫三葉

道路占用規程

（大正十一年六月縣令第四〇號）

第一條　道路法第二十八條第一項ノ規程ニ依リ國道又ハ府縣道ヲ占用セムトスルモノハ願書ヲ知事ニ差出スヘシ

第二條　前條ノ願書ニハ左記事項ヲ記載シ占用地及其ノ附近ノ平面圖占用地實測圖並工作物ノ施設ヲ目的トスルモノニアリテハ工事仕樣書、工作物構造圖及占用地ノ斷面圖ヲ添付スヘシ但シ輕易ナル事件ニ限リ構造圖及斷面圖ヲ省略スルコトヲ得

一、占用スヘキ道路ノ種類、路線名、及其ノ位置

二、占用面積

瓦斯管路及引水管ノ如キ地下埋設物ハ其延長直徑電柱及之ニ類似ノモノハ其本數、又看板廣告板ノ類ハ其ノ板面積ヲ記載スヘシ

三、占用ノ目的

四、占用期間

五、占用ノ方法

六、占用料

七、工作物ヲ施設スルモノニ在リテハ其ノ工事ノ着手及竣功期限

八、占用者ノ住所氏名

第三條　占用ノ許可又ハ承認ヲ受ケタル後其ノ目的方法又ハ施設ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ改メテ出願スヘシ

第四條　占用ヲ繼續セムトスルトキハ占用滿了前一ケ月以內ニ第二條ニ準シタル繼續占用願書ヲ差出スヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ附屬書類ヲ省略スルコトヲ得

第五條　占用者其ノ住所氏名ヲ變更シタルトキ又ハ相續ニ因リ占用權ヲ繼承シタル者ハ直チニ戶籍抄本ヲ添ヘ知事ニ届出ツヘシ

第六條　占用期間ハ特別ノ事由アル場合ヲ除ク外五箇年以內トス

第七條　占用ヲ許可又ハ承認シタルトキハ占用料ヲ徵收スヘシ但シ公共ノ利益トナルヘキ事業ノ爲又ハ特別ノ事由アル場合ニ於テハ占用料ヲ免除若クハ減額スルコトアルヘシ

第八條　占用料ハ會計年度ニ依リ一年度分ヲ其年度始ニ之ヲ徵收ス但シ一年ニ滿タサルモノハ月割又一箇月ニ滿タサルモノハ日割ヲ以テ之ヲ徵收ス

既納ノ料金ハ之レヲ還付セス但シ道路法第五十一條第一項第四號及第五號ニ該當シ同法ニ依リ許可又ハ承認ヲ取消シタルトキニ於テハ其ノ翌月以降ノ料金ハ之ヲ還付ス

第九條　占用地ニハ占用坪數、占用期間及ヒ占用者ノ住所氏名ヲ表示シタル標札ヲ建設スヘシ　但シ瓦斯管路ノ埋設電線路建設又ハ之ニ類スル設備ノ占用ニ付テハ此限ニアラス

第十條　占用ニシテ其ノ效力ヲ失ヒタルトキ又ハ占用ヲ廢止シタルトキハ土地ヲ原形ニ復シ遲滯ナク其旨ヲ届出ツヘシ

第十一條　占用者前條又ハ許可承認ノ際附シタル條件ニ基ク義務ヲ履行セサルトキハ知事代テ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ執行セシム

此ノ場合ニ於ケル費用ハ占用者ノ負擔トス

第十二條　占用權ハ之ヲ担保ニ供シ又占用地ハ貸付スルコトヲ得ス占用權ヲ讓渡セムトスル者ハ願書ヲ知事ニ差出スヘシ

第十三條　道路附屬物ノ占用ニ付テハ本令ヲ準用ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ニ依ル願書、届書ハ所轄工區ヲ經由スヘシ

府縣道占用其ノ他ニ關スル件

（大正十二年七月十第一三三三號各工區主幹宛　內務部長通牒）

府縣道占用其ノ他ニ關シ左記各項注意相成度爲念此段及通牒候也

記

一、道路占用願出アリタル場合ハ速カニ其ノ實況ヲ調査副申セラルヘキ筈ナルニ從來ノ實例ニ依ルニ許可前既ニ占用シ工作物ヲ建設セル向アルカ如キハ頗ル遺憾トス自今許可書交付後ニアラサレハ建設セシメサル樣注意セラルヘク又電線路建設ノ爲道路ヲ占用スルハ他ニ建設スヘキ餘地ナキ場合ニ限ル義ニ付願書受理ニ際シテハ一般交通上支障ノ有無ヲ調査スルハ勿論如上ノ事實調査副申相成度候

二、府縣道ノ改修報告ニ添付スヘキ圖面ノ調製方一般ニ粗略ニ流レ舊道路ノ區域ト改修道路ノ區域明瞭ナラサルモノアリ自今左記各號ニ依リ取扱相成度

(1)平面圖ハ六百分一トスルコト

(2)改修前道路ノ區域ト改修後道路區域ヲ明瞭ナラシムルコト

(3)改修ノ舊府縣道敷地中町村道トシテ存置ヲ要スル部分ハ之ト連絡スヘキ町村道ノ幅員等ヲ參酌シ最少限度ニ止メ平面圖中採色ヲ以テ其ノ分界ヲ明瞭

ナラシムルコト

道路占用料徴收標準變更ニ關スル件

（大正十五年一月十第一七五五號各工區主幹宛　內務部長通牒）

大正九年八月廿日土第一七五五號ヲ以テ通牒致候道路占用料徴收標準ノ件別表ノ通リ變更致候條道路及其ノ附屬物ノ占用ノ許可又ハ承認ニ關スル書類ヲ受ケタルトキハ許否ニ關スル意見ト共ニ其ノ適當ト認メタル占用料申報相成度此段及通牒候也

理由

現住ノ占用料ハ大正九年八月十三日內務省千土第三〇號ヲ以テ認可セラレタル徴收標準ニシテ當時決定ノ根據タル民有宅地賃貸料ハ其ノ後漸時高騰ヲ重ネ候ニ付隨テ一部ヲ別表ノ如ク變更ヲ要シ候

備考

前占用料金徴收ニ付テハ大正九年三月內務省令第六號第十五項ニ依リ內務大臣ノ認可ヲ要シ候處大正十五年九月一日內務省令第四十四號ヲ以テ認可ヲ要セサルコト、相成候

占用ノ目的	徴收	標準 市街地	標準 其他ノ個所
一、建設ノ爲占用スルモノ　電柱街燈標識類	建設物一本又ハ一個ニ付一ケ年　支柱支線等ハ本柱以外之レヲ一本トシテ計算　電柱建設ノ爲占用スルモノニアリテハ一本一ケ年金十八錢ヲ下ラサルモノトス	金十二錢以上	金六錢以上
二、看板廣告板類建設ノ爲占用スルモノ	板面一平方尺ニ付一ケ年	金六錢以上金十八錢以下	金三錢以上金十錢以下
三、露店、祭典、縁日、歳ノ市、草市、市日、賣出等ノ爲臨時占用スルモノ	而積一坪ニ付一日	金五錢以上金十五錢以下	金三錢以上金十錢以下
四、地方鐵道法又ハ軌道條例ニ依ル軌條敷設ヲ含マス	而積一坪ニ付一ケ年	金十二錢以上金七十二錢以下	金六錢以上金三十六錢以下
五、鐵管、水管、土管類又ハ電話線布設ノ爲地下ヲ占用スルモノ	長一間ニ付一ケ年	金三錢以上金十五錢以下	金二錢以上金八錢以下
六、前各號ニ掲クルモノ布設ノ爲橋梁ヲ占用スルモノ	長一間ニ付一ケ年	金二十錢以上金一圓以下	金二十錢以上金一圓以下

備考

標準範圍ニ於テ占用ノ箇所目的期間等ヲ斟酌シテ之ヲ定ムルモノトス特殊ノ事情ヲ有シ標準ノ區分ニ據リ難キモノハ各區分ヲ通シタル範圍ニ於テ定ムルモノトス

占用期間ハ一ケ年未滿ノ端數ニ對シテハ月割ヲ以テ算定ス

街燈建設ノ爲ニスル道路占用ニ關スル件

（昭和三年十二月各工區主幹宛內務部長通牒）

街燈建設ノ爲ニスル道路占用ハ路面幅四間以上ノ道路ニ非サレハ許可セサル方針ニ付右ニ依リ取扱相成度此段及通牒候也

追テ法敷ニ建設スル場合ハ本文ニ依ラサル儀ト御了知相成度

道路占用ニ關スル件

（昭和三年十二月工區事務主任會議注意事項）

道路占用ニ關シテハ左記事項特ニ留意セラレタシ

(イ)道路ヲ占用セシムルハ他ニ相當余地ナク占用スルノ緊切必要アル場合ニ限ルモノナルヲ以テ之カ出願ニ對シテハ充分現狀ヲ調査シ濫リニ占用セシムルカ如キ事ナキ樣留意シ大正九年七月內務省訓令第一一一號ノ趣旨ニ基キ適當ノ措置アリタシ

(ロ)道路占用願書提出ノ場合ニ於テ工區主幹ハ既定占用料標準表ニ據リ其ノ地方ノ狀況等ヲ斟酌シテ適當ノ料金ヲ內申スヘキニ其ノ副申ヲ欠クモノ及標準ニ反シタル料金ノ內申ヲナス向アリ右ハ料金算定上遺憾ニ付爾今留意アリタシ

(ハ)道路ヲ臨時占用セントスルモノアルトキ往々ニシテ占用期日經過後ニ於テ願書提出スル向アリテ取扱上支障尠カラサルハ勿論監督上遺憾ノ次第ニ付之カ占用期日ト願書到達月日トヲ相當考慮ノ上提出方取計ハレタシ

(ニ)道路繼續占用方出願ノ場合從來占用規程第二條ノ附屬書類ヲ省略シタルモ右ハ之カ詮議上必要ニ付爾今平面圖及斷面圖ヲ添附セシメラレタシ

道路法第五十條ニ依ル沿道ノ區域

（大正十一年八月縣告示第二二七號）

道路法第五十條ノ規定ニ依ル沿道ノ區域ハ國道府縣道ニ在リテハ特ニ定ムルモノヲ除クノ外道路ノ各一側ニ五間トス

沿道取締規則

（大正十二年七月縣令第三六號）

第一條　沿道ノ區域ニ於テ家屋、倉庫、牆壁其ノ他永久ニ亘ル工作物ノ新設、改築又ハ地形ニ變更ヲ來スヘキ作業ヲ爲サムトスル者ハ道路管理者ノ許可ヲ受クヘシ

第二條　願書ニハ左ノ事項ヲ記載シ附近ノ狀況及施設工事ト道路トノ關係ヲ明示シタル圖面ヲ添付スヘシ但シ必要アル場合ニ於テハ工事設計書工作物構造圖ヲ差出サシムルコトアルヘシ

一、道路ノ種類、路線名及工事箇所
二、工作物（又ハ工事）ノ種類及工事ノ概要
三、工作物（又ハ工事）ノ目的
四、工事ノ着手期日及竣功期限
五、出願人ノ住所氏名
六、出願年月日

第三條　第一條ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四條　前條ノ罰則ハ之ヲ法人ニ適用ス
法人ヲ處罰スヘキ場合ハ其ノ代表者ヲ以テ被告人トス

附　則

本令ハ大正十二年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令ニ依ル願書ニシテ國道、府縣道ニ係ルモノハ所轄工區主幹ヲ經由スヘシ

沿道取締規則ニ關スル件

（大正十二年八月各郡、市長、各警察署長宛內務警察兩部長通牒）

今般縣令第三十六號ヲ以テ沿道取締規則ヲ發布八月一日ヨリ施行セラレ候處右ハ道路ノ保護及交通ノ保全ヲ圖リ其ノ効用ヲ充分ニ發揮セシムル爲沿道ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲ニ對シ制限ヲ附スルノ必要ヲ認メタル次第ニシテ之カ施行ニ關シテハ適應ノ方法ヲ以テ一般住民ニ對シ縣令發布ノ趣旨ヲ徹底セシムルコト極メテ緊要ノ事ト存候ニ付左記各項了知ノ上部內一般ニ周知方取計相成度依命此段及通牒候也

記

一、沿道取締規則ハ道路法第四十九條ニ基キタルモノニシテ從テ其ノ取締ヲ受クヘキハ獨リ國道府縣道ノ沿道ノ區域タルニ止マラス市道町村道ノ沿道ノ區域モ亦本規程ノ取締ヲ受クヘキハ勿論ナリトス

二、沿道ノ區域トハ道路保護交通保全ノ爲ニ定メタル區域ニシテ國道府縣道ニ付テハ大正十一年八月縣告示第二百二十七號ヲ以テ道路ノ各一側五間ト定メラレタリ又市町村道ニ付テハ其ノ管理者タル市町村長ノ定メタル區域トス

三、沿道ノ區域內ニ於テ工作物ノ新設其ノ他永久ニ亘ルヘキ作業ヲ爲サムトスル者ハ其ノ着手前沿道取締規則第二條ノ願書ヲ提出シ許可ヲ受クルコトヲ要ス從來道路占用願等ノ事例ニ徵スルニ許可前既ニ工作物ヲ建設セルカ如キ不都合ノ向アリ是レ等ニ對シテハ將來嚴重取締ヲ要ス本件モ亦願書提出セハ必ス許可セラルヽモノヽ如ク極メテ輕易ニ心得許可前沿道區域ニ工作物ヲ施設シ若ハ永久ニ亘ルヘキ作業ヲナシ爲ニ規則第三條ノ處分ヲ受クルノミナラス施設物ノ撤去ヲ命セラルヽカ如キコトナキ樣特ニ注意セシメラルヽコト

四、工作物ノ種類又ハ用途ニ就キ他ノ法令ニ於テ警察官署其他ノ認許ヲ要スヘキモノナルトキハ沿道取締規則ニ依リ許可ヲ受クルノ外仍ホ他ノ法令ニ依ル認許ヲ受クルコト

五、市街地等ニ於テ住宅ヘ出入ノ爲道路ノ側溝ニ施ス工事ノ如キハ沿道取締規則ニ依ルヘキモノニアラス道路工事ノ施行トシテ許可ヲ受クヘキモノニ付誤解ナキ樣注意スルコト

六、沿道取締規則ニ依ル願書等ハ所轄工區ヲ經由スヘキモノニ付注意スルコト

沿道取締規則ニ關スル件

（大正十二年八月十五日第一、四三五號各工區主幹宛內務部長通牒）

今般縣令第三十六號ヲ以テ沿道取締規則ヲ發布八月一日ヨリ施行セラレ候處右ハ道路ノ保護及交通ノ保全ヲ圖リ以テ交通機關タル本能ヲ發揮セシムル爲沿道ノ區域內ニ於ケル永久的施設ニ對シ制限ヲ加フルノ必要ヲ認メタル次第ニシテ之カ施行ニ付テハ法令制定ノ精神ハ勿論之カ實施ニ關シ一般住民ニ周知セシムル爲別紙ノ通各郡市長、警察署長、同分署長ニ對シ通牒置候モ

協力徹底ニ努メラレ度尚本件願書ヲ受理シタルトキハ左記事項注意相成度此段及通牒候也

記

一、願書ヲ受理シタルトキハ實地調査ノ上六百分一圖面ニ依リ道路區域、沿道區域及出願ニ係ル施設物、作業等ノ關係ヲ明カナラシムルコト

二、地先國道及府縣道ノ幅員並今後改修等ノ場合ヲ豫想シタル意見

三、許可ニ當リ必要ト認ムヘキ條項其ノ他參考トナルヘキ事項

沿道區域取締ニ關スル件

（大正十二年九月十第一七五九號 北條、木更津、八幡各工區主幹宛內務部長通牒）

本月一日ノ災害ニ於テ家屋倒潰其他ニ依リ府縣道沿道區域ニ再築スル場合ニ沿道取締規則ニ依リ許可ヲ受クヘキハ勿論ニシテ之カ取扱上左記事項注意相成度爲念此段及通牒候也

記

一、改修計畫路線ニ付テハ道路區域ト建設物トノ間相當間隔ヲ存セシメ改修工事施行ニ當リ移轉スルカ如キコトナカラシムルコト

二、曲角緩和ヲ要スル箇所ハ此際豫メ注意ヲ與ヘ相當餘地ヲ存セシムルコト

三、前二項以外ノ場所ト雖道路區域ト建設物雨落ハ少クトモ一尺五寸以上ノ間隔ヲ存セシムルコト

沿道區域取締ニ關スル件

（大正十二年九月十第一七五九號 各工區主幹宛 內務部長通牒）

沿道ノ區域取締規則ニ依リ願書ヲ受理シタル場合ノ取扱方ニ關シテハ客月三日附十第一四三五號ヲ以テ通牒シ置タルニ不拘單ニ支障ナキ旨ヲ副申スル向アリテ處理上差支不尠候條自今必ス右通牒各項ニ依ルノ外左記事項注意相成度此段及通牒候也

記

一、工區ニ於テ調製ノ圖面ニハ道路區域ト工作物トノ間隔ヲ記入スルコト

二、家屋建設等ニ關スル願書ニハ斷面圖ヲ添付セシムルコト

町村道路線認定其他ニ關スル事務取扱方ノ件

（昭和四年六月十第二四四八號 各町村長宛 內務部長通牒）

町村道ニシテ道路法第五十二條ニ依リ監督官廳ノ認可ヲ受クヘキ事項ノ事務取扱方ニ關シテハ往々過誤アキヲ保セス且統一ヲ欠クノ嫌モ有之候條路線ノ認定變更又ハ廢止ニ關シテハ爾今左記ニ依リ御取扱相成樣致度此段及通牒候也

記

一、調書

イ、路線認定調書ハ別表樣式ニ準據シ變更ノ場合ニ在リテハ新舊ヲ對照スルコト

路線名ハ路線ノ目的ヲ知ルニ便ナラシムル樣可成起終點ノ地名ニ因ミ名稱ヲ附スルコト

ロ、他管內ニ起點又ハ終點ヲ有シ若ハ通過ノ路線ニ付テハ相互ノ聯絡ニ付關係市町村ト協議シタル顚末書

ハ、認定（變更又ハ廢止）理由書

ニ、町村會諮問案及之ニ對スル答申書寫

二、平面圖

イ、認定又ハ廢止變更ヲ爲サムトスル路線（朱色點線）ト他ノ路線（朱色實線）トノ聯絡關係及周圍ノ狀況

ロ、路線名並ニ起點終點及重要ナル經過地ノ地名（又ハ番地）

ハ、他ノ市町村ニ關係ヲ有スル路線ニ付テハ其ノ聯絡關係

路線認定（變更又ハ廢止）ノ告示ニハ施行令第六條ノ規定ニ依リ別記樣式ニ準據スルコト

道路ノ供用開始又ハ廢止ノ告示ニ表示スヘキ事項ハ該當區間ニ付路線認定ノ場合ニ準スルコト

別表樣式ノ一

町村道路線認定調書　町村

路線名	認定路線起點	重要ナル	認定路線延長	
	終點	經過地	道路橋梁渡船場	他ノ路線ニ屬スル
			延長	延長
			米	米
			米	米
			何線 自大字 至大字	
			米	

（備考）他ノ路線ニ屬スル區間ノ延長ハ甲線ニ認定シタルモノノ一部ヲ起點又ハ終點ノ關係上再ヒ乙線ノ一部トシテ認定スル場合ニ記入シ道路橋梁渡船場等ヲ區別セス其ノ總延長ヲ記載スルコト

様式ノ二

町村告示第　　號

左ノ路線ヲ町村道ノ路線ニ認定ス

年　月　日　　町村長

路線名	認定路線 起點 終點	重ナル經過地

變更廢止ノ場合ニ於テハ認定ノ場合ニ準スルコト

國府縣道路ノ附屬物管理者ノ件

（大正九年十月縣告示第二七三號）

本縣ト茨城縣トノ行政區劃ノ境界ニ係ル國道及府縣道路ノ附屬物ノ管理者ヲ左ノ通相定ム

記

路線名	位置 千葉縣	位置 東京府	附屬物ノ種類	附屬物ノ名稱	管理者	管理區間
四五號 關宿、境線	東葛飾郡關宿町大字臺町	猿島郡境町大字境	渡船場	境渡	茨城縣	大字臺町 大字境 間
四六號 野田岩井線	東葛飾郡川間村大字小山	猿島郡中川村大字莚打	同	小出渡	同	大字小山 大字莚打 間
三八號 野田守谷線	東葛飾郡福田村大字三堀	北相馬郡大野村大字野木崎	同	我慢渡	同	大字三堀 大字野木崎 間
六號 東京ヨリ宮城縣廳所在地ニ達スル路線	東葛飾郡我孫子町大字青山	北相馬郡取手町大字取手	同	青山渡	千葉縣	大字青山 大字取手 間
四七號 布佐、龍ヶ崎線	東葛飾郡布佐町大字布佐	稻敷郡布川町大字布川	同	上ノ渡	同	大字布佐 大字布川 間
五〇號 成田、龍ヶ崎線	印旛郡布鎌村大字北	稻敷郡生坂村大字藤藏	同	藤藏渡	同	大字北 大字藤藏 間
六九號 神崎、江戸崎線	香取郡神崎町大字神宿本宿	稻敷郡十余島大字押砂	同	神崎渡	同	大字神崎本宿 大字押砂 間
七〇號 佐原、麻生線	香取郡新島村大字三島	行方郡香澄村大字牛堀	同	牛堀渡	茨城縣	大字三島 大字牛堀 間

國府縣道路ノ附屬物管理者ノ件

（大正九年十月縣告示第二七四號）

本縣ト東京府トノ行政區劃ノ境界ニ係ル國道及府縣道路ノ附屬物ノ管理者ヲ左ノ通相定ム

記

路線名	位置 千葉縣	位置 東京府	附屬物ノ種類	附屬物ノ名稱	管理者	管理區間
六號 東京市ヨリ宮城縣廳所在地ニ達スル路線	東葛飾郡松戸町	南葛飾郡金町	橋梁	葛飾橋	千葉縣	東京府管內ニ於テ橋面ノ末端ヨリ長五間ノ間
七號 東京市ヨリ千葉縣廳所在地ニ達スル路線	東葛飾郡市川町	南葛飾郡小岩町	同	江戸川橋	同	同
二三號 浦安、東京線	東葛飾郡浦安町	東葛飾郡葛西村	渡船場	長島渡	東京府	千葉縣管內ニ於ケル渡船地帶迄
二四號 行德、東京線	東葛飾郡南行德村	南葛飾郡瑞江村	橋梁	下江戸川橋	東京府	千葉縣管內ニ於テ橋面ノ末端ヨリ長五間ノ間

國府縣道路ノ附屬物管理者ノ件

（大正九年十二月縣告示第三七三號）

本縣ト埼玉縣トノ行政區劃ノ境界ニ係ル府縣道路ノ附屬物ノ管理者ヲ左ノ通相定ム

記

路線名	位置 千葉縣	位置 埼玉縣	附屬物ノ種類	附屬物ノ名稱	管理者	管理區間
四一號 流山、越ヶ谷線	東葛飾郡流山町加	北葛飾郡早稻田村田中新田	渡船場	矢川原渡	千葉縣	渡船場延長全部
四四號 關宿、幸手線	東葛飾郡關宿町江戸町	北葛飾郡豐岡村西關宿	同	御關所渡	埼玉縣	同
四三號 東寶珠花、戸線	東葛飾郡二川村東寶珠花	北葛飾郡寶珠花村西寶珠花	同	寶珠花渡	同	同

國府縣道路ノ附屬物管理者ノ件

（昭和三年四月縣告示第一六九號）

行政區劃ノ境界ニ係ル府縣道路線ノ道路附屬物ノ管理ニ關シ埼玉縣ト協議シ左ノ通定ム

記

路線名	位置 千葉縣	位置 埼玉縣	附屬物ノ種類	附屬物ノ名稱	管理者	管理區間
野田、越ヶ谷線	東葛飾郡野田町中野臺	北葛飾郡金杉村金杉	橋梁	野田橋	千葉縣	橋梁全延長

縣工事ニ要スル土地及地上物件調査手續

（昭和四年七月十日第二、七〇二號各工區主幹宛　內務部長通牒）

第一條　縣工事ノ爲必要ナル土地及取拂移轉ヲ要スル地上物件ハ本手續ニ依リ之ヲ調査スヘシ

第二條　土地及地上物件ノ調査ヲ爲サムトスルトキハ當該市町村吏員及所有者若ハ占有者ノ立會ヲ求ムヘシ

第三條　買收若ハ使用スヘキ土地ハ先ツ其ノ境界標所在ノ踏査ヲ遂ケ一筆ノ土地ニシテ分裂ヲ要スルモノヲ概知スヘシ

第四條　前條ノ踏査ヲ了リタルトキハ所轄稅務署ノ一筆限圖及土地臺帳ニ依リ買收又ハ使用スヘキ部分ヲ謄寫シ第一號樣式ノ土地調査臺帳及附屬圖面ヲ調製スヘシ

前項ノ土地調査臺帳ハ所轄登記所ノ登記簿ニ對照シ地名地番地目反別並權利者ノ氏名及已登記未登記ヲ明カニシ尙權利者ノ住所氏名ハ戶籍簿ト照合スヘシ

第五條　一筆ノ土地ノ全部ヲ要スル場合ハ土地臺帳記載ノ反別ニ依リ其ノ面積ヲ定ムヘシ但シ所有者ニ於テ實測ヲ請求シタルトキハ此限ニ在ラス

一筆ノ土地ノ一部ヲ要スル場合ハ三斜法ニ依リ所要部分ヲ丈量シ第二號樣式ノ土地分裂野帳ヲ調製スヘシ

第六條　地上物件ハ左ノ各項ニ依リ之ヲ調査シ第三號樣式ノ地上物件調書ヲ作製スヘシ

一、建物ハ木造煉瓦造土藏造等ニ區別シ建物及屋根並ニ其ノ種類ニ依レル內譯但シ建坪ハ木造ニ在リテハ柱ノ心々間ノ距離ニ依リ土藏及煉瓦造ニ在リテハ壁ノ外徑間ノ距離ニ依リ各邊ノ長ヲ測定シ第四號樣式ノ野取圖ヲ調製スヘシ

二、井戶ハ其ノ種類深サ徑及屋形ノ有無

三、立木ハ伐採樹收穫樹及風致木ニ區別シ其ノ種類目通リ周圍全長並員數

四、垣墻ハ其ノ種類延長及高

五、耕作物ハ其ノ種類及作付面積

六、墳墓ハ其ノ員數及墓標ノ種類大サ員數

前項第一號ノ建物ハ所轄登記所ノ登記簿ニ對照シ所在地名建坪所有者並所有權以外ノ權利者ノ住所氏名及已未登記ヲ明ニスヘシ

第七條　土地ノ買收代金及使用料ハ近傍類地ノ賣買價格又ハ賃貸借料等ノ事實ヲ調査シ之ニ登記價格及地價等級其ノ他該地ノ狀況等ヲ斟酌シ適切ニ其ノ金額ヲ定ムヘシ

地上物件ノ移轉料及補償金ハ左ノ標準ニ依リ諸種ノ事情ヲ斟酌シ適切ニ其ノ金額ヲ定ムヘシ

一、建物、門、塀、垣、柵、石垣、敷石ノ類ハ移轉ヲ爲スモノトシテ調査ス

二、風致木、竹類及歲冬草花ノ類ハ移植ヲ爲スモノトシテ調査ス

三、收穫樹ハ移植ヲ爲スモノトシテ調査シ之ニ移植ニ依レル收穫ノ損失ヲ見積リテ加算ス

四、風致收穫樹以外ノ竹木ハ伐採ヲ爲スモノトシテ調査ス

五、井戶漆喰叩ノ類ハ新設ヲ爲スモノトシテ調査ス

但シ井戶屋形ハ移轉ヲ爲スモノトシテ調査ス

六、耕作物ノ內移轉シ能ハサルモノハ其ノ損失額ヲ調査シ移轉シ得ルモノハ第三號ニ準ス

七、墳墓ハ改葬並碑石ノ移轉及弔祭ノ費用ヲ調査ス

第八條　土地買收價格及使用料並地上物件移轉料補償金ノ調査ヲ了シタルトキハ之ニ依リ權利者ニ協議スヘシ

前項ノ協議調ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ土木課長ノ指揮ヲ受クヘシ

第九條　前條第一項ノ協議調ヒタルトキハ第五號樣式ノ承諾書ヲ徵シ土地調査臺帳及地上物件調書ヲ添付シ之ヲ土木課長ニ提出スヘシ

土地若ハ移轉料補償カ寄附ニ係ルトキハ第六號樣式ノ寄附願書ヲ徵シ前項ノ書類ト共ニ之ヲ土木課長ニ提出スヘシ

第十條　土地ノ買收若ハ使用及地上物件移轉又ハ取拂並寄附受入ノ決定アリタルトキハ第七號樣式ノ賣渡證土地貸渡請書及登記承諾書ヲ徵シ之ヲ土木課長ニ提出スヘシ

第十一條　一筆ノ土地ノ一部ヲ買收シ若ハ其ノ寄附ヲ受ケタル場合ハ第九條ノ承諾書ヲ徵スル以前ニ於テ第八號樣式ノ分筆屆ヲ所轄稅務署ニ差出サシムヘシ

前項已登記ノ土地ニ付テハ更ニ第九號樣式ニ依リ分筆登記申請書ヲ所轄登記所ニ差出サシムヘシ

未登記ノ土地ニ付テハ分割ノ上土地臺帳謄本ヲ提出セシムヘシ

第十二條　買收若ハ寄附ヲ受クヘキ土地ノ上ニ所有權以外ノ權利設定アル場合ハ先ツ所有者ヲシテ權利抹消登記ノ申請ヲ爲サシメ其ノ登記濟證ヲ第十條ノ登記承諾書ニ添付セシムヘシ

第十三條　所要ノ土地國有ナル場合ハ第一號樣式ニ準シ調書（貳通）及圖面（平面圖、分割圖、求積圖各三通但シ該土地カ神社ノ用ニ供シアルトキハ平面圖、求積圖各一通分割圖三通）ヲ調製シ之ヲ土木課長ニ提出スヘシ

國有土地カ社寺境內ナル場合ハ右ノ外ニ第一號樣式ニ依リ調書及平面圖各貳通ヲ作製シ工事執行伺ニ先タツテ之ヲ土木課長ニ提出スヘシ

國有ノ社寺境內ニ付テハ其ノ社寺ノ代表者ヲシテ第十號樣式ノ意見書ヲ知事ニ差出サシムヘシ

第十四條　墓地ノ買收若ハ寄附ヲ受ケムトスル場合ハ大正十五年十一月縣令第百四十六號墓地及埋火葬取締規則施行細則第六條ニ依ル供用廢止ニ關スル知事ノ許可書ヲ土木課長ニ提出セシムヘシ

第十五條　小學校敷地ノ買收若ハ寄附ヲ受ケムトスル場合ハ小學校令第九條ニ依ル學校敷地廢止ノ指令書ヲ土木課長ニ提出セシムヘシ

第十六條　本手續ニ依リ權利者ヨリ徵スル書類ハ左ノ區別ニ據リ之ヲ取扱フヘシ權利者カ社寺ノ場合ハ神社ニ在リテハ神職及氏子總代三名以上、寺院ニ在リテハ住職及檀家總代三名以上ヲシテ連署セシメ神職住職及各總代ノ資格證明書並賣渡若ハ寄附ニ關スル知事ノ許可書ヲ添付セシムヘシ

權利者カ私法人ノ場合ハ其ノ代表者ヲシテ署名捺印セシメ且其ノ代表者ノ資格ヲ證スル書面ヲ添付セシムヘシ權利者カ未成年者ノ場合ハ其ノ親權者若ハ後見人ヲシテ署名捺印セシメ且其ノ資格ヲ證スヘキ戸籍抄本ヲ添付セシムヘシ但シ親權者カ母又ハ繼父若ハ後見人ナル場合ハ更ニ親族會ノ同意書及親族會員タルヲ證スル書面ヲ添付セシムヘシ

權利者カ失踪シ又ハ相續人ナキ財產ノ場合ハ其ノ財產管理者ヲシテ署名捺印セシメ且其ノ資格ヲ證スヘキ書類ヲ添付セシムヘシ

權利者カ公共團体ノ場合ハ關係議會ノ決議ヲ經許可ヲ要スルモノハ其ノ許可書ヲ添付セシムヘシ

（第一號樣式ノ一）

土地調查臺帳

郡　町村

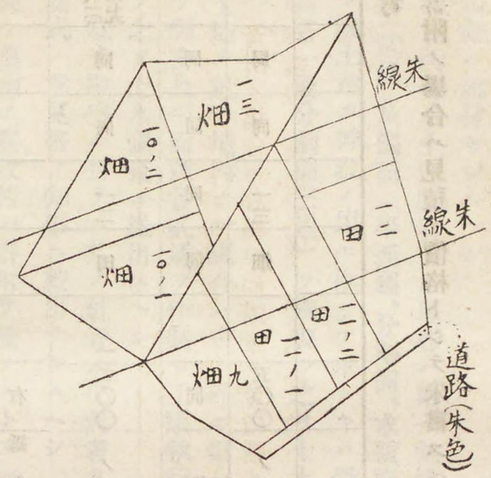
登記年月日及番號	土地臺帳面 大字	土地臺帳面 字	土地臺帳面 地番	土地臺帳面 地目	所要地 反別	所要地 價格	權利者住所氏名	摘要
大一五、三、五一、二八六	何々	何々	一〇ノ一	畑	二一五	一七五〇〇	住所 何某	寧帳面ニテ全筆買收
				右抵當權者住所				
明三八、六、一〇三七九	同	同	一二	田	一二〇〇	四〇〇〇	住所 何某	四筆分割一、二畝二十歩二、二畝十歩三、四畝歩四、三畝歩
同	同	同	一三	畑	五〇〇	一〇〇〇〇		
同	同	同	同	同	四	三〇〇	同	何字何番地先廢道敷何歩ト交換此比率何程
未	同	同	一三	畑	五〇〇	七〇〇〇	住所 何某	柿樹二本アリ
計					六二	四〇〇		

備考

寄附ノ場合ハ見積リ價格トシテ朱書スヘシ

（第一號樣式ノ二）

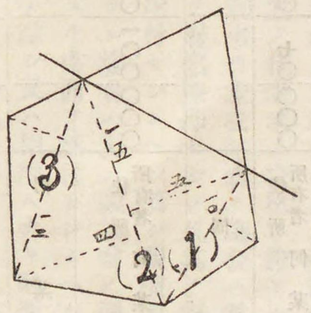
何郡町村大字々



（第二號樣式）

土地分裂野帳

何町村大字何々番 (1) 何 坪
田何反歩 (2) 何 坪
内 (3) 何 坪
何畝歩買收 計 何 坪
此ニ除何坪



（第三號樣式）

地上物件調書

郡 町 村

已未登記ノ別	所在地 大字	所在地 字	地番	地目	種類	棟數又ハ大小	數量	移轉料 補償料	單價	權利者住所氏名	摘要
已	何々	何々	二五	宅地	萱葺平家	一	二十五坪			住所 所有者 何某	引付 移轉
未					杉皮葺物置	一	八坪			住所 抵當權者 何某	
同					厠	一	四坪			同	
					井戸	徑何間深何間	一ヶ所				
					庭木	目通何程以下	二十本				
計											
			二六	畑	桑	百二十本				住所 所有者 何某	
計											
合計											

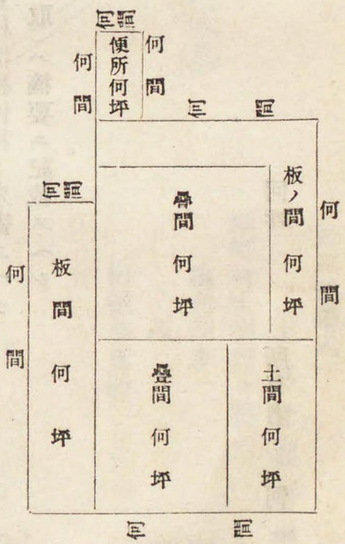
備考

一、本表ハ各所有者毎ヘ計ヲ附シ末尾ニ合計ヲ附スヘシ
二、寄附ノ場合ハ移轉料補償金ニ見積價格何程ト朱書スヘシ
三、移轉料ノ種別（取壞、引付、切取）ハ摘要ニ記載スヘシ

（第四號樣式）

何郡町村大字々地番所在
一、何葺木造平家（二階建）
内
何坪 所有者 何 某

道路　疊間　何坪
板間　何坪
土間　何坪
便所　何坪



備考
二階建ハ階上階下ヲ各別ニ製圖スヘシ

（第五號樣式ノ一）

印紙　承諾書

何郡町村大字何地番

一、地目反別
　此賣渡代金何程　但壹反歩金

同所地番

一、地目反別
　此賣渡代金何程　但壹反歩金

右ハ千葉縣起業何々工事用地トシテ必要ノ旨御交渉ノ處左記條件ノ下ニ賣渡可申依テ承諾書提供候也

年月日　住所地番　所有者　何某　印

知事宛

記

一、所有權移轉登記ノ濟否及代金授受ノ如何ニ關セス何時御施工相成候共異議無之候
二、所有權移轉ノ登記ハ御下命次第何時ニテモ異議無之候
三、必要ナル書類ハ御下命次第直ニ提出可致候

四、賣渡代金トシテ本書記載ノ金額下付相成度候

以上

備考
一、本書ハ所有者毎ニ各別ニ調製セシムヘシ
二、土地其他代金ノ表示ハ便宜表式ト爲スモ妨ナシ

（第五號樣式ノ二）

印紙　承諾書

何郡町村大字何々地番所在
一、萱葺平家　一棟
　此建坪　何坪
　此移轉料　何程
一、何々　何程
　此移轉料　何程
計　金

右ハ千葉縣起業何々工事ノ爲メ前記料金ヲ以テ移轉ノ義御交渉ノ處左記條件ノ下ニ移轉可致候依テ承諾書提出候也

住所地番
年月日　所有者　何某　印

知事宛

記

一、移轉料下付ノ有無ニ關セス御通達ノ日ヨリ何日以內ニ移轉終了可致候
二、移轉料トシテ本書記載ノ金額下付相成度候
三、本書提出後調査漏其ノ他ノ事由ニ依リ追給若ハ補助等申出間敷候

以上

備考
一、本書ハ各所有者別トシ一所在地毎ニ調製セシムヘシ
二、所在地物件及料金ノ表示ハ便宜表式ト爲スモ妨ナシ

（第五號樣式ノ三）

土地貸渡承諾書

何郡町村大字々地番
一、地目反別
　此貸渡料一ケ年一ケ月金何程

右ハ千葉縣起業何々ノ爲メ使用ノ義御交渉ノ處前記料金ヲ以テ御指示ノ條件ニ遵ヒ貸渡ノ義承諾致候依テ本

書提供候也

住所番地
所有者又ハ
地上權者　何某　印

年月日

知事宛

備考

一、本書ハ所有者毎ニ各別ニ調製セシムヘシ
二、無料ナル場合ハ貸渡料ノ下ニ無料ト記載スヘシ
三、土地及料金ノ表示ハ便宜表式ト爲スモ妨ナシ
四、借入ルヘキ土地權ノ設定アル場合ハ本書ハ其ノ地上權者ヨリ差出サシムヘシ

（第六號樣式ノ一）

寄附願

何郡町村大字々地番
一、地目反別
　此見積價格何程　但壹反歩金

右ハ千葉縣起業何々工事用地トシテ必要ノ旨御交渉ノ處左記條件ノ下ニ寄附致度候間御許可相成度此段相願候也

住所番地

年月日　所有者　何某　印

知事宛

記

一、所有權移轉登記ノ濟否ニ關セス何時御施工相成候トモ異議無之候
二、所有權移轉ノ登記ハ御下命次第何時ニテモ異議無之候
三、登記請求上必要ナル書類ハ御下命次第直ニ提出可致候

以上

備考

一、本書ハ所有者毎ニ各別ニ調製セシムヘシ
二、土地其ノ他價格ノ表示ハ便宜上表式ト爲スモ妨ナシ

（第六號樣式ノ二）

寄附願

何郡町村大字々地番所在
一、萱葺平家　壹棟
　此建坪　何坪
　此移轉料見積額　何程

一、何々　何程
　此移轉料見積額　何程
　計　何程

右ハ千葉縣起業何々工事ノ爲移轉ノ義御交渉ノ處左記條件ノ下ニ寄附致度候間御許可相成度此段相願候也

住所番地

年月日　所有者　何某　印

知事宛

記

一、移轉方御通達ノ日ヨリ何日以內ニ移轉終了可致候

以上

備考

本書ハ各所有者別トシ一所在地毎ニ調製セシムヘシ

（第七號樣式ノ一）

印紙　賣渡證

何郡町村大字々地番
一、地目反別
　此代金何程　但壹反歩金

右何々敷地トシテ前記代金ヲ以テ賣渡候也

住所番地

年月日　所有者　何某　印

知事宛

記

一、本書ハ所有者毎ニ各別ニ調製セシムヘシ
二、土地及代金ノ表示ハ便宜表式ト爲スモ妨ナシ

（第七號樣式ノ二）

印紙　土地貸渡請書

何郡町村大字々地番
一、地目反別
　此貸渡料　一ケ年　但壹反歩
　一ケ月金何程　金

右ハ千葉縣起業何々ノ爲メ貸上候ニ付テハ左記條件ヲ承諾シ本請書提供候也

住所番地

年月日　所有者又ハ
地上權者　何某　印

知事宛

記

一、貸渡期間ハ昭和何年何月ヨリ仝何年何月ニ至ル何年間（年月日ヨリ年月日ニ至ル何ヶ月間又ハ何ヶ日間）トス

二、期間中ハ拙者ノ都合ヲ以テ御契約解除ヲ請求致間敷候

三、千葉縣ノ御都合ニ依リ期間中何時御契約解除相成候トモ異議無之候

四、貸渡料ハ本書記載ノ金額ヲ左ノ方法ニ依リ御下付相成度候

(イ) 料金ハ何ヶ月目毎ニ前何ヶ月分ヲ下付相成度候

(ロ) 使用カ一ヶ月（又ハ一ヶ年）ニ滿タサル場合ハ日割（又ハ月割）計算ニテ下付相成度候

以上

備考

一、本書ハ所有者毎ニ各別ニ調製セシムヘシ

二、借入期間ヲ年ヲ以テ定メタル場合ニ於テ一ヶ年ニ滿タサルトキハ其ノ料金ハ月割ト爲スヘシ

三、同上月ヲ以テ定メタル場合ニ於テ一ヶ月ニ滿タサルトキハ其ノ料金ハ日割ト爲スヘシ

四、土地及料金ノ表示ハ便宜表式ト爲スモ妨ナシ

五、土地ノ借入カ無料ナル場合ハ貸渡料ノ下ニ無料ト記入シ左記第四號ヲ除クヘシ

六、借入ルヘキ土地ニ地上權ノ設定アル場合ハ本書ハ其ノ地上權者ヨリ差出サシムヘシ

（第七號樣式ノ二）

登記承諾書

何郡町村大字々地番

一、地目反別

右何々敷地トシテ賣渡（寄附）候ニ付國ニ所有權移轉登記ヲ經ラル、義承諾致候也

住所番地

年月日　登記義務者　何某　印

知事宛

備考

本書ハ已登記ノ土地ニ就テノミ之ヲ調製セシムヘシ

（第八號樣式）

土地分筆届

町村	大字	字地番	地目	反別	地價	摘要
	同ノ一					
	同ノ二					
					分割	

郡町村大字々番地

年月日　何某　印

何稅務署長何誰殿

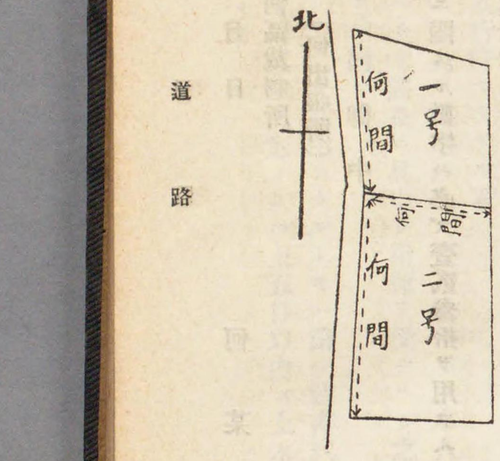
備考

別紙樣式ニ依リ地圖ヲ添付スルモノトス

（別紙）

字何

何番畑



備考

數筆連續シタル土地ハ同時ニ分筆スルトキハ圖面ヲ連續調製シ地目地番及符號ヲ圖中ニ記載スヘシ

（第九號樣式）

分筆登記申請書

一、土地ノ表示

郡町村大字　番

字

一、

此分割

同番ノ一

一、　現在反別

同番ノ二

一、　分割反別

一、登記原因及其日附　昭和年月日分割ニ因ル

一、登記ノ目的　分筆ノ登記

一、登錄稅　金廿錢（拾筆以上貳圓トス）

一、添附書類　土地臺帳謄本申請書副本

右登記相成度此段及申請候也

郡町村大字々番地

年月日　何某印

何區裁判所
（何出張所）
御中

備考
登記ニ關スル數字ハ必ズ壹貳參拾ヲ用フヘシ

（第十號樣式）

神社（寺院佛堂）道路（水路）敷編入ニ關スル意見書

何郡何町村大字何々番
何神社（何寺）境内何反歩
此分筆
何番ノ一
何神社（何寺）境内何反何畝歩　据置
何番ノ二
何神社（何寺）境内何畝歩　官有地第三種道路（水路）敷編入ノ分

右別紙圖面ノ通分筆ノ上道路（水路）敷ニ編入セラルヽモ支障無之候也

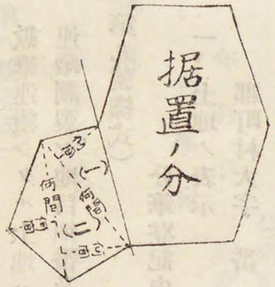
追而國有財産法第十八條ノ規定ニ依ル要求ハ致間敷候（但シ追書ハ神社ハ場合ハ不要）

年月日　何郡何町村大字何何番地
村（無格）社　何神社
右神社々掌　氏　名　印

右神社氏子惣代
何郡何町村大字何字何々番地　氏　名　印
何郡何町村大字何字何々番地　氏　名　印
氏　名　印

知事宛

（別紙）



（一）何　坪
（二）何　坪
計　何　坪
此ニ除何坪

道路工夫採用監督及服務心得ノ件

（大正十五年四月十第一五六二號各工區主幹宛內務部長通牒）

道路工夫採用及監督並服務心得別紙ノ通改正相成候ニ付細心ノ注意ヲ拂ヒ之カ指導ノ任ニ當リ實効ヲ期セラレ度依命此段及通牒候也

道路工夫採用及監督手續

採用

第一條　道路工夫（以下單ニ工夫ト稱ス）ハ体格強健ニシテ勞働業務ニ經驗ヲ有スル年齡滿十八才以上五十年以下ノモノヨリ工區主幹ニ於テ採用スヘシ

第二條　左ニ揭クル者ハ工夫ニ採用スルコトヲ得ス

一　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

二　素行修マラサル者

第三條　工夫ヲ採用スルノ要アルトキハ本人ノ履歷書ヲ添ヘ土木課長ニ具申シ指揮ヲ受クヘシ之ヲ解職スルトキ亦同シ

第四條　工夫ヲ採用シタルトキハ第一號書式ノ請書ヲ徵シ受持區域ヲ定メタル上五日以內ニ土木課長ニ報告スヘシ

給與

第五條　工夫ノ給料ハ日給トシ每月廿日ヲ以テ打切リ前一ヶ月分ヲ支給ス

第六條　工夫ニ貸與セル左記被服ハ使用期限後ニ於テ之ヲ給與ス

貸與品目	使用期限
帽子	一ヶ年
法被	六ヶ月
雨衣	一ヶ年
日覆	一季

監督

第七條　工區員ハ常ニ其ノ受持區內ヲ巡視シ工夫ノ從事スヘキ作業ノ緩急ヲ考查シ其ノ範圍方法及豫定日數ヲ指示スヘシ

第八條　工夫配置ノ箇所ニハ第二號樣式ノ標柱ヲ建設シ其ノ擔當區域ヲ榜示スヘシ

第九條　工區員ハ常ニ工夫作業ノ成績ヲ調查シ且ツ工夫日誌ヲ檢閱シ認印スヘシ

第十條　工區員ハ左表ニ依リ每月十五日其ノ前一ヶ月中ニ於ケル成績ヲ調查シ其ノ月廿日迄ニ工區主幹ニ

提出スヘシ

工夫成績表

工夫氏名	服役日數	代役日數	計	欠役日數	成績良否	服役狀況
						何月何日……業 何月何日……業

年　月　日　工區員　職氏名　印

何工區主幹殿

第一號書式

御請書

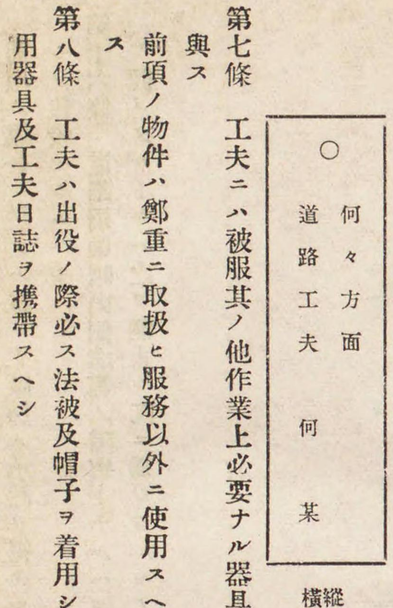
今般御縣工夫ニ御採用相成候ニ付テハ道路工夫服務心得ヲ遵守シ忠實ニ服役可仕仍テ請書差上候也

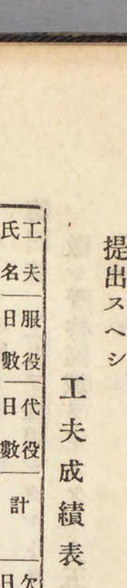
年　月　日　氏　名　印

知事　某　儀

宛

第二號樣式





備考

一、材質　杉地上五尺　四寸五分角

二、工夫ノ住所氏名ハ板札トシ差替ニ便ナラシム

三、兩受持區域ノ中間ニ建設スルモノハ二行ニ記シ左右併セ示スヘシ

道路工夫服務心得

第一條　道路工夫（以下單ニ工夫ト稱ス）ハ指揮監督者ノ命令ヲ遵守シ忠實ニ其ノ職務ニ從事スヘシ

第二條　工夫ハ常ニ言行ヲ愼ミ苟クモ粗暴不遜ノ行動アルヘカラス

第三條　工夫ハ工區員ノ指揮監督ヲ受ケ担當區域内ニ於ケル國府縣道ノ保護ニ從事スヘシ

第四條　工夫ノ業務概ネ左ノ如シ

一、道路橋梁暗渠側溝等ノ破損ヲ豫防スルコト

二、車轍其他凹凸掻均埋足及砂利撒布ノコト

三、側溝溝渠及側溝暗渠等ノ障害物取除ノコト

四、崩落土石取除ノコト

五、路緣ヲ切下ケ路面ノ排水ヲ行フコト

六、土留及土羽修繕ノコト

七、橋面橋脚橋臺ノ塵芥其ノ他障害物取除ノコト

八、根返リ又ハ折損竹木取除ノコト

九、前各號ノ外簡易ニ施行シ得ルモノ及工區員ノ指揮ニ依ル作業

第五條　工夫ハ大雨ノ際及降雨后ハ直チニ相當區域内ヲ巡回シ特ニ前條各號ノ事項ニ注意スヘシ

第六條　工夫ハ左記樣式ノ木札ヲ調製シ出役ノ際自宅門戸又ハ工區主幹ノ指定スル場所ニ掛ケ其ノ出役方面ヲ明示スヘシ

○	何々方面
道路工夫	何某

縱六寸　橫三寸

第七條　工夫ニハ被服其ノ他作業上必要ナル器具ヲ貸與ス

前項ノ物件ハ鄭重ニ取扱ヒ服務以外ニ使用スヘカラス

第八條　工夫ハ出役ノ際必ス法被及帽子ヲ着用シ作業用器具及工夫日誌ヲ携帶スヘシ

第九條　工夫ハ作業中其ノ箇所ニポールヲ建テ就業中ナルコトヲ表示スヘシ

第十條　日誌ニハ指揮ヲ受ケタル事項日々ノ作業ノ大要及晴雨等ヲ記載スヘシ

第十一條　貸與ヲ受ケタル物件カ破損シタルトキハ修理又ハ交換ヲ工區主幹ニ申告スヘシ

過失ニ依リ貸與ヲ受ケタル物件ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ狀情ニ依リ辨償又ハ修理セシムルコトアルヘシ

第十二條　工夫ノ服務時間ハ午前八時（四月ヨリ九月迄ハ午前七時）ヨリ日沒マテトス

第十三條　工夫ノ休暇日左ノ如シ

一　大祭祝日

二　十二月三十一日ヨリ翌年一月三日迄

前項ノ外作業ニ差支ナキ限リ工區主幹ノ承認ヲ受ケ毎月一日間ノ休暇ヲ爲スコトヲ得

第十四條　暴風雨出水其ノ他必要アル場合ハ前二條ノ規定ニ拘ラス勤務スヘシ

第十五條　疾病其他ノ事故ニ依リ勤務シ難キ場合ハ直チニ工區員ニ届出ツヘシ

河川港灣

前項ノ場合ニ於テハ豫メ工區員ノ承認ヲ得タル者ヲシテ代役セシムヘシ

第十六條　道路橋梁暗渠側溝等ノ障害トナルヘキ行爲ヲ認メタルトキハ之ヲ制止シ既ニ爲シタルモノニ付テハ應急措置ノ上其ノ狀況ヲ工區ニ即報スヘシ

第十七條　天災地變ノ爲急破ヲ生シ自己ノ力ニ及ハサルモノアルトキハ工區員ニ即報シ指揮ヲ受クヘシ

河川取締規程

（大正元年十月縣令第九七號）

第一章　總　則

第一條　河川法ヲ施行シタル河川及之ヲ準用シタル河沼ニ於ケル行爲ニ關シテハ法律命令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外本規程ヲ適用ス

第二條　本規程ニ於テ河川ノ工作物ト稱スルハ制水、導水若ハ護岸ノ目的ノ爲ニ施設シタルモノヲ謂フ

第三條　本規程ニ於テ許可ヲ受ケタル者ト稱スルハ河川法又ハ本規程ニ依リ許可ヲ受ケタル者ヲ謂フ

第四條　本規程ニ依ル願届書類ハ所轄町村役場及所管河川管理員ヲ經由スヘシ

第二章　禁止及制限

第五條　左ニ掲ケタル行爲ハ之ヲ禁止ス

一　航路ニ投錨シ若ハ濫ニ引繩ヲ爲シ又ハ航路狹隘ノ箇所ニ舟筏ヲ並航セシムルコト

二　水防ヲ開始シタル場合ニ於テ發動機付船舶ヲ急航セシムルコト

三　長十五間幅二間以上ノ筏ヲ流漕シ又ハ舟筏若ハ木材ノ類ヲ放流スルコト

四　河川敷ニ掻上堤ヲ設ケ其ノ他盛土ヲ爲スコト

五　河川敷地若ハ堤防ニ土石塵芥其ノ他ノ物ヲ投棄シ又ハ堆積スルコト

六　堤防ニ家畜ヲ放牧シ又ハ濫ニ堤防若ハ護岸ヲ昇降スルコト

七　貨物陸揚場ノ設備ナキ堤防若ハ河川ノ工作物ニ於テ船積若ハ陸揚ヲ爲スコト

八　堤防、橋梁若ハ河川ノ工作物又ハ量水標其ノ他ノ標識ニ舟筏流木若ハ家畜ヲ繫留スルコト

九　河川ノ工作物ヲ置物場又ハ物干場ニ使用スルコト

第六條　左ニ掲ケタル行爲ヲ爲サムトスル者ハ知事ノ許可ヲ受クヘシ

一　河川ノ工作物ヲ渡船通路ニ供スルコト

二　河川ノ浚渫其ノ他ノ流水ノ方向若ハ深淺ニ影響ヲ及ホス行爲

三　河川敷若ハ堤防ヨリ土石砂礫其ノ他ノ生産物ヲ採取スルコト

第七條　筏其ノ他ノ流送物ニシテ目的地ニ到著シタルトキハ速ニ之ヲ陸揚スヘシ但シ所轄警察官署ノ許可

ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條　舟筏其ノ他ノ流送物ニシテ河底ニ膠砂シ又ハ顚覆若ハ沈沒シタルトキハ直ニ所轄警察官署ニ届出テ速ニ之ヲ除却スヘシ

第九條　舟筏其ノ他ノ物ヲ流漕シ又ハ許可ヲ受ケテ爲シタル作爲ニ伴ヒ河川ノ附屬物若ハ工作物ヲ毀損シタルトキハ所轄警察官署又ハ所管河川管理員ニ届出テ其ノ指揮ヲ受ケ速ニ之ヲ修理スヘシ

第十條　許可ヲ受ケ竹木其ノ他ノ雜草類ヲ採取スルトキハ根株ヲ採堀シ又ハ撰刈ヲ爲スコトヲ得ス

公共團体ニ於テ本規程第二十五條ニ依リ河川敷及堤防ノ掃除ヲ施行スルトキ亦前項ニ同シ

第三章　出願手續及許可ニ伴フ義務

第十一條　河川法第十七條、明治三十三年七月勅令第三百號第四條及本規程第六條第二號ノ許可ヲ受ケントスル者ハ第一號樣式ニ依リ願書ヲ差出スヘシ

耕地整理施行地區内ニ於ケル工作物ノ施設又ハ工事施行ノ爲メ前項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ耕地整理施行認可申請書ト共ニ願書ヲ提出スヘシ但設計書及圖面ハ之ヲ區分スヘシ（大正元年十二月縣令第一一五號改正追加）

前項ノ場合ニ於テ耕地整理施行ノ認可ヲ受ケタル時ハ工作物ノ施設又ハ工事施行ノ許可ヲ受ケタルモノト心得ヘシ（同上）

河川法第十八條及本規程第六條第一號ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ第二號樣式ニ依リ願書ヲ差出スヘシ

本規程第六條第三號許可ヲ受ケムトスル者ハ第三號樣式ニ依リ願書ヲ差出スヘシ

本規程第十八條ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ第四號樣式ニ依リ願書ヲ差出スヘシ

本規程第十九條及第二十條ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ第五號樣式ニ依リ願書ヲ差出スヘシ

第一項乃至第三項ノ願書ニハ保證人ヲ立テ連署スヘシ但シ公共團体、會社若ハ三名以上共同出願ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

二名以上共同出願ノ場合ニ於テハ代表者ヲ定メ願書ニ附記スヘシ

公共團体ノ出願ニ係ルトキハ其ノ議會ノ決議書寫ヲ添付スヘシ

第十二條　河川法第十七條第十八條又ハ本規程第六條第三號ノ許可ヲ受ケタル者ハ所管部長ノ發スル納付

告知書ニ依リ其ノ料金ヲ納付スヘシ

第十三條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ前條ノ料金ヲ免除若ハ減額スルコトアルヘシ

一　河川法第二十條第二號乃至第四號又ハ第六號ニ依リ許可ヲ取消シ又ハ其ノ効力ヲ停止シタルトキ

二　河川法施行規程第九條ニ該當スルトキ

三　直接公共ノ用ニ供スルトキ

四　天災其ノ他不可抗力ニ依リ占用使用若ハ採取ノ目的ヲ達スルコト能ハサルトキ

第十四條　河川法第十七條明治三十三年勅令第三百號第四條又ハ本規程第六條第二號若クハ第三號ノ許可ヲ受ケタルトキハ所管河川管理員ノ指揮ヲ受ケ工事ノ施行若ハ目的物ノ採取ヲ爲シ其ノ竣功若ハ修了シタルトキハ知事ニ届出檢查ヲ受クヘシ

第十五條　河川法第十八條又ハ本規程第六條第二號若ハ第三號ノ許可ヲ受ケタルトキハ其箇所ニ第六號雛形ノ標識ヲ建設スヘシ但シ千葉縣漁業取締規則ニ依リ標識ヲ建設シタルトキ及左ノ各號ニ該當スル場合ニ於テ所管河川管理員ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

一　地形ニ依リ其ノ簡所ニ建設スルコト能ハサルトキ

二　期間ノ短期ナルトキ

第十六條　本規程第六條第三號ノ許可ヲ受ケタル者ニ於テ其ノ目的物ヲ採取スルトキハ下付セラレタル證標ヲ携帶シ當該官吏々員又ハ警察官吏ノ要求アルトキハ之ヲ示スヘシ

第十七條　許可ヲ受ケタル者ノ義務履行ニ關シテハ共同出願者間及保證人ハ連帶ノ責ニ任ス

第十八條　許可ヲ受ケタル者ニ於テ占用若ハ使用ノ目的又ハ工事ノ計畫若ハ設計ヲ變更セムトスルトキ及占用若ハ使用ノ期間ヲ更新セントスルトキハ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第十九條　本規程ニ依リ與ヘタル許可ニ依テ生スル權利義務ヲ他人ニ移サムトスルトキハ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第二十條　許可ヲ受ケタルモノ死亡シタルトキ其ノ相續人ニ於テ權利義務ヲ承繼セントスルトキハ一箇月以内ニ出願シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第二十一條　許可ヲ受ケタル者死亡シ又ハ行衞不明ト

ナリタルトキハ其ノ保證人相續者ハ共同出願者ニ於テ十日以内ニ之ヲ届出ツヘシ

保證人死亡シ又ハ行衛不明トナリタルトキハ許可ヲ受ケタル者ニ於テ更ニ保證人ヲ定メ連署届出ツヘシ

第二十二條　許可ヲ受ケタル者又ハ保證人ニ於テ改氏名若ハ轉住シタルトキハ十日以内ニ届出ツヘシ

第二十三條　許可ヲ受ケタル者ニ於テ占用、使用若ハ採取等ヲ廢止シタルトキハ十日以内ニ届出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ原形ニ復セシムルコトアルヘシ

許可ヲ受ケタル者死亡シ又ハ行衛不明トナリタル場合ニ於テ第一項及第二項ノ義務ハ保證人又ハ相續人ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第四章　費用負擔

第二十四條　河川敷及堤防ノ掃除ハ明治四十一年五月千葉縣令第三十九號ニ基キ指定シタル公共團体ノ行政廳ニ於テ之ヲ施行スヘシ

前項ノ掃除ニ要スル費用ハ其ノ公共團體ノ負擔トシ毎年之ヲ豫算ニ計上スヘシ

第二十五條　前條ノ掃除ハ河川敷ニ在リテハ毎年五月及九月ノ二回堤防ニ在リテハ五月七月及十月ノ三回ニ之ヲ施行スヘシ

前項ノ定期掃除ノ外雜草繁茂ノ狀況ニ依リ前條ノ公共團体ノ行政廳ニ於テ必要ト認メタルトキ若ハ知事ニ於テ特ニ命シタルトキハ臨時ノ掃除ヲ施行スヘシ

第二十六條　前條ノ定期若ハ臨時ノ掃除ヲ了リタルトキハ其ノ公共團体ノ管理者ヨリ所管河川管理員ヲ經テ知事ニ届ツヘシ

第二十七條　河川法第四十五條ニ依リ河川附近ノ土地若ハ工作物ノ所有者ヨシテ土地ノ缺壞其ノ他ノ損害ヲ豫防スル爲ニ必要ナル設備ノ全部若ハ一部ヲ施行セシメ又ハ其ノ費用ノ全部若ハ一部ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

第二十八條　河川法第四十六條第一項ニ依リ行政廳ニ於テ植付タル竹木芝草ハ其ノ土地所有者ヲシテ收益ノ全部若ハ一部ヲ取得シテ之ヲ培養セシムルコトアルヘシ

第五章　罰則

第二十九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ十日以下ノ拘留又ハ十圓以下ノ科料ニ處ス

一　許可ヲ受ケスシテ本規程第六條若ハ第十八條ノ行爲ヲ爲シ又ハ詐僞ノ手段ヲ以テ其ノ許可ヲ受ケタル者

二　本規程第五條、第七條乃至第九條、第十條第一項、第十四條乃至第十六條、第二十一條第二項、第二十二條、第二十三條第一項及同條第三項ニ違反シタル者

附　則

明治三十九年一月千葉縣令第九號明治四十二年八月千葉縣令第五十四號及明治四十五年一月千葉縣令第九號ハ之ヲ廢止ス

第一號樣式

工作物新築(改築、除却)願

何川筋何郡何町村大字何字何地先

一何々

一　河川敷(水面、堤防)占用(使用)面積何坪

二　施設(施行)ノ目的何々

三　着手ノ期日　何年何月何日

四　竣功(修了)期日　何年何月何日

五　料金何程

六　占用(使用)期間許可ノ日ヨリ滿何箇年

右御許可相成度平面圖明細圖及設計書相添此段出願候也

年月日　住所　願人　氏名　印

住所　保證人　氏名　印

千葉縣知事宛

備考

一　明治三十三年七月勅令第三百號第四條第二號又ハ第三號ノ內竹木ノ栽植若ハ伐採許可ヲ受ケムトスルトキハ樣式表目ヲ「土地ノ堀鑿(盛土)又ハ竹木ノ栽植(伐採)願」ト記載スヘシ

二　本規程第六條第二號ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ樣式表目ヲ「河川ノ浚渫(埋立)願」ト記載スヘシ

三　明治三十三年七月勅令第三百號第四條又ハ本規程第六條第二號ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ樣式附記第一號ノ面積第五號ノ料金及第六號ノ期間ハ記載ヲ要セス

四　願書添付ノ平面圖ハ河川臺帳切圖寫トス但シ河川臺帳ヲ調製セサル箇所ナルトキハ見取圖(六

千分ノ一）ヲ添付スヘシ

五　樣式附記第一號面積ヲ記載スヘキ願書ニ添付スル平面圖ニハ其ノ實測三斜間數ヲ記入スヘシ

六　願書添付ノ明細圖ハ工作物ノ新築、改築、若ハ除却ニアリテハ其ノ構造圖、土地ノ堀鑿若ハ盛土又ハ河川ノ浚渫若ハ埋立ニアリテハ其ノ箇所ノ橫斷面圖ヲ添付スヘシ

第二號樣式

占用（使用）願

何川筋何郡何町村大字何字何地先

一　河川敷（水面、堤防）何坪

一　目的　何々

二　料金　何程

三　期間　許可ノ日ヨリ滿何箇年

右御許可相成度平面圖相添此段出願候也

住所

年月日　願人　氏名　印

住所

保證人　氏名　印

千葉縣知事宛

備考

一　第一號樣式備考第四、第五ニ準ス

第三號樣式

河川生產物採取願

何川筋何郡何町村大字何字何地先

一　土（石、砂、礫、竹、木、雜草等）何程

一　區域　河川敷（堤防）何坪

二　目的　何々

三　料金　何程

四　期間　許可ノ日ヨリ何年何月何日迄

五　採取物件運搬ノ方法

右御許可相成度平面圖相添此段出願候也

住所

年月日　願人　氏名　印

住所

保證人　氏名　印

千葉縣知事宛

備考

一　第一號樣式備考第四、第五ニ準ス

二　平面圖ニハ目的物採取箇所ト其ノ附近ニ在ル河

川附屬物及工作物トノ距離ヲ記載スヘシ

三　土、砂、礫ハ六尺立方ヲ一坪トシ一坪以下ヲ切捨トス

四　石材ハ一尺立方ヲ一才トシテ一才以下ハ切捨トス

五　轉石ハ箇數トス

六　竹、柴、笹、葭、萱、雜草類ハ三尺繩ゲヲ一束トス

七　樹木ハ樹種目通周尺、及梢迄ノ長ヲ一本毎ニ記入スヘシ

第四號樣式

占用（使用）ノ目的若ハ工事ノ計畫（設計）變更又ハ占用（使用）ノ期間更新願

何川筋何郡何町村大字何字何地先

一　何々

一　何年何月何日土第何號許可

二　許可ヲ受ケタル者ノ氏名

右御許可相成度（承繼ノトキハ戶籍抄本相添）此段出願候也

住所

年月日　移轉人（相續人）氏名　印

住所

被移轉人　氏名　印

千葉縣知事宛

備考

承繼ノ場合ニ於テ被移轉人ノ住所氏名記入ヲ要セス

第六號雛形

工事計畫ノ變更願ニハ變更設計書及圖面ヲ添付スヘシ

第五號樣式

何々移轉（承繼）願

何川筋何郡何町村大字何地先

一　何々

一　何年何月何日土第何號許可

二　許可ヲ受ケタル者ノ氏名

右御許可相成度（承繼ノトキハ戶籍抄本相添）此段出願候也

住所

年月日　移轉人（相續人）氏名　印

住所

被移轉人　氏名　印

千葉縣知事宛

備考

承繼ノ場合ニ於テ被移轉人ノ住所氏名記入ヲ要セス

第六號雛形

右
表
左
裏

期間	何年何月何日ヨリ 何年何月何日迄
河川敷(堤防)占用(使用)又ハ採取區域何坪	
住所氏名	
何年何月何日許可	

備考
標札ハ角三寸以上長地上四尺以上根入二尺以上トス

河川管理員設置規程

（明治四十三年十一月縣令第一一二號同四四年七月縣令第五五號、大正四年三月第二〇號同六年二月第八號改正）

明治二十九年法律第七十一號河川法第十五條ニ依リ河川管理員ヲ置キ其ノ規程左ノ通定ム

第一條　河川管理員ハ其ノ定員ヲ十八名トス

第二條　河川管理員ハ內務部土木課ニ屬シ左ノ事務ニ從事ス

一　河川臺帳ニ關スル事項

二　河川及其ノ附近地、沿岸地、沿堤地竝河川ノ附屬物、工作物等ノ監視ニ關スル事項

三　河川及其ノ敷地、流水竝河川ノ附屬物等ノ使用占用ニ關スル事項

四　河川ノ敷地及附屬物ニ屬スル土石砂利其ノ他生產物ノ採取ニ關スル事項

五　前各號ノ外河川ノ管理ニ關シ特ニ知事ノ命シタル事項

第三條　河川管理員ノ給料、手當其ノ他諸給與ニ關シテハ有給縣吏員ニ關スル規定ヲ準用ス

第四條　河川管理員ニ關スル費用ハ縣ノ負擔トス

附　則

本令ハ明治四十四年四月一日ヨリ施行ス

河川管理員執務心得

（明治四十四年四月縣訓令乙第一七號）

第一條　所管區域內ノ河川臺帳謄本ヲ保管シ本廳保管ノ正本ノ更正アリタルトキハ之ヲ更正スヘシ

第二條　所管區域（認定シタル河川附近土地ヲ含ム）ハ毎月一回以上巡視シ其結果ヲ月末ニ別紙樣式ニ依リ內務部長ニ報告スヘシ

第三條　河川及河川ノ附屬物並工作物ハ常ニ之ヲ監視シ左記事項ニ就テハ所管工區主幹ト協議ノ上之ニ對スル處分方法ヲ定メ意見ヲ具シ內務部長ニ開申スヘシ

一、縣管理ニ屬スル堤防、護岸、水制其他河川ノ附屬物並工作物ノ破損及保存ニ關スル事項

二、下級公共團體又ハ私人ニ於テ維持修繕ノ義務アル工作物ノ破損及保存ニ關スル事項

第四條　許可シタル河川敷地流水並河川ノ附屬物ノ使用、占用又ハ生產物ノ採取若ハ工作物ノ新築、改築又ハ除却ニシテ左記ノ各號ニ該當スル爲許可ノ取消效力ノ停止條件ノ變更、事實ノ更正又ハ損害豫防ノ設備ヲ命スル必要アリト認メタルトキハ其ノ原因竝處分方法ヲ定メ內務部長ノ指揮ヲ受クヘシ但直チニ中止ヲ命スル必要アリト認メタルトキハ之ヲ專決シ其ノ旨意見書ニ附記スヘシ

一、詐僞ノ手段ヲ以テ許可ヲ受ケタル事實ヲ發見シタルトキ

二、許可ヲ與ヘタル目的ニ反スル行爲ヲ爲シタルトキ

三、工事ノ施行方法若ハ施行後ニ於ケル管理ノ方法宜シカラサルトキ

四、河川狀況ノ變更其他許可ノ後ニ起リタル事實ニ依リ必要ナルトキ

五、河川ニ關スル工事施行ノ爲又ハ許可ヲ與ヘタル者ノ外ニ工事、使用若ハ占用ヲ許可スル爲ニ必要ナルトキ

六、前各號ノ外法律、命令又ハ許可ノ條件ニ違背シタルトキ

前項各號ノ事實ニシテ河川ニ著シキ影響ヲ及ホス虞アルモノハ意見書提出ノ際所管工區主幹ニ協議スヘシ

第五條　許可ヲ受ケスシテ左記ノ行爲ヲ爲スモノアルトキハ之ニ對スル處分方法ヲ定メ內務部長ノ指揮ヲ受クヘシ但直チニ中止ヲ命スル必要アリト認メタルトキハ之ヲ專決シ其ノ旨意見書ニ附記スヘシ

一、河川ノ敷地、流水並河川ノ附屬物ノ使用、占用又ハ工作物ノ新築、改築若ハ除却

二、土石其ノ他生產物ノ採取

三、流水ノ方向、淸潔、分量、幅員、深淺又ハ敷地ノ現狀ニ影響ヲ及ホス工事、營業其ノ他ノ行爲

第七條　河川法及之ニ基キテ發スル命令ノ規程若ハ許

可ノ條件又ハ行政廳ノ處分ニ依リ許可ノ取消、効力ノ停止、條件ノ變更、事項ノ更正又ハ損害豫防其ノ他ノ行爲ヲ命シタル場合ニ於テ之ヲ履行セス又ハ指定期間内ニ履行ノ見込ナキトキ若ハ履行ノ方法宜シキヲ得サルトキハ處分方法ヲ定メ意見ヲ具シ内務部長ノ指揮ヲ受クヘシ

第八條　水門管理人ノ行爲ヲ監督シ心得書記載事項ヲ履行セシムヘシ

第九條　河川敷地、流水並河川ノ附屬物ノ使用、占用若ハ生產物採取ニ關スル願書ヲ受理シタルトキハ左記事項ヲ調査シ若シ形式ニ違フトキハ訂正セシメ意見ヲ具シ進達スヘシ

一、願書及關係書類ハ明治四十二年縣令第五十四號ニ依レルヤ否

二、使用若ハ占用ノ目的カ河川ニ著シキ影響ヲ及ホササルヤ否

三、既ニ許可ヲ與ヘタルモノト重複若ハ之ニ著シキ障害ヲ及ホササルヤ否

四、添付圖面ハ河川臺帳ニ符合スルヤ否

五、出願坪數ハ實測圖（三斜法ニ依ル）ニ符合スルヤ

六、使用若ハ占用ノ期限ハ適當ナルヤ否

七、使用、占用料若ハ生產物ノ價格ハ相當ナルヤ否

八、出願者カ公共團體ナルトキハ議決機關ノ承認ヲ經タルヤ否

九、出願者カ無能力者ナルトキハ法定代理人ノ資格ハ適法ナルヤ否

十、占用ノ出願ニシテ漁業ノ目的ナルトキハ漁業免許ヲ得タルヤ否但此場合ニ於テハ許可ノ年月日及期限ヲ願書ニ附記セシムヘシ

第十條　工作物ノ新築、改築若ハ除却ノ願書ヲ受理シタルトキハ前條各號ノ外左記ノ事項ヲ調査シ意見ヲ具シ進達スヘシ

一、工作物施設ノ目的カ出願者ノ事業、營業又ハ職業ト直接ノ關係アルヤ否

二、工事方法ノ適當ニシテ設計書及構造圖ハ正確ナルヤ否

三、出願者ハ工費負擔ノ資力アリヤ否

四、工事ノ着手並竣功期限ハ相當ナルヤ否

第十一條　使用若ハ占用ノ目的又ハ工事方法變更ノ願書ヲ受理シタルトキハ第九條第十條ニ準シ調査シ進達スヘシ

第十二條　第九條乃至第十一條ノ出願ニシテ河川ニ著シキ影響ヲ及ホス虞アリト認メタルモノハ意見書提出ノ際所管工區主幹ニ協議スヘシ

第十三條　許可シタル工作物施設ノ竣功届ヲ受理シタルトキハ檢查ノ上進達スヘシ

第十四條　繼續使用、占用又ハ使用、占用權移轉若ハ繼承ノ願書ヲ受理シタルトキハ左記ノ事項ヲ調査シ意見ヲ具シ進達スヘシ

一、前使用、占用權者ノ行爲ニ不正若ハ料金滯納等ノ事實ナキヤ否

二、第十條第一號及第三號記載事項

第十五條　使用、占用權者ニ於テ住所氏名ノ變更ヲ届出タルトキハ町村役場ニ就キ其ノ事實ヲ調査シ進達スヘシ

第十六條　使用、占用地ノ返地若ハ使用、占用權ノ拋棄ヲ届出タルトキハ左記事項ヲ調査シ進達スヘシ

一、返地若ハ權利拋棄ノ原因

二、工作物ノ除却及原形ノ回復ヲ爲シタルヤ否

三、料金滯納ノ事實ナキヤ否

四、其他届出人ニ於テ履行スヘキ義務ナキヤ否

第十七條　使用、占用ノ期間滿了シタルモノニ付テハ前條ニ準シ調査シ内務部長ニ報告スヘシ

第十八條　使用、占用ノ目的又ハ生產物ノ採取カ天災其ノ他不可抗力ニ因リ全部若ハ一部其ノ目的ヲ達スル能ハサルニ至リタル場合ニ於テ既納料金ノ返還ヲ出願アリタルトキハ其ノ事實ヲ調査シ意見ヲ具シ進達スヘシ

第十九條　使用、占用及工作物施設ニ關スル臺帳ヲ別紙樣式ニ依リ調製シ許可指令書ノ送付若ハ届出ヲ受ケタルトキハ之ヲ加除訂正スヘシ

第二十條　河川管理員設置規程第二條第五號ニ依リ特ニ命セラレタル事項ニ付テハ内務部長ノ指揮ヲ受ケ之ヲ處理スヘシ

附屬物並工作物調查報告表（何月分）

川筋	箇所 郡	町村	大字	字	工種	狀況ノ概要	備考

年月日　第何區河川管理員

內務部長宛

使用並占用調查報告表（何月分）

川筋	箇所 郡	町村	大字	字	許可ノ有無	事實ノ概要	備考

年　月　日　第何區河川管理員

內務部長宛

江戸川筋其他ノ一部ヲ利根川ノ派川ト認定スルノ件

（明治三十二年三月縣告示第七四號）

本年四月一日ヨリ左記ノ川筋ヲ利根川ノ派川ト認定ス

一、江戸川筋左岸東葛飾郡關宿町大字關宿臺町同郡同町大字關宿江戸町迄（江戸川ニ合流點迄）

一、逆川筋左岸東葛飾郡關宿町以下海ニ至ル迄

一、將監川筋右岸印旛郡木下町以下同郡安食町迄左岸同郡布鎌村大字布鎌西新田以下同村大字布鎌下和田新田迄（下利根川ニ合流點迄）

河川法ヲ準用スヘキ河川認定ノ件

（大正六年一月縣告示第二號）

河川法ヲ準用スヘキ河川左ノ通認定ス

一、小櫃川

準用區域　右岸君津郡中郷村大字十日市場字西南臺　左岸同郡清川村大字菅生字峡多　里道橋

萬年橋以下海ニ至ル

一、養老川

準用區域　右岸市原郡養老村大字土字字杉木向　左岸同郡戸田村大字馬立字下川岸　縣道橋

土字橋以下海ニ至ル

河川法ヲ準用スヘキ河川認定ノ件

（大正十二年四月縣告示第一七七號）

左記河川區域ヲ長門川ニ編入シ河川法ヲ準用ス

右岸印旛郡安食町地先左岸同郡布鎌村地先將監川長門川合流點ヨリ以下利根川注流點迄

横利根川其他ノ河川沼ニ河川法ヲ準用ノ件

（明治四十年十二月縣令第四七號）

左記ノ河川沼ニ河川法第二十四條第一項第二十九條第三十七條ヲ準用ス

一、横利根川
一、北利根川
一、鹿島川
一、印旛沼
一、長門川

河川法ヲ準用ノ件

（明治四十一年九月縣告示第二五四號）

左記ノ河川及沼ニ河川法第七條及第九條ヲ準用ス

一、鹿島川　一、印旛沼　一、長門川　一、横利根川　一、北利根川

河川法ヲ準用ノ件

（大正十二年四月縣告示第一七九號）

大正十二年四月二十四日千葉縣告示第百七十七號ヲ以テ長門川區域ニ編入シタル部分ニ對シ河川法第七條第九條第十五條第二十四條第一項第二十九條及第三十七條ヲ準用ス

河川區域變更認定ノ件

（明治四十四年二月縣告示第四二號）

利根川區域ノ內左ノ通變更ス

右岸

香取郡橘村大字新宿地先第一點（河川臺帳三角點(12)號ヨリ(13)號ヲ見透シ三百九十六間ヲ隔テシ箇所ヨリ左方）ニテ現在ノ川敷線ニ分レ同所第二點（河川臺帳三角點(14)號ヨリ(13)號ヲ見透シ三百九十六ヘ直角ニ百十四間ノ位置）ヲ經テ同郡笹川町大字須賀山地先堤防起點（河川臺帳三角點(14)號ヨリ茨城縣河川臺帳三角點(11)號ヲ見透シ三百九十三間ヲ隔テシ箇所ヨリ左方ヘ直角ニ百三十三間ノ位置）ニ至リ同起點ヨリ堤防表法先ニ沿ヒ同郡津宮村大字津宮河臺帳關第一號ニ至リ現在川敷線ニ接續スル折線

左岸

香取郡森山村大字阿玉川地先堤防表法先千葉茨城縣界（河川臺帳三角點(17)號ヨリ茨城縣河川臺帳三角點(16)號ヲ見透シ千百六十五間ヲ隔テシ箇所ヨリ左方ヘ直角ニ十間ノ位置）ヨリ堤防表法先ニ沿ヒ同郡佐原町大字佐原河川臺帳三角點(32)號ノ上流百十間ノ位置ニ至リ現在川敷線ニ接續スル折線

以上兩岸ノ折線及其上下流ニ於ケル在來ノ川敷線間ヲ河川ノ區域トナス

利根川河川區域變更ノ件

（大正十二年六月縣告示第二六二號）

利根川筋川河法施行區域ノ內東葛飾郡關宿町地先茨城縣界ヨリ香取郡津宮村大倉村界ニ至ル間ノ河川區域ヲ左ノ通變更ス

一、右岸改修堤防（堤防中斷セル部分ハ實地ニ設置セル川敷杭連結線）ト右岸改修堤防（堤防中斷セル部分及佐原町地內內務省機械工場敷地々先ハ實地ニ設置セル川敷杭連結線）トノ間ニ於ケル本縣地籍全部但民有地ヲ除ク圖面參照（圖面ハ別ニ之ヲ頒ツ）

江戸川河川區域認定ノ件

（大正十五年十二月縣告示第五五四號）

東葛飾郡關宿町地先ヨリ以下同郡行德町地先ニ至ル間江戸川河川區域ヲ左ノ通認定ス

一、左右兩岸改修堤防（改修堤防未竣功箇所無堤地堤防中斷箇所在來堤防及新放水路分岐箇所ハ實地ニ設置セル標杭連結線）間ニ於ケル本縣地籍全部（圖面參照）

（圖面略ス）

附屬物認定ノ件

（明治四十年十二月縣告示第三一〇號）

左記ノ堤防ヲ各川沼ノ附屬物ト認定ヌ

印旛沼堤防

一、印旛郡安食町大字安食公津村大字北須北須賀間長五千十五間
一、仝　郡公津村大字北須賀地先長五百十四間
一、仝　郡仝　村大字船形下形地先長三十五間
一、仝　郡仝　村大字臺方地先長六十一間
一、仝　郡酒々井町大字柏木上岩橋地先長三百四間
一、仝　郡內鄉村大字飯田地先長百五十七間
一、仝　郡仝　村大字飯田飯野地先長二百六間
一、仝　郡臼井町大字江原角來地先長八百七十九間
一、仝　郡宗像村大字岩戸師戸地先長二百五間
一、仝　郡仝　村大字師戸地先長百六十二間
一、仝　郡仝　村大字同地先長四十八間四分
一、仝　郡六合村大字瀨戸山田地先長百七十一間五分
一、仝　郡仝　村大字山田地先長三百十二間
一、仝　郡仝　村大字平賀地先長百二十二間五分

北利根川堤防

一、仝　郡仝　村大字平賀山田地先長三百八十二間七分

横利根川堤防

一、仝　郡仝　村大字山田吉高地先長五百九十一間
一、仝　郡仝　村大字吉高地先長六百五間五分
一、仝　郡六合村大字萩原埜原村大字安食卜杭新田間長三千七百九十四間

北利根川堤防

一、香取郡新島村大字洲新田大島附地先長三千百五十四間

横利根川堤防

一、香取郡新島村大字大島佐原町大字佐原間長三千五百八十九間

河川附屬物認定ノ件

（明治四十四年二月縣告示第四三號）

左記ノ工作物ヲ河川ノ附屬物ト認定ス

一、利根川右岸堤防香取郡橘村大字新宿ヨリ同郡津宮村大字津宮ニ至ル延長八千五百三十七間
一、利根川左岸堤防香取郡森山村大字阿玉川ヨリ同郡佐原町大字佐原ニ至ル延長七千三百八十一間
一、利根川右岸護岸香取郡津宮村大字津宮地先石張工延長二百二十三間法高二間及沈床工延長百三

十七間幅四間

一、利根川左岸護岸香取郡大倉村大字大倉地先石張工延長八百六十五間法高一間及沈床工延長六百十一間幅四間

一、利根川左岸護岸香取郡佐原町大字佐原地先石張工延長四百五十間法高二間及沈床工延長二百八十五間幅四間

一、利根川右岸香取郡笹川町大字須賀山地先木造水門一ヶ所

一、同上森山村大字阿玉川地先木造水門一ヶ所

一、利根川左岸香取郡小見川町大字小見川地先木造水門一ヶ所

河川附屬物認定ノ件

（大正十二年四月縣告示第一七八號）

左記堤防ヲ長門川ノ附屬物ト認定ス

右岸印旛郡安食町大字安食地先利根川新堤防接續點ヨリ上流將監川堤防丁杭〇里十六丁ニ至ル區間

左岸印旛郡布鎌村大字布鎌下和田新田地先丁杭〇里〇丁ヨリ上流同郡同村大字布鎌下和田新田地先將監川堤防丁杭〇里六丁ニ至ル區間

河川附屬物認定ノ件

（大正十二年六月縣告示第二六三號）

利根川筋東葛飾郡關宿町地先茨城縣界ヨリ香取郡津宮村大倉村界ニ至ル間ニ於ケル從來ノ河川附屬物ハ全部之ヲ廢止シ更ニ左ノ通河川附屬物ニ認定ス

堤防

起點終點	番號	延長
香取郡津宮村	堤第一號	八、二九二間
香取郡神崎町		
印旛郡高岡村	堤第二號	八、七〇七
印旛郡布鎌村		
東葛飾郡布鎌村	堤第三號	八、〇五六
東葛飾郡湖北村		
東葛飾郡我孫子町	堤第四號	一、〇八〇
同上	堤第五號	六八
同上	堤第六號	一〇二
同上	堤第七號	六〇
東葛飾郡我孫子町	堤第八號	二五〇
同富勢村	堤第九號	二、一一三
東葛飾郡富勢村	堤第十號	八六
東葛飾郡富勢村	堤第十一號	一八六
同田中村	堤第十二號	四八〇
同田中村	堤第十三號	三七〇
同上	堤第十四號	四三六
同上	堤第十五號	四四九
同田中村	堤第十六號	九五四
同福田村	堤第十七號	五二
同上	堤第十八號	一二四
同上	堤第十九號	六二
同福田村	堤第二十號	一一、七五〇
同關宿町		
香取郡津宮村	堤第二十一號	二、九七〇
香取郡佐原町		
同東大戸村	堤第二十二號	一、〇〇五
同滑河町	堤第二十三號	四〇九
東葛飾郡福田村	堤第二十四號	二五五

護岸

所在地	番號	數量
香取郡佐原町	ご第一號	一

水制

所在地	番號	數量
香取郡東大戸村	自す第一號 至す第二號	二
同神崎町	自す第三號 至す第七號	五
同高岡村	す第八號	一
同滑河町	自す第九號 至す第十二號	四
印旛郡豊住村	自す第十三號 至す第十九號	七
印旛郡安食町	自す第二十號 至す第三十二號	一三
同布鎌村	自す第三十三號 至す第三十八號	六
同木下町	自す第三十九號 至す第四十四號	六
東葛飾郡布佐町	自す第四十五號 至す第四十八號	四
同湖北村	自す第四十九號 至す第五十一號	三
同我孫子町	自す第五十二號 至す第五十三號	二
同田中村	自す第五十四號 至す第五十七號	四
同田中村	す第五十八號	一
同福田村	自す第五十九號 至す第六十七號	九
同旭村	自す第六十八號 至す第七十六號	九
同川間村	自す第七十七號 至す第八十二號	六
同木間ヶ瀬村	自す第八十三號 至す第八十四號	二
同關宿町	自す第八十五號 至す第九十三號	九

水門

所在地	箇所	水門名

香取郡佐原町	一	小野川水門	
印旛郡布鎌村	一	印旛水門	

河川附屬物認定ノ件

（大正十五年十二月縣告示第五五五號）

江戸川河川附屬物ヲ左ノ通認定ス

堤防

護岸	起點	終點	番號	延長
東葛飾郡行德町	同郡行德町		堤第一號	二、九〇〇米
同郡市川町	同郡市川町		堤第二號	七、〇五八
同郡松戸町	同郡松戸町		堤第三號	四、二七七
同郡明村	同郡流山町		堤第四號	七、一九四
同郡流山町	同郡新川村		堤第五號	一、四三八
同郡新川村	同郡野田町		堤第六號	三、五三七
同郡野田町	同郡梅郷村		堤第七號	一、三七二
同郡梅郷村	同郡七福村		堤第八號	四、二八四
同郡七福村	同郡川間村		堤第九號	一三、一四七

水制	所在地	番號	數量
東葛飾郡行德町	同郡市川町	護第一號	一
同郡市川町	同郡松戸町	護第二號	一
同郡松戸町	同郡明村	護第三號	二
同郡明村	同郡川間村	護第四號	二
同郡馬橋村	同郡二川村	護第五號	二
同郡川間村	同郡二川村	護第六號	二
同郡二川村	同郡馬橋村	護第七號	二
同郡二川村	同郡馬橋村	護第八號	二
同郡二川村	同郡川間村	護第九號	一
同郡二川村	同郡二川村	護第十號	一
同郡二川村	同郡關宿町	護第十一號	一
東葛飾郡行德町	同郡市川町	自水第一號至水第二四號	二四
同郡市川町	同郡松戸町	自水第二五號至水第二九號	四
同郡松戸町	同郡明村	自水第三〇號至水第三四號	五
同郡明村		水第三四號	一
同郡馬橋村	同郡新川村	自水第三五號至水第四二號	七
同郡新川村	同郡梅郷村	自水第四三號至水第四四號	二
同郡梅郷村	同郡二川村	自水第四四號至水第四八號	五
同郡二川村	同郡二川村	自水第四九號至水第五四號	五

利根川沿堤土地及河川附近ノ土地ノ區域認定ノ件

（大正二年三月縣告示第一〇一號）

利根川筋左岸香取郡佐原町大字佐原（横利根川合流點）以下同郡森山村大字阿玉川千葉茨城兩縣界迄右岸東葛飾郡關宿町大字關宿臺町以下海ニ至ル迄及利根川ノ派川ト認定シタル逆川筋右岸並將監川筋左右兩岸ニ於ケル沿堤土地及河川附近ノ土地ノ區域左ノ通認定ス

記

沿堤土地ノ區域

一、本堤堤內堤敷線ヨリ堤內部へ十間迄ノ區域

（東葛飾郡川間村及全郡布佐町地先ニ於ケル重複堤防ノ在ル個所ニ於テハ內方ニアル堤防ヲ以テ本堤トス以下之ニ同シ）

二、本堤ヨリ堤內ニ向ヒ分岐セル支堤ノ堤敷線ヨリ十間ノ區域

三、輪形堤防內堤敷線ヨリ堤內部へ十間迄ノ區域

河川附近ノ土地ノ區域

一、有堤部

（一）堤內部

（イ）本堤ノ堤內堤敷線ヨリ堤內部へ三十間迄ノ區域

（ロ）本堤ヨリ堤內ニ向ヒ分岐セル支堤ノ堤敷線ヨリ十間マテノ區域

（二）堤外部

本堤ノ堤外堤敷線ト川敷線トノ間ニアル區域

二、無堤部

（一）相隣レル上下流堤防ノ間ニ在ル無堤部

上流堤防ノ沿堤土地內方限界線ノ下流終端ト之ニ隣レル下流堤防ノ沿堤土地內方限界線ノ上流終端トヲ連結セル線ト川敷線トノ間ニ在ル區域但シ相隣レル上下流堤防間ニ介在スル丘陵部ニ於ケル區域ハ甲號表ノ通トス

（二）最下流堤防終點ノ下流ニアル無堤部

其區域ハ乙號表ノ通トス

三、輪形堤防部

前二項ノ區域內ニ在ル輪形堤防ノ內部ニアリテハ堤內堤敷線ヨリ堤內部へ十間迄ノ區域

甲號　丘陵部河川附近ノ土地區域表

川筋	郡	町村	大字	區域
利根川右岸	東葛飾郡	木間ヶ瀬村木間ヶ瀬船形		丙號表河附木第一號同木第二號同川第一號及同川第二號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニアル土地
同	同	福田村木野崎		丙號表河附福第一號乃至同福第四號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニアル土地
同	同	三ツ堀戸瀬		丙號表河附福第五號乃至福第九號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニアル土地
同	同	三ツ堀		丙號表河附福第十號乃至同福第十二號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニアル土地
同	同	三ツ堀戸瀬		丙號表河附福第十三號乃至同福第十八號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニアル土地
同	同	田中村船戸		丙號表河附田第一號乃至同田第四號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	大室		丙號表河附田第五號乃至同田第十一號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	花野井		丙號表河附田第十二號乃至同田第十六號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	富勢村布施		丙號表河附田第十七號及同田第十八號標杭ヲ連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	布施		丙號表河附田第十九號乃至同田第二十一號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	久寺家		丙號表河附田第二十二號乃至同田第二十六號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	我孫子町	柴崎	丙號表河附富第一號及同富第二號標杭ヲ連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	柴崎		丙號表河附富第三號及同富第四號標杭ヲ連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	布施		丙號表河附富第五號乃至同富第八號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	我孫子町	柴崎	丙號表河附我第一號乃至同我第四號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	柴崎		丙號表河附我第五號及同我第六號標杭ヲ連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	柴崎		丙號表河附我第七號乃至同我第十二號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地

乙號　最下流堤防終點ノ下流ニ在ル無堤部河川附近ノ土地區域表

川筋	郡	町村	大字	區域
同	同	湖北村中峠		丙號表河附湖第一號乃至同湖第八號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	布佐町布佐		丙號表河附布第一號乃至同布第三號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	同	同	丙號表河附布第四號乃至同布第七號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	香取郡	神崎町神崎本宿	神崎新宿	丙號表河附神第一號乃至同神第四號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	香取町	新宿	
利根川右岸	香取郡	笹川町須賀山		丙號表河附笹第一號乃至同笹第四號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	橘村	石出東今泉	丙號表河附笹第五號乃至同笹第八號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	豊里村		丙號表河附笹第九號乃至同笹第十二號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	海上郡	椎柴村		丙號表河附笹第十三號乃至同笹第十六號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	船木村		丙號表河附笹第十七號乃至同笹第二十號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	海上村		丙號表河附笹第二十一號乃至同笹第二十四號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地
同	同	西銚子町		丙號表河附笹第二十五號乃至同笹第二十八號標杭ヲ順次連結シタル線ト川敷線トノ間ニ在ル土地

丙號　河川附近土地標杭位置表

川筋	郡	町村	大字	區域
利根川右岸	香取郡	笹川町須賀山		河川臺帳三角點(14)號ト(13)トノ見透線中三角點(14)號ヨリ三百九十六間ノ距離ニアル點ヨリ左方ニ直角ニ八十四間ノ距離ニアル點ト笹川町大字須賀山地先堤防堤內堤敷線ノ下流終端ヨリ直角ニ三十間ノ距離ニアル點トヲ連結シタル線ト川敷線トノ間ニアル土地右區域ノ下流ハ川敷線ヨリ河身ニ反對ノ側ヘ三十間迄ノ區域內ニ在ル土地
同	同	橘村	石出東今泉	川敷線ヨリ河身ヘ反對ノ側ヘ三十間迄ノ區域內ニ在ル土地
同	同	豊里村		川敷線ヨリ河身ヘ反對ノ側ヘ三十間迄ノ區域內ニ在ル土地
同	海上郡	椎柴村		川敷線ヨリ河身ヘ反對ノ側ヘ十間迄ノ區域內ニ在ル土地
同	同	船木村		同上
同	同	海上村		同上
同	同	西銚子町		川敷線ヨリ河身ニ反對ノ側ヘ五間迄ノ區域內ニ在ル土地

番號	名稱	所在 郡	所在 町村	大字	字	地番	地目	摘要
河附木第一號	起點標杭	東葛飾郡	木間ヶ瀬村	木間ヶ瀬	大山	六、一一六ノ一	山林	
同第二號	中間標杭	同	同	同	同	六、一一七ノ一	同	
河附川第一號	同	同	川間村	船形	北谷津	二、九九七	田	
同第二號	終點標杭	同	同	同	同	二、九九七地先	道路	
河附福第一號	起點標杭	同	福田村	木野崎	北	八五一地先	水路	
同第二號	中間標杭	同	同	同	同	八五一	山林	
第三號	同	同	同	同	同	七五三	同	
第四號	終點標杭	同	同	瀬戸	北	七八五ノ一	宅地	
第五號	起點標杭	同	同	淺間臺	同	一、〇七九ノ一	山林	
第六號	中間標杭	同	同	同	同	一、〇八〇ノ一	宅地	
第七號	同	同	同	三ツ堰	殿山	一、五八四	畑	
第八號	同	同	同	同	下坪	一、四七七ノ一	畑	
第九號	終點標杭	同	同	同	同	一、四六四	同	
第十號	起點標杭	同	同	同	同	一、四五〇ノ一	山林	
第十一號	中間標杭	同	同	町田	同	六九九	田	
第十二號	終點標杭	同	同	同	同	六九七	同	
第十三號	起點標杭	同	同	扇田	同	六八三	同	
第十四號	中間標杭	同	同	同	同	六七〇ノ一	山林	
第十五號	同	同	同	同	同	六七四ノ二	畑	
第十六號	中間標杭	同	同	宮下	同	一五三	山林	
第十七號	同	同	同	寺中	同	八三五	畑	
第十八號	終點標杭	同	同	瀬戸	同	八二六	同	
河附田第一號	起點標杭	同	船戸村	船戸	旭山	九一七ノ一	山林	

番號	名稱	所在 郡	所在 町村	大字	字	地番	地目	摘要
同第二號	中間標杭	同	同	同	同	九二三	畑	
第三號	同	同	同	同	同	九二四	山林	
第四號	終點標杭	同	同	同	同	九八二ノ四	同	
第五號	起點標杭	同	同	同	宮本	一、〇四五ノ二	田	
第六號	中間標杭	同	同	同	同	一、〇四九	山林	
第七號	同	同	同	同	同	一、一七八	畑	
第八號	同	同	同	同	同	一、一九八	社地	
第九號	終點標杭	同	同	同	花前	一、二〇七ノ一	山林	
第十號	同	同	同	同	同	一、二一〇	畑	
第十一號	終點標杭	同	同	同	同	一、二九五	田	
第十二號	起點標杭	同	同	大室	小山臺	六七八ノ一	山林	
第十三號	中間標杭	同	同	同	同	六九八	畑	
第十四號	同	同	同	同	同	七四八	山林	
第十五號	同	同	同	同	寺下前	九〇五ノ一	畑	
第十六號	終點標杭	同	同	同	同	九〇八ノ二	田	
第十七號	起點標杭	同	同	同	同	九四一	同	
第十八號	終點標杭	同	同	同	根崎	一、七三六ノ一	山林	
第十九號	起點標杭	同	同	同	同	一、七三八	同	
第二十號	中間標杭	同	同	花野井	同	一、七四一地先	道路	
第二十一號	終點標杭	同	同	古谷前	同	一、五三五ノ一	山林	
第二十二號	起點標杭	同	花野井	臺ノ山	同	一、五三二ノ一	宅地	
第二十三號	中間標杭	同	同	同	同	一、三四七	山林	
第二十四號	同	同	同	鹽辛	同			

番號	名稱	所在 郡	町村	大字	字	地番	地目	摘要
河附田第二十五號	中間標杭	東葛飾郡	田中村	花野井	鹽辛	一、四一一	畑	
同第二十六號	終點標杭	同	同	同	同	一、三九九ノ一	同	
河附富第一號	起點標杭	同	富勢村	布施	殿臺	二一六	山林	
同第二號	終點標杭	同	同	同	堂下	二三二ノ二	同	
同第三號	起點標杭	同	同	同	同	二八三	畑	
同第四號	終點標杭	同	同	同	古谷	四一三ノ三	山林	
同第五號	起點標杭	同	同	同	本願寺	二、八〇一	同	
同第六號	中間標杭	同	同	同	同	二、七一四	同	
同第七號	終點標杭	同	久寺家	根郷地	七七五ノ一	同		
同第八號	起點標杭	同	我孫子町	我孫子	妻子原	七七八ノ一	同	
河附我第一號	中間標杭	同	同	柴崎	天王谷	一、六〇三ノ二	同	
同第二號	終點標杭	同	同	同	同	一四	同	
同第三號	起點標杭	同	同	同	同	一五	同	
同第四號	終點標杭	同	同	同	同	四三	田	
同第五號	起點標杭	同	同	同	同	四七	山林	
同第六號	終點標杭	同	同	同	後田	五三地先	道路	
同第七號	起點標杭	同	同	同	同	八七一	田	
同第八號	中間標杭	同	同	同	同	八七三	同	
同第九號	終點標杭	同	同	小木戸	同	八八〇ノ一	畑	
同第十號	起點標杭	同	同	同	同	九〇〇	山林	
同第十一號	終點標杭	同	同	同	同	九三〇	同	
同第十二號	起點標杭	同	湖北村	中峠	城根	一、五六三ノ三	同	
河附湖第一號	中間標杭	同	同	同	市領	二三六	宅地	

同第二號	中間標杭	同	同	外谷津元	三、八四八	畑		
同第三號	同	同	同	海老宿	三、八二一	同		
同第四號	同	同	同	下根古屋	三、七七八ノ一	同		
同第五號	同	同	同	同	三、七一八	山林		
同第六號	同	同	同	黒古臺	三、〇八八	同		
同第七號	同	同	同	同	三、〇七五	同		
同第八號	終點標杭	同	同	大阪臺	三、〇六九ノ十一	同		
河附布第一號	起點標杭	同	布佐町	谷ツ山	一三三	山林		
同第二號	中間標杭	同	同	同	同	一二五	畑	
同第三號	終點標杭	同	同	道祖神前	七四八	藪		
同第四號	起點標杭	同	同	同	七二一	山林		
同第五號	中間標杭	同	同	高臺	六四九	畑		
同第六號	同	同	同	中町	二、三八八	同		
同第七號	終點標杭	同	香取郡	神崎町	居下	六八三	田	
河附神第一號	起點標杭	同	神崎町	神崎新宿	宮下	六七八	宅地	
同第二號	中間標杭	同	同	同	同	一、九四五	社地	
同第三號	同	同	同	神崎本宿	鳥井前	一、九四五	同	
同第四號	終點標杭	同	同	同	同	一、九四五	同	

位置ハ上記地番ノ北隅トス
位置ハ上記地番ノ東北隅トス

位置ハ上記地番ノ西北隅トス
位置ハ上記地番ノ東北隅トス

備考

一、一丘陵ニ於テ上流ニ在ルヲ起點標杭トシ下流ニアルヲ終點標杭トス

二、起點標杭ハ其ノ丘陵ノ上流ニ接續スル堤防ノ沿堤土地内方限界線ノ下流終端トス

三、終點標杭ハ其ノ丘陵ノ下流ニ接續スル堤防ノ沿堤土地内方限界線ノ上流終端トス

利根川沿堤土地及河川附近地變更ノ件

（大正十二年八月縣告示第三二一號）

利根川筋河川法施行區域ノ內東葛飾郡關宿町地先茨城縣界ヨリ香取郡津宮村大倉村界ニ至ル間ノ沿堤土地及河川附近ノ土地　區域左ノ通變更ス

沿堤土地ノ區域

堤內堤敷線ヨリ堤內部へ五間迄ノ區域

河川附近ノ土地ノ區域

一、有堤部

（一）堤內部　堤內堤敷線ヨリ堤內部へ十間迄ノ區域

（二）堤外部　堤外堤敷線ト川敷線トノ間ニ在ル區域

二、無堤部

計劃高水位ノ及フ點ヨリ十間迄ノ範圍ニシテ實地ニ建設セル標杭ヲ以テ圍マレタル區域

江戸川河川附近ノ土地ノ區域變更ノ件

（大正十五年十二月縣告示第五五六號）

東葛飾郡關宿町地先ヨリ以下同郡行德町地先ニ至ル間江戸川河川附近ノ土地ノ區域ヲ左ノ通變更ス

記

一、有堤部

堤內部　堤內堤敷線ヨリ堤內部へ二十米迄ノ區域

堤外部　堤外堤敷線ヨリ川敷線ニ至ル迄ノ區域

一、無堤部

計畫高水位ノ及フ點ヨリ堤內部へ二十米迄ノ區域

江戸川河川附近ノ土地ノ區域認定ノ件

（大正十五年十二月縣告示第五七一號）

東葛飾郡行德町以下海ニ至ル間（江戸川放水路）江戸川河川附近ノ土地ノ區域ヲ左ノ通認定ス

記

一、堤內部　堤內堤敷線ヨリ堤內部へ二十米迄ノ區域

一、堤外部　堤外堤敷線ヨリ川敷線ニ至ル迄ノ區域

河川附近地工作物施設ノ件

（大正十五年十二月土第四三九八號第一二、三、區河川管理員宛內務部長通牒）

河川附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ施設ニ關シテハ明治三十三年勅令第三〇〇號ノ規定ニ依リ知事ノ許可ヲ要スル儀ニ有之候處往々許可ヲ要セサル事項ニ付出願ヲ爲スモノ有之候ニ付貴官ニ於テ右願書ノ送付ヲ受ケタルトキハ十分審査ヲ遂ケ且左記事項調査ノ上進達相成度此段及通牒候也

追而前記勅令第四條家屋ノ意義ニ關シ參考迄ニ別紙土木局長ノ回答書添付致候

記

一、河川臺帳切圖記載ノ堤防カ現在ノ堤防ト相違スル箇所ハ右切圖ニ現在ノ堤防敷ヲ記入スルコト

二、有堤部無堤部ノ區別及有堤部ニ在リテハ堤內及堤外ノ區別

三、堤內部ニ在テハ工作物施設ノ箇所ト堤內堤敷線トノ距離

（別紙）

明治三十三年勅令第三百號ノ家屋ノ意義ニ關スル件

（明治四十五年八月土第二五一號回答）

（東京府知事宛土木局長）

本月十五日子土發第一四九八號ヲ以テ明治三十三年勅令第三百號第四條ニ規定セル家屋ノ意義ニ關シ御照會相成候處右ハ住家及其ノ附屬建物ヲ指稱スル義ニ有之御申越ノ如キ事務所工場倉庫等ハ包含セサルモノト存候條御了知相成度此段及回答候也

東京府知事伺

（明治四十五年七月十五日子土發第一四九八號）

明治三十三年七月勅令第三百號第四條中ニ家屋云々ト有之候處右ハ單ニ人ノ居住スル家屋ヲ指シタル義ニ候哉果シテ然ラハ各種會社其ノ他ニ於ケル事務所並ニ工場倉庫ノ如キモノハ其家屋中ニ包含セラレサル義ニ候哉差當リ疑義ヲ生シ候間至急何分ノ御回示相成度此段及照會候也

治水工夫使用方心得ノ件

（明治三十四年五月內二發三三九號各工區主幹宛土木課長通牒）

治水工夫使用方左ノ通心得ラルヘシ

一、治水工夫ハ治水工事ニ使用スル傍堤防（一切ノ治水工作物ヲ含ム以下同之）ノ看守保護ニ從事セシムヘシ

二、看守保護ノ担當區域ハ主幹ニ於テ之ヲ定メ當廳ニ報告スヘシ

三、堤防ニ小破ヲ生シタルトキ治水工夫ノ力ノミニテ修理シ得ヘキモノハ直ニ之ヲ修理セシムヘシ

四、前項治水工夫ヲシテ修理セシムヘキモノノ種類及其ノ範圍ハ主幹ニ於テ豫メ之ヲ定メ當廳ニ報告スヘシ

五、治水工夫ニハ服務日誌（道路工夫ノ日々服務ノ事項（治水工事ニ使用スル日ヲ除ク）ヲ記載セシメ時々之ヲ檢閲スヘシ（誌式ニ依ル）ヲ作ラシメ

右通牒ス

水門管理ニ關スル件

（明治四十三年七月縣指令土第三二五五號）

第一條　水門管理人ハ縣ノ指揮ニ從ヒ水門及其ノ附屬品ヲ管理スヘシ

第二條　水門管理人ハ水門又ハ其ノ附屬物ニ異狀アルヲ認メタルトキハ直ニ所管河川管理員ヲ經テ縣ニ報告スヘシ

第三條　水門管理人ハ水門袖柱ニ打附アル量水標ニ依リ左記ノ水位ニ於テ水門ヲ開閉スヘシ

森山村及小見川町ノ水門ハ水位三尺ニ昇リタルトキ閉鎖シ水位二尺五寸ニ減シタルトキ開放スヘシ

笹川村水門ハ水位二尺五寸ニ昇リタルトキ閉鎖シ水位二尺五寸ニ減シタルトキ其ノ日時ヲ直ニ所管河川管理員ヲ經テ縣ニ報告スヘシ

第四條　水門管理人ハ平素水門ヲ監視シ又水門ヲ閉鎖シタルトキハ毎日三回以上巡視シ注意ヲ爲スヘシ

第五條　水門管理人ハ水門及其ノ附屬品ヲ毀損セサル樣注意スヘシ

第六條　水門管理人ハ水門又ハ其ノ附近ノ水面ニ船舶ヲ繫留シ其他水運ヲ妨害スル行爲ヲナスモノナカラシムル樣注意スヘシ

第七條　水門ノ開閉附屬品ノ保管及報告ニ要シタル費用ハ點檢帳ヲ添ヘタル請求書ニ依リ所管河川管理員ヲ經テ縣ニ請求スヘシ

第八條　水門管理人ニ對シテハ年額手當ノ外別ニ旅費ヲ支給セス

願書添申樣式ノ件

（明治四十四年六月各河川管理員宛土木課長通牒）

河川敷地水面並附屬物ノ使用、占用、工作物ノ施設及

生產物ノ拂下願書ニ關スル添申ハ別紙樣式ニ依ラレ度

第一例　何川筋工作物施設並水面（川敷、堤防）使用（占用）ノ件

上記ノ出願箇所實査候處支障無之（又ハ追記ノ事由ニ因リ許可スヘカラサルモノト）認メ候ニ付此段添申候也

年　月　日

内務部長　宛

第何區河川管理員

備考

摘要ハ簡單明瞭ナルヘク若シ許可スヘカラサルモノナルトキハ追記トシテ詳細事由ヲ記載スヘシ但本添申ニハ工區主幹ニ協議其ノ認印ヲ受クヘシ

第二例　何川筋水面（川敷、堤防）占用又ハ繼續占用ノ件

第一例ニ同シ

此段及通牒候也

出願箇所 町村	大字	坪數	料金 一坪當	目的	住所 町村	大字	番地	氏名	摘要
								河川ニ著シキ影響ナシ	
				簀立				堤防保存上支障ナシ	
				家屋建設					

出願箇所 町村	大字	坪數	料金 一坪當	目的	住所 町村	大字	番地	氏名	摘要
								何年何月何日滿期	
				簀立				期限經過何ヶ月ニ付理由書添付	
				家屋建設					

以下第一例ニ同シ但シ備考中工區主幹ノ認印ヲ要セス

第三例　何川筋生產物採取ノ件

第一例ニ同シ

出願箇所 町村	大字	番地	出願別	種類	單價	住所 町村	大字	番地	氏名	摘要
				土、石、砂利等					河川ニ著シキ影響ナシ	
				雜草萱葭等					追記ノ條件ヲ附スルヲ要ス	

以下第二例ニ同シ

河川管理員ノ事務取扱ニ關スル件

（明治四十四年八月各河川管理員宛土木課長通牒）

今般河川管理員增員ニ付事務取扱上區々ニ渉ル虞有之候ニ付爾今河川管理ノ事務ニ關スル文書ノ進達照復等ハ凡テ工區主幹ヲ兼タル河川管理員ノ認印ヲ得テ他ノ（兼務ニアラサル）河川管理員ノ名義ヲ以テ提出スルコトト相定候條此段及通牒候也

河川管理員ニ於テ治水工夫使用ノ件

（明治四十四年九月四日各工區主幹各河川管理員宛土木課長通牒）

河川管理事項中堤防雜草ノ刈拂ニ對スル看守又ハ河川敷地內ノ無願工作物ノ取拂其他河川ノ取締ニ關シ工夫ノ使用ヲ要スル場合ニ於テハ河川管理員ニ於テ工區所屬ノ治水工夫ヲ使用スルヲ得ルコト、決定候ニ付工區主幹ト協議ノ上相互事務ノ緩急ヲ計リテ使用スヘク此段及通牒候也

河川敷堤防敷占用料徵收標準（坪當リ最低額）

（昭和二年三月決定）

占用ノ目的	占用料標準額	備考
宅地（坪當）	一〇錢	
棧橋（同）	一五	
繫船杭（同）	一二	
其他敷地ニ固着シテ施設スル工作物（同）	一五	
工作物ヲ施設セス原形ノ儘占用（同）	一〇	
電柱（一本ニ付）	一五	
鐵塔（坪當）	二〇	
軌條敷地（一間ニ付）	二〇	
諸管理設（同）	五	

但シ特殊ノモノニ付テハ本標準ニ依ラサルコトヲ得

河川敷堤防敷占用料徵收標準（一ケ所ニ對スル最低額）

占用ノ目的	占用料標準額	備考
棧橋架設	三〇錢	
繫船杭建設	三〇	
吸水管施設	五〇	
鐵塔	一〇〇	
右ノ外敷地ニ固着シテ施設スル工作物	三〇	
前各號ニ該當セサルモノ	三〇	

河川敷及敷占用等河川ニ關スル出願ノ件

（昭和二年十二月工區主幹事務打合セ事項）

內務省直轄利根川及江戶川改修工事施行ノ結果河川臺帳圖面ト現狀トハ相違ヲ來セルモノ多ク爲ニ河川ニ關スル出願ニ當リ河川臺帳圖面ヲ添付スルモ土地ノ現狀ト出願地トノ關係ヲ知ルコト能ハス取扱上支障不尠ヲ以テ當分ノ間（河川臺帳更正濟ニ至ル迄）之等出願ニ際シテハ改修河川敷及堤防敷ト出願地トノ關係ヲ知リ得ヘキ平面圖（二萬五千分ノ一）ヲ添付セシムルカ若ハ河川臺帳圖面ニ右關係ヲ記入セシメラレタシ

河川敷及堤防敷ノ所屬ニ關スル件

（昭和二年十二月二十一日工區主幹事務打合セ事項）

現在利根川及江戶川ノ河川敷並堤防敷ハ其性質上ヨリ左ノ三種ニ分類スルコトヲ得進達ニ際シテハ其ノ區分ヲ明ニセラレタシ

一、河川敷及附屬物タル堤防敷ニシテ公用ヲ廢止シタルモノ（將監川河川及堤防大正十二年四月二十三日千葉縣告示第一七五號、利根川河川敷大正十二年六月二十六日千葉縣告示第二六二號堤防敷同上第二六三號）

一、廢川（廢堤）敷地ヲ告示シタルモノ（例之將監川ノ如シ目下縣有不動產トシテ賣却處分中）

ロ、廢川（廢堤）敷地告示未濟ノモノ（例之利根川ノ如シ目下告示ニ付内務大臣ニ認可稟伺中）

二、改修後認定ノ河川敷及堤防敷（利根川河川區域認定大正十二年六月二十六日千葉縣告示第二六二號、仝上堤防附屬物認定同上告示第二六三號）

三、附屬物以外ノ堤防

河川工作物及土木工事竣功届出ニ關スル件

（昭和三年四月工區主幹會議事項）

河川工作物及土木工事ノ竣功届出ヲ怠ルモノ頗ル多シ處理上支障不尠ヲ以テ工事竣功シタルトキハ直ニ届出セシメラレ度尚期間内ニ竣功セサルモノニ對シテハ豫メ工事竣功延期願ヲ提出セシメラレタシ

河川敷掃除ニ關スル件

（大正元年十一月土第五四五二號東葛飾印旛・香取・海上各郡長宛内務部長通牒）

本年十月二十五日縣令第九十七號河川取締規程公布ノ結果仝規程第二十四條ニ依リ河川敷及堤防ノ掃除ハ明治四十一年五月縣令第三十九號河川法第二十三條ニ依レル洪水防禦準備ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　洪水ノ害ヲ受クヘキ虞アリト認メ特ニ指定シタル町村及其ノ他ノ公共團體ハ豫メ洪水防禦ノ爲メニ必要ナル材料及器具ヲ準備シ一定ノ場所ニ藏置スヘシ但シ材料中竹木ノ類ニ限リ使用場所ヨリ三百間以内ノ地ニ生立スルモノヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

河川法第二十三條ニ依レル洪水防禦準備

（明治四十一年五月縣令第三九號）

第二條　前條ノ町村及其ノ他ノ公共團體ハ急迫ノ場合ニ於テ直チニ使役シ得ヘキ人夫ノ準備ヲ爲スヘシ

第三條　前二條ニ依リ準備スヘキ材料器具ノ種類數量及藏置ノ場所並人夫ノ員數及其ノ徵集方法ハ豫メ之ヲ定メ知事ノ認可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

前項ノ材料器具及人夫ハ毎年五月三十一日迄ニ之ヲ準備スヘシ

第四條　前條ノ材料器具ノ一部若ハ全部ヲ使用シタル後仍ホ出水ノ虞アルトキハ直ニ之ヲ補充スヘシ

第五條　町村長及其ノ他ノ公共團體ノ管理者ハ洪水ノ虞アルトキハ其ノ吏員ヲ指揮シ第三條ノ材料器具ノ配置及人夫ノ徵集等洪水防禦ニ關スル應急措置ヲ爲スヘシ

附　則

第六條　本令施行ノ際ニ限リ第三條第二項ノ期日ハ七月十日迄トス

洪水防禦準備ヲ爲スヘキ公共團体指定ノ件

（明治四十一年六月縣告示第一五八號）

明治四十一年五月千葉縣令第三十九號洪水防禦準備ニ關スル件第一條ニ依リ左ノ通指定ス

關宿町、二川村、木間ヶ瀬村（木間ヶ瀬村七福村）、川間村外二ヶ村（木間ヶ瀬村七福村）、五駄堤防水防組合、川間村、七福村、七福村外一ヶ町（野田町）、江戸川水害豫防組合、野田町、梅郷村外二ヶ村（野田町、新川村）、江戸川水害豫防組合、新川村、新川村南部水害豫防組合、江戸川水害豫防組合（流山町馬橋村小金町、明村、松戸町）、流山町、松戸町大字小山外四大字水害豫防組合、行徳町外四ヶ町村（市川町、八幡町、中山村、葛飾村）水防組合、南行徳村、浦安町、川間村小山水害豫防組合、旭村外一ヶ村（福田村）、利根川水害豫防組合、福田村木野崎外二大字（三ッ堀瀬戸）、利根川水害豫防組合、福田村、江戸川水害豫防組合（福田村田中村）、田中村、富勢村、我孫子町外一ヶ村（富勢村）、利根川水害豫防組合、我孫子町、湖北村、我孫子町外一ヶ村（湖北村）、水害豫防組合、布佐町湖北村利根川水害豫防組合、布佐町、大森町、手賀沼普通水利組合、竹袋外五區（木下町本埜村）、普通水利組合、布鎌村、埜原普通水利組合（本埜村六合村）、六合村、宗像村、臼井町、臼井町角來江原新田水害豫防組合、内郷村酒々井町、印旛沼水害豫防組合（安食町八生村）、八生村、公津村、安食町、下利根川水

害豫防組合、長沼水害豫防組合（久住村、中郷村、成田町、八生村、豊住村、安食町、滑河町、小御門村）滑河町、神崎町、高岡村、瑞穗村、米澤村、東大戸村、佐原町、津宮村外一町二ヶ村（小見川町、大倉村、典浦村）水害豫防組合、豊浦村外二ヶ町村（大倉村、小見川町）水害豫防組合、森山村、笹川町、香北水害豫防組合

洪水防禦準備手續

（明治四十一年六月訓令甲第一四號）

第一條　町村長又ハ其ノ他ノ公共團体ノ管理者ハ明治四十一年五月千葉縣令第三十九號第一條及第二條ニ依リ準備スヘキ材料器具ノ種類數量及藏置ノ場所並人夫ノ員數及其ノ徵集方法ヲ調定セムトスルトキハ豫メ知事ノ指揮ヲ受クヘシ

前項ニ依リ準備ヲ了シタルトキハ遲滯ナク之ヲ知事ニ報告スヘシ

第二條　材料ヲ藏置スヘキ場所ハ堤防延長約六百間乃至千間毎ニ一ヶ所トシ堤防又ハ堤防ニ接シテ之ヲ設置シ材料保存ニ適當ナル設備ヲ爲スヘシ

第三條　生立ノ竹木ヲ以テ藏置ニ代フル場合ニ於テハ其ノ土地ノ角隅ニ左ノ事項ヲ記載シタル標杭ヲ建設スヘシ

洪水防禦ノ準備品タルコト

使用シ得ヘキ材料ノ名稱及數量

町村又ハ其ノ他ノ公共團体名

第四條　明治四十一年五月千葉縣令第三十九號第三條ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ準備期日前三十日迄ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條　準備スヘキ材料器具及人夫其他洪水防禦ノ爲ニ要スル費用ハ毎年度豫算ニ編入スヘシ

第六條　本手續ニ依リ町村長又ハ其ノ他ノ公共團体ノ管理者ヨリ提出スヘキ書面ハ所管工區ヲ經由スヘシ

第七條　削除

第八條　本手續施行ノ年ニ限リ第四條ノ期日ハ準備期日前十五日迄トシ第二條ノ藏置場所ハ堤防附近便宜ノ場所ヲ代用スルコトヲ得

水防委員設置規程

（明治四十一年七月縣令第五〇號）

第一條　河川法ヲ施行シ及之ヲ準用シタル河川ニ於ケル左ノ區域ノ洪水防禦ノ爲水防委員ヲ設置ス

東葛飾郡

印旛郡

香取郡

第二條　水防委員ハ委員長一人、委員次長一人、委員若干人トス

第三條　水防委員長ハ內務部長、水防委員次長ハ警察部長、水防委員ハ左ニ揭クル者ヲ以テ之ニ充ツ

一、內務部

地方事務官及屬

土木課及耕地整理課勤務ノ地方技師、土木技師、地方農林技師、技手、土木技手、農林技手、並縣吏員

二、警察部

地方警視、警部、警部補並巡查

三、洪水防禦區域ノ警察署在勤ノ地方警視、警部警部補並巡查

四、特ニ命シタル官吏及吏員

第四條　官吏タル委員ハ洪水防禦ニ際シ必要ナル場合ニ於テハ河川法第二十三條第一項及第二項ノ處分ヲ爲スヘシ

水防委員職務規程

（明治四十一年七月縣令甲第二〇號）

第一條　水防委員長ハ水防事務ヲ掌理ス

水防委員次長ハ委員長ヲ補佐シ委員長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

水防委員ハ委員長ノ指揮監督ヲ受ケ水防事務ニ從事ス

第二條　洪水防禦區域ヲ三區ニ分チ更ニ分區ヲ畫シ水防委員ヲ配置ス其ノ區域及配置ハ別表ニ依ル

第三條　警察署長タル委員ハ委員長ヨリ水防開始ノ通知アリタルトキハ直ニ其ノ所屬吏員タル委員ヲ水防分區ニ配置スヘシ

第四條　左ニ揭クル水防委員ハ之ヲ水防巡視員トス

地方事務官、地方警視及土木事務ニ關係アル技師

洪水防禦區域ノ警察署長及工區主幹

特ニ命ヲ受ケタル者

水防巡視員ハ委員長ノ命ヲ受ケ水防區ヲ巡視シ水防分區主任ト協議シ防禦上必要ナル處置ヲ爲スモノトス

第五條　水防分區ニ配置シタル水防委員中屬、警部警部補技手ノ上席者ヲ以テ分水防區ノ主任トス

水防分區主任ハ其ノ分區ノ水防事務ヲ擔任シ他ノ委員ヲ指揮シテ防禦上必要ナル一切ノ措置ヲ爲スモノ

トス

水防分區主任ハ隣接分區ニ危險切迫ナル箇所アリト認ムルトキハ相互援助ヲ爲スヘシ

水防分區主任ハ擔任ノ分區警戒ノ必要ナシト認メタルトキハ直ニ水防委員長ニ報告シテ指揮ヲ受クヘシ

第六條　水防分區主任ハ左ノ塲合ニ於テハ直ニ之ヲ委員長ニ報告シ同時ニ水防區ニ關係アル警察署長工區主幹タル委員ニ通知スヘシ

一、防禦ノ必要ヲ生シタルトキ

一、危險ノ虞アルトキ

一、防禦ノ効果アリタルトキ又ハナカリシトキ但シ堤防若ハ樋管ノ破壞シタル場合ニ於テハ其ノ狀況及浸水スヘキ概測反別並家屋ノ數人畜死傷ノ有無

一、水防分區ノ委員配置ニ異動ヲ生シタルトキ

一、其ノ他必要ト認メタル事項

第七條　水防分區ノ水防委員疾病其ノ他ノ事故ニ依リ服務スルコト能ハサルトキハ水防分區主任ノ指揮ヲ受クヘシ

第八條　本規程ニ依ル報告ハ電話又ハ電信ヲ以テスヘシ但已ムヲ得サル塲合ニ於テハ脚夫ヲ以テスルコトヲ得

第九條　水防委員ハ左ノ徽章ヲ左腕ニ附スヘシ

巡視員　赤色布幅二寸

分區主任　黃色布　仝

其ノ他ノ委員　綠色布　仝

第十條　水防分區主任其ノ任務ヲ終リタルトキハ水防ノ概況ヲ記載シタル復命書ヲ作リ水防委員長ヲ經テ之ヲ知事ニ提出スヘシ

水防地區及水防配置表

水防區名	水防分區 分區名	河沼名	町村組合名	配置委員 堤防延長	屬警部警部補技手縣吏員	郡書記	巡査
第一分區	逆川	關宿町		九四〇間			
	江戸川	同		一、六九七			
	同	二川村		三、五八八			
	同	木間ヶ瀨村		三七五	三	一	四
第一水防區	同	川間村外二ヶ村(木間ヶ瀨村、七福村)五駄堤防水防組合		二四〇			
	同	川間村		三九八			
	計			七、七九八			
第二分區	江戸川	七福村		一、〇五八			
	同	七福村外一ヶ町(野田町)江戸川水害豫防組合		七九三			
	同	野田町		二四〇			
	同	梅郷村外二ヶ町村(野田町、新川村)江戸川水害豫防組合		二、一二二	四	一	五
	同	新川村		一、四三七			
	同	新川村南部水害豫防組合		一、五〇七			
	計			七、一五七			
第三分區	江戸川	流山町		五六七			
	同	江戸川水害豫防組合(流山町、馬橋村、小金町、明村、松戸町)		五、四一一			
	同	松戸町江戸川水害豫防組合(大字小山外四大字)		二、九一七	四	一	六
	計			八、八九五			
第四分區	江戸川	市川町		三一八			
	同	行德町外四ヶ町村(市川町、八幡町、中山村、葛飾村)水防組合		四、四〇〇			
	同	南行德村		二、二四三			
	同	浦安町		二、七七三	二	二	五
	計			九、七三四			
第五分區	利根川	關宿町		二、一八〇			
	同	二川村		二、一一七			
	同	木間ヶ瀨村		三、四〇二	四	一	五
	計			七、六九九			
第六分區	利根川	川間村小山水害豫防組合		三、四九四			
	同	川間村		二、一〇七			
	同	旭村外一ヶ村(福田村)利根川水害豫防組合		一、四五八	二	一	四
	計			七、〇五九			
第七分區	利根川	福田村木野崎外二大字(三ツ堀、瀨戸)利根川水害豫防組合		一、四〇四			
	同	福田村		八六五			
	同	江戸川水害豫防組合(福田村、田中村)		一、八七	三	一	四
	同	田中村		一、九三五			
	計			四、三九一			
第八分區	利根川	富勢村		二、三一九			
	同	我孫子町外外一ヶ村(富勢村)利根川水害豫防組合		二、二四五			
	同	我孫子町		一、二三一	三	一	四
	同	我孫子町外一ヶ村(湖北村)水害豫防組合		六六九			
	計			四、四六四			

水防區名	水防分區名	河沼名	町村組合名	堤防延長	配置委員 屬警部警部補技手	配置委員 縣吏員	配置委員 鄉書記	配置委員 巡查
第二水防區	第一分區	利根川	布佐町（大字布佐字仲町下流）	六一、三三七	二七	一〇	四一	
		同	大森村					
		同	手賀沼普通水利組合					
		利根川	竹袋外五區（木下町本埜村）普通水利組合	二、四一六	四	四	六	
		同	布鎌村	六、一四四				
		將監川		九、八九五				
		同						
		同						
		計						
	第二分區	將監川	埜原村普通水利組合（本埜村六合村）	七三〇	二	一	三	
		印旛沼		三四四				
		計		二六一				
	第三分區	印旛沼	六合村	五、二二二	二	一	三	
		同	像村	五二二				
		計						
	第四分區	印旛沼	臼井町、角來、江原新田水害豫防組合	二、一三三	一	一	二	
		同	內郷村	二、四一五				
		同	酒々井町	四八				
		計						
	第五分區	將監川	印旛沼水害豫防組合（安食町八生村）	八七九	一	一	二	
		同	公津村	三〇四				
		計		六				
	第八分區	將監川	安食町下利根川水害豫防組合	三、三六二	二	一	三	
		利根川	長沼水害豫防組合	七五三				
		利根川		一、五一七				
		計		五、六二〇				
合計				三一、〇四二	一三	一二	二〇	
第三水防區	第一分區	利根川	河町	一、三六四	二	一	三	
		同	滑神崎町高岡村水害豫防組合	三、六九五				
		計		五、〇五九				
	第二分區	利根川	神崎町外三ヶ村（米澤村、瑞穗村 東大戸村）水害豫防組合	五、七五二	三	二	四	
		同	神崎町	一、七七九				
		同	東大戸村	一一八				
		右岸	佐原町	二、二四一				
		計		九、八四〇				
	第三分區	利根川	津宮村	三八一	一	一	三	
		右岸	津宮村外一町二ヶ村（小見川町、大倉村、豐浦村）水害豫防組合	五、八九二				
		同	森山村	一、二六九				
		同	笹川町	二、一四四				
		計		九、六八六				
	第四分區	利根川	香北水害豫防組合	三、六六四	二	一	二	
		左岸	大倉村	七五〇				
		同	豐浦村	二、三二〇				
		同	小見川町	七五五				
		同	森山村	八七六				
		計		七、五七六				
	第五分區	北利根川	香北水害豫防組合	九、六四二	三	二	五	
		利根川		九、六四二				
		橫利根川						
		計						
合計				四一、八五三	一一	七	一七	
總計				一三四、二三二	五二	二八	七八	

備考

一、本表ノ區域及配置人員ノ必要ト認ムル場合ニ於テハ變更若ハ臨時增減スルコトアルヘシ

二、電話設置ノ場所及量水標所在ノ水防分區ニハ本表ノ外巡查タル委員一人ツヽヲ配置シ水量報告及通信ニ關スル事務ヲ取扱ハシム

水害防備ニ關スル件

（明治四十一年七月縣訓令甲第二一號）

利根江戸兩川ニ於ケル水害ハ年トシテ之ヲ見サルナク殊ニ昨歲其ノ慘ヲ極メ沿岸ノモノ久シク生業ニ安セス洵ニ心ヲ痛マシムル所ナリ今ヤ堤防修築ノ土工漸ク成

ルニ近シト雖モ而モ一朝降雨數日ニ亘リ洪水大ニ至ルニ及ンデハ之カ防備ヲ嚴ニシ警戒ヲ怠ラサルニ非サルヨリハ固ヨリ氾濫ノ災ナキヲ保セス而シテ其ノ防備ヲ爲ス之ヲ平素ニ於テシ周密ノ計畫ヲ策シ時ニ臨ミテ神速機敏跼蹐スルナキヲ期セサルヘカラス是レ曩ニ洪水防禦準備ニ關スル縣令ヲ發布シ沿岸ノ地ヲシテ常時之ニ備フル所アラシメ今又此ニ水防委員設置規程ヲ設ケ豫メ部署ヲ定メテ以テ其ノ急ニ應セントスル所以ナリ水防ノ區域ハ之ヲ三區ニ分チ更ニ數個ノ分區ヲ劃シ各其ノ主任ヲ定メテ區內ノ事務ヲ處理セシム凡ソ其ノ區域ニ屬スル縣郡ノ吏員及警察官ハ悉ク之ヲ委員タラシメ其ノ配置ヲ豫定シ以テ洪水ノ虞ニ際シ直ニ其ノ部署ニ就クヲ得セシメ猶新ニ委員ヲ命シテ其ノ足ラサルヲ補ハシム又別ニ監視員ヲ置キテ水防區ヲ巡視セシメ事務ノ進捗統一ニ資シ且各分區ハ互ニ緩急相助クル法ヲ定メタリ

抑河水一タヒ漲リ隨所急ヲ告クルニ當リ之カ防備ニ任スル者一致協力相互ノ連絡ヲ緊密圓滑ニシテ共同ノ實ヲ擧ケサルアラハ則チ事毎ニ支吾シテ此制ノ求ムル所遂ニ得ルナキニ至ラントス故ニ委員ノ職ニ在ルモノハ深ク意ヲ此ニ留メ命令一タヒ下ルアラハ則チ速ニ之ニ赴キ和衷協同相助ケ相勵ミ地方ノ人民ヲ督勵シテ機宜ヲ誤ラス以テ其ノ禍害ヲ防遏スルニ遺憾ナキヲ期スヘシ

水防關係町村ニ對シ注意

（明治四十一年七月訓令甲第二二號）

利根江戸兩川ノ水防ニ付テハ年々訓達スル所アリ地方住民亦能ク其ノ意ヲ体シテ防護怠ラス而モ全ク其ノ災禍ヲ免ルヽコト能ハス去歲遂ニ未曾有ノ氾濫ヲ見ルニ至レルハ甚タ遺憾トスル所ナリ蓋シ洪水ノ禍害固ニ人力ノ如何トモス可カラサルモノ多シト雖抑亦防備ノ嚴密ナルト否トニ關スルコト極メテ大ナリ故ニ今春以來堤防修築ノ工事ヲ督シ漸ク其ノ歩ヲ進ムルト共ニ本年五月洪水防禦準備ニ關スル縣令ヲ發布シ沿岸一帶ノ公共團体ニ命スル所アリ各地既ニ略其準備ヲ了セルヲ信ス乃チ更ニ水防委員設置規程ヲ設ケテ常時委員ヲ定メ一旦洪水ノ報至ルアラハ則チ直ニ之ヲシテ其ノ部署ニ就カシメ以テ防禦ノ敏活周密ナランコトヲ計レリ然レトモ自ラ利害ノ關係ヲ有シ土地ノ情況ヲ審ニスル沿岸ノ人民ニシテ主トシテ之ニ盡瘁スルニ非サレハ安ンソ

能ク其ノ効ヲ奏スルヲ得ンヤ而シテ之ヲ指導スルノ任ハ實ニ町村行政ノ局ニ當ルモノニ在ラサル可ラス今ヤ時將ニ出水ノ期ニ向ハントス町村行政ノ局ニ當ルモノ事地方休戚ノ繫ル所以ナルヲ思ヒ深ク其ノ職責ヲ自覺シテ豫メ之カ準備ヲ忽ニセス一朝洪水ニ際セハ水防委員ノ指揮ニ從ヒ地方ノ人民ヲ率キ一致協力時ニ處シテ支障ナカラシメンコトヲ望ム

水量報告時刻表

（明治四十二年七月縣訓令甲第一七號）

量水標所在地		報告時刻	參考
川沼名	町村名		
江戸川	關宿町江戸町	Y.P上四十五尺ニ達シタルトキヨリ毎一時間其他ハ（午前六時／正午十二時／午後六時）	Y.P上四十五尺ハ其ノ量水標ニ於テ十三尺〇寸二分ニ相當ス
江戸川	野田町中野臺	Y.P上三十二尺ニ達シタルトキヨリ毎二時間其他ハ同前	Y.P上三十二尺ハ其ノ量水標ニ於テ十尺二寸六分ニ相當ス
江戸川	新川村深井新田	Y.P上二十八尺ニ達シタルトキヨリ同	Y.P上二十八尺ハ其ノ量水標ニ於テ二十五尺九寸ニ相當ス
江戸川	松戸町松戸	Y.P上二十尺ニ達シタルトキヨリ同	Y.P上二十尺ハ其ノ量水標ニ於テ十尺二寸ニ相當ス
中利根川	關宿町臺町	Y.P上四十七尺ニ達シタルトキヨリ毎一時間其他ハ同前	Y.P上四十七尺ハ其ノ量水標ニ於テ十二尺四寸二分ニ相當ス

量水標所在地		報告時刻	參考
川沼名	町村名		
中利根川	田中村船戸	Y.P上三十尺ニ達シタルトキヨリ毎二時間其他ハ同前	Y.P上三十尺ハ其ノ量水標ニ於テ十一尺〇寸二分九厘ニ相當ス
下利根川	木下町竹袋	Y.P上二十二尺ニ達シタルトキヨリ同	Y.P上二十二尺ハ其ノ量水標ニ於テ十五尺二寸九分ニ相當ス
下利根川	安食町安食	Y.P上十九尺ニ達シタルトキヨリ同	
下利根川	滑河町猿山	Y.P上十四尺ニ逮シタルトキヨリ同	Y.P上十四尺ハ其ノ量水標ニ於テ十尺九寸四分ニ相當ス
下利根川	佐原町佐原	Y.P上九尺ニ達シタルトキヨリ同	
下利根川	同（荒川）	Y.P上九尺ニ達シタルトキヨリ同	
下利根川	同（荒川）	Y.P上九尺ニ減スルマテ同	

備考

一、水防開始ノ上ハ總テY.P（江戸川基準面）上ノ水位ニ依リ報告スヘシ

Y.P上ノ水位ニ換算スルニハ其ノ量水標ノ水位ニ別表ノY.P上量水標ノ零點ノ高ヲ加算スルモノトス

二、木下町竹袋、安食町安食、佐原町佐原、仝（荒川）ノ水位ハ內務省設置ニ係ル量水標ニ依リ報告スヘシ

量水標所在地		Y.P上量水標ノ零點ノ高	Y.P上計劃低水位ノ位置	Y.P上附近堤防天端ノ高
川沼名	町村名			
江戸川	關宿町江戸町	三一、九八〇尺	三一、五〇〇尺	五六、〇〇〇尺
江戸川	野田町中野臺	二一、七四〇	二一、四〇〇	四二、〇〇〇
江戸川	新川村深井新田	二、一〇〇	一八、五〇〇	三七、八〇〇
江戸川	松戸町松戸	九、八〇〇	九、〇〇〇	二九、〇〇〇
中利根川	關宿町臺町	三四、五八〇	三四、五六〇	五六、四四〇
中利根川	田中村船戸	一八、九七一	一九、〇八〇	四一、九七〇
下利根川	木下町竹袋	六、七一〇	六、七一〇	三四、八〇〇
下利根川	安食町安食	〇、〇〇〇	四、五〇〇	三一、一七〇
下利根川	滑河町猿山	三、〇六〇	三、〇六〇	二六、〇〇〇
下利根川	佐原町佐原	〇、〇〇〇	二、五六〇	二一、五〇〇
下利根川	同（荒川）	〇、〇〇〇	二、六〇〇	二二、〇〇〇

土木事業取締規程

（明治四十五年七月縣令第七十六號）

第一條　法律命令ニ別ニ規定シタルモノノ外左ニ掲クル工事ノ新設、變更、除却、及廢止ヲ爲サムトスル者ハ知事ノ許可ヲ受クヘシ

一、河沼又ハ公共ノ用ニ供スル用惡水路、運河、溜池ニ關スル工事

二、港灣ノ航路、深淺又ハ風波防禦ニ關スル工事

三、河沼又ハ公共ノ用ニ供スル用惡水路ノ流水ヲ停滯セシメ若ハ引用シ又ハ其水害ヲ豫防スル爲ニ施設スル工事

四、河沼又ハ公共ノ用ニ供スル用惡水路ニ注水スル

爲ニ施設スル工事
五、河川又ハ公共ノ用ニ供スル用惡水路、堤防ノ敷地ニ固着シ若ハ之ヲ横過シ若ハ其ノ床下ニ施設スル工事
六、河川又ハ公共ノ用ニ供スル用惡水路ノ流路ノ方向、幅員又ハ深淺ニ影響ヲ及ホス工事

第二條　前條ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ第一號樣式ニ準シ願書ヲ作製シ左ノ書類ヲ添付シ知事ニ差出スヘシ

一、工事設計書及圖面
二、工事計畫書
三、工費豫算書
四、水利ニ關係アルモノハ其利害關係者ノ承諾書
五、工事施行ノ爲新ニ潰地ヲ要スルトキハ其ノ調書及圖面
六、前號ノ潰地ニシテ社寺境内地又ハ社寺ノ所有地ナルトキハ其ノ承諾書
七、第五號ノ潰地ニシテ御料地、官有地、國有林野又ハ保安林ナルトキハ其ノ調書及圖面
八、代人ニ依リ出願スルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面
九、明治四年十二月太政官布告第六四八號ニ基キ工費償却ノ爲メ通行料ヲ徵收セムトスルトキハ其ノ費用償却方法書
十、私人ノ願書ニハ其ノ居住地市町村長ノ證明アル所有財產調書
十一、會社ノ願書ニハ既往ノ最近決算期ニ於ケル財產目錄及貸借對照表
十二、公共團體ノ企業ニシテ其ノ議會ノ議決ヲ要スルモノハ其議決書ノ謄本

第三條　工事設計書ニハ工事ノ箇所工法材料及勞力ノ種類員數金額ヲ記載スヘシ

第四條　第二條第一號ノ圖面ノ中平面圖及縱横斷面圖ハ實測ニ依リ調製シ之ニ工事ノ位置ヲ明示シ構造面ニハ工作物ノ構造ヲ明示スヘシ但シ簡易ナル工事ニ在リテハ略圖ヲ以テ之ニ代ヘ又ハ之等圖面ノ一部ヲ省略スルコトヲ得

第五條　工事計畫書ニハ工事ニ關スル計畫ヲ詳說スヘシ但シ工事設計書ニ依リ計畫ノ要點ヲ知リ得ルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得

第六條　工費豫算書ニハ工事ニ要スル一切ノ費用及之ニ對スル財源ヲ明示スヘシ

第七條　潰地ニ關スル調書及圖面ハ第二號樣式及第三號樣式ニ準シ調製スヘシ

第八條　第一條ノ工作物ノ施設ニ伴ヒ公用ニ供セル官有土地水面ノ使用若ハ占用ヲ要スルトキハ第二條ノ願書ト共ニ別ニ其ノ願書ヲ差出スヘシ

第九條　工事ヲ許可スルニ當リ必要ト認ムルトキハ二人以上ノ保證人ヲ立テシメ又ハ保證金ヲ提供セシムルコトアルヘシ但シ保證金ハ有價證券ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ價格ハ知事ノ查定スル所ニ依ル

前項ノ保證金ハ知事ニ於テ本規程ニ基キ許可ヲ受ケタル者ノ履行スヘキ義務ナキコトヲ認メタル後之ヲ還付ス

第十條　前條第一項ニ依リ保證金ノ提供ヲ命シタル場合ニ於テハ之ヲ提供シタル後ニ非ラサレハ工事ニ着手スルコトヲ得ス

第十一條　工事ハ許可シタル期日ニ着手シ許可シタル期日迄ニ竣功スヘシ

第十二條　天災其ノ他正當ナル事由ニ依リ許可セラレタル期日迄ニ工事ヲ竣功シ能ハサル爲延期ヲ要スルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第十三條　工事ハ許可シタル工事設計書及圖面ニ依リ所轄工區主幹ノ指揮監督ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

第十四條　許可シタル工事ノ設計ヲ變更セムトスルトキハ願書ニ新舊設計ヲ對照列記シタル變更設計書及圖面ヲ添付シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第十五條　許可シタル工事ヲ其ノ着手前又ハ着手後ニ於テ其ノ施行ヲ廢止シタルトキハ直ニ知事ニ届出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ工事ノ着手後ナルトキハ原形ノ回復ヲ命シ又ハ工事ノ施行ニ因リテ生スル危害ヲ豫防スルニ必要ナル設備ヲ命スルコトアルヘシ

第十六條　工事竣功シタルトキハ直ニ知事ニ届出檢查ヲ受クヘシ

第十七條　工事ノ竣功ニ依リ潰地ヲ官有地ニ編入スヘキモノハ左ノ書類ヲ添付シ知事ニ申請スヘシ

一、既登記ノ土地ナルトキハ土地賣渡證書及登記承諾書一筆ノ土地ノ分裂シテ潰地トナリタルモノハ

外ニ分筆登記濟證書
二、未登記ノ土地ナルトキハ土地賣渡證書、一筆ノ土地分裂シテ潰地トナリタルモノハ外ニ分筆届後ノ土地臺帳謄本

第十八條　知事ハ左ノ場合ニ於テ許可ヲ取消シ、其効力ヲ停止シ、若ハ其條件ヲ變更シ又ハ既設工作物ノ改築、除却及原形ノ回復ヲ命シ又ハ設計ノ變更若クハ必要ナル設備ヲ命スルコトアルヘシ
一、本規程若ハ許可ノ條件ニ違反シタルトキ
二、工事施行ノ方法若ハ施行後ニ於ケル管理ノ方法ニシテ公安ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキ
三、許可ノ後ニ起リタル事實ニ依リ他ニ障害ヲ與ヘ又ハ與ヘムトスル虞アリト認ムルトキ
四、法律命令施行ノ結果必要アルトキ
五、公益ノ爲必要アリト認ムルトキ

本規程施行前ニ施設シタル工事ニシテ第一條ノ各號ニ該當スルモノニ對シ亦前項ヲ適用ス

第十九條　許可ヲ受ケタル者本規程ニ基ク義務ヲ履行セサルトキハ知事代テ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ執行セシメ其ノ費用ヲ追徴スルコトアルヘシ

第二十條　前條ニ依リ代執行ヲ爲シタル場合ニ於テハ保證金ヲ以テ其ノ費用ノ一部若クハ全部ニ充用スルコトアルヘシ

第二十一條　本規程ニ基ク權利義務ヲ第三者ニ移轉シ又ハ第三者ノ權利ノ目的ト爲サムトスルトキハ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第二十二條　許可ヲ受ケタル者本規程ニ基ク處分ニ依リ損害ヲ被ルコトアルモ知事ニ對シ其ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第二十三條　二人以上連名ニシテ許可ヲ受ケタル者ハ本規程ニ基ク義務履行ニ關シ連帶シテ其ノ責ニ任ス

第二十四條　知事ニ於テ許可ヲ受ケタル者死亡其ノ他ノ事由ニ依リ本規程ニ基ク義務ヲ履行スル能ハスト認ムルトキハ保證人ニ於テ第一條ノ許可ヲ受ケタルモノト看做シ之ニ本規程ヲ適用ス

前項ノ保證人ハ連帶シテ其ノ責ニ任ス

第二十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三十日未滿ノ拘留又ハ二十圓未滿ノ科料ニ處ス
一、許可ヲ受ケスシテ第一條ノ工事ヲ施行シ又ハ詐僞ノ手段ヲ以テ許可ヲ受ケタル者

二、第十五條第一項ニ違反シタル者
三、第十五條第二項及第十八條ニ依ル處分ニ違反シタル者

第二十六條　第十條、第十三條、第十四條、及第二十一條ニ違反シタル者ハ二十日以下ノ拘留又ハ十五圓以下ノ科料ニ處ス

第二十七條　第十二條及第十六條ニ違反シタル者ハ十日以下ノ拘留又ハ十圓以下ノ科料ニ處ス

第二十八條　第二十五條乃至第二十七條ノ規定ハ法人ニ對シテハ其ノ代表者ニ之ヲ適用ス

附　則

第二十九條　本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三十條　明治二十六年六月千葉縣令第二十五號河川堤外ヘ新堤ヲ設ケサル件及掻揚增築修繕手續明治三十三年九月千葉縣令第三十號道路、橋梁、水路及水事等ノ新設、變更、廢止手續及明治三十四年十一月千葉縣令第七十九號河川水流及水面取締規則ハ本規程施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第三十一條　明治四十五年三月千葉縣令第三十四號土木費縣費補助規則ニ依ル縣費補助工事ハ本規程ニ依リ許可ヲ受クルヲ要セス（大正四年縣令第六七號ヲ以テ改正）

第三十二條　本規程ニ依リ提出スル願届書ハ起業地所轄町村役場、郡役所又ハ市役所及工區主幹ヲ經由スヘシ

第一號樣式

土木工事施行（變更廢止）又ハ工作物施設（變更除却）許可願

何郡何町村大字何字何地先

一、何々工事又ハ何々工作物別紙工事計畫書（設計書）ノ通

一、工事施行（變更、廢止）又ハ工作物施設（變更）、除却）箇所ノ河（沼、港灣、用惡水路、溜池）名

二、施行（施設）ノ目的又ハ變更（廢止、除却）ノ事由

三、工事着手及竣功期日

四、公有土地水面ノ使用若ハ占用面積

五、添付書類

右御許可相成度候也

明治何年何月何日

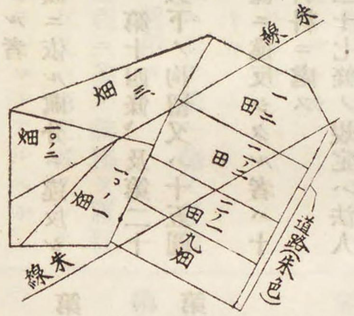
住所
願人氏名　印
潰地調書

第二號樣式

千葉縣知事宛

已未登記ノ別	土地臺帳面					所要地		所有者住所氏名
	町村	大字	字	地番	地目	反別	反別	單價	價格	
計										

第三號樣式



水車願書取扱ニ關スル件

（大正元年十一月土第五、四六七號　內務部長通牒）

水車ノ新設變更、及廢止ニ關シテハ本年七月縣令第七十六號土木事業取締規程公布ノ結果同規程第一條第一號、第三號乃至第五號ニ該當スルニ非レハ出願ヲ要セサル次第ニ候處其取扱方區々ニ渉リ處理上差支候ニ付爾今左記各項ニ依リ御處理相成度候也

記

一、河川又ハ公共ノ用ニ供スル用惡水路ヲ全ク變更シテ水車ヲ施設スルモノハ第一條第一號ニ該當ス

二、河川又ハ公共ノ用ニ供スル用惡水路ニ堰止ヲ設ケ流水ヲ引用シ若クハ堰止ヲ設ケサルモ河沼又ハ公共ノ用ニ供スル用惡水路ノ流水ヲ引用シ水車ノ原動力ニ供スルモノハ第一條第三號ニ該當ス

三、河沼又ハ公共ノ用ニ供スル用惡水路ニ注入スル水路ノナキ箇所ニ於テ他ヨリ流水ヲ引用シ水車ヲ設ケテ排水スルモノハ第一條第四號ニ該當ス故ニ現在ニ於テ自然ニ流下スル水流（私流）ヲ利用シ掛樋、函樋底樋若ハ土管等ヲ施設シ水車ヲ設クルカ如キハ同號ニ該當セス

四、河川又ハ公共ノ用ニ供スル用惡水路ノ流水ヲ利用シ流身ニ水車ヲ施設スルモノハ第一條第五號ノ敷地ニ固着シ施設スル工事ニ該當ス

五、前記第一項乃至第四項以外ノモノハ出願ヲ要セサルニ付願書ハ直ニ却下相成度又從來許可ヲ與ヘタルモノ、變更、廢止及權利ノ移轉ニ關シ亦同樣取扱相成度

勝浦港ノ區域認定ノ件

（昭和二年十一月縣告示第五六三號）

縣費支辨勝浦港ノ區域左ノ通認定ス

夷隅郡勝浦町八幡岬突端ヨリ同町黑ヶ鼻ニ引キタル一線以內

水利關係者ノ調査ニ關スル件

（昭和二年四月工區主幹會議指示事項）

現行土木事業取締規程ニ於テハ該規程施行以前ノ工事又ハ行爲ノ效力ニ關シテ明確ヲ缺クトコロアリト雖モ同規程第十八條第二項ノ定ムル所ヨリ類推スルニ舊規

定ニ依リ許可ヲ與ヘタルモノハ其ノ儘認メタルモノト解スヘク地方ノ舊慣ニ依ル工事並行爲モ亦同樣之ヲ權利トシテ認ムヘキモノニシテ從テ右ハ當然土木事業取締規程第二條第四號水利關係者中ニ包含セラルヘキ次第ナルヲ以テ爾今新ナル出願ニ對シテハ右ニ依リ水利上ノ關係ニ付充分考慮セラレ度尙兩者ニ於テ妥協不成立ノモノニ付テハ其ノ顚末ニ付詳細報告セラレタシ

港灣ニ關スル無願土木工事取締ニ關スル件

（昭和三年四月工區主幹會議事項）

無願土木工事ノ取締方ニ關シテハ前回ノ會議ノ際ニ於テモ注意シタル次第ナルモ未タ往々ニシテ施行スルモノアルヤニ聞ク殊ニ町村及組合等港灣ニ關スル工事ノ起業者中ニハ補助金ノ交付ヲ受ケサレハ任意ニ工事ヲ施行シ得ルモノト誤解スル向アリ注意セラレタシ

港灣工事ニ關スル件

（昭和三年四月工區主幹會議事項）

公有水面埋立法ニ於テハ埋立ノ意義ニ關シ何等規定スル所ナキヲ以テ從來港灣ノ防波堤等ノ施設ヲ爲スニ當リ埋立法ノ適用ヲ受クルヤ否ヤニ關シ疑問トセラルヽ向アルヤニ聞キ及ブモ右ハ埋立法ノ適用ナキモノナルヲ以テ一般ノ土木工事トシテ土木事業取締規程ニ依リ出願セシメラレ度シ但シ該工事ニシテ縣費補助工事トシテ扱フモノハ土木事業取締規程第三十一條ノ特別規定アルヲ以テ別ニ土木工事ノ出願ハ要セサルモ單ニ農林省ノ船溜施設奬勵金ノミノ交付指令ヲ受ケタル起業者ハ知事ノ許可ナクシテ工事ヲ施行シ得サルモノトス

公水引用ノ出願ニ關スル件

（昭和三年十二月工區事務主任會議事項）

公水引用ノ出願ニ付テハ其取扱方區々ニ渉リ照復ヲ要スルモノ多ク支障不尠ヲ以テ爾今左記事項ヲ調査副申セラルヽヲ要ス

記

（イ）河川名及引水地點並其ノ目的

（ロ）平水流量（毎秒時間　立方米）

（ハ）最大渴水量（同　同　）

（ニ）引水量（同　同　）

（ホ）引水期間（自　年　月　日　至　年　月　日）

（ヘ）引水時期

（ト）灌漑面積（單位ヘクタール但灌漑ノ場合ニ限ル）

（チ）水路延長（開渠　暗渠　隧道　高　市長　米）

（リ）堰堤（高　市長　米）

（ヌ）動力ヲ以テ引水スル場合ニ於テハ其ノ種類、馬力、パイプノ口徑長等揚水量計算ニ必要ナルモノヲ詳記セシムルコト

河川法準用河川認定ノ件

（昭和四年九月鉄告示二八二號）

河川法準用河川左ノ通認定ス

都川　左右岸千葉郡都村大字加曾利支川合流點以下海ニ至ル

村田川　左右岸市原郡市東村大字番塚支川合流點以下海ニ至ル

養老川　左右岸夷隅郡老川村大字粟又支川合流點以下現在準用區域ニ至ル

平藏川（支）　左右岸市原郡鶴舞町大字山小川合流點以下養老川合流點ニ至ル

今上落　左右岸東葛飾郡野田町大字上花輪ヨリ以下江戸川合流點ニ至ル

坂川　左岸東葛飾郡小金町大字横須賀　右岸同　郡流山町大字鰭ヶ崎ヨリ以下江戸川合流點ニ至ル

手賀沼落　手賀沼落合ヨリ利根川合流點ニ至ル（手賀沼全部ヲ含ム）

根木名川　左岸印旛郡八生村大字實田　右岸同　郡中郷村大字新妻　支川合流點以下（全部ヲ含ム）（長沼川及長沼）利根川合流點ニ至ル

新（派）川　左右岸印旛郡豊住村大字安西新田長沼以下利根川合流點ニ至ル

大須賀川　左右岸香取郡大須賀村大字伊能以下利根川合流點ニ至ル

新川　左右岸香取郡万歳村大字万歳以下海ニ至ル（大堺川ヲ含ム）

栗山川　左岸香取郡栗源町大字西田部　右岸同　郡久賀村大字久賀本三倉合流點以下海ニ至ル

黒部川　左岸香取郡府馬町府馬　右岸同　郡良文村阿玉台支川合流點以下利根川合流點ニ至ル

小野川　左右岸香取郡香取町大字新市場合流點以下利根川合流點ニ至ル

香西（支）川　左右岸香取郡佐原町大字牧野合流點以下小野川合流點ニ至ル

作田川　左岸山武郡日向村大字矢部　右岸同　郡成東町大字湯坂支川合流點以下海ニ至ル

木戸川　左岸山武郡松尾町田越　右岩同　郡豊岡村上大藏支川合流點以下海ニ至ル

南白亀川　左岸山武郡増穂村大字上谷新田　右岸同　郡同　村大字上貝塚支川合流點以下海ニ至ル

一宮川　左岸長生郡茂原町大字鷲ノ巣右岸同郡五郷村大字早野支川合流點以下海ニ至ル

瑞（支）澤川　左岸夷隅郡瑞澤村大字大上合流點以下一宮川合流點ニ至ル

夷隅川　左岸夷隅郡上野村大字貝掛支川小羽戸川合流點以下海ニ至ル

平（小）澤（支）川　左岸夷隅川西畑村大字平澤合流點以下西畑川合流點ニ至ル

西（支）畑川　左岸夷隅郡西畑村大字三條合流點以下夷隅川合流點ニ至ル

落（支）合川　左岸夷隅郡布施村大字上布施合流點以下夷隅川合流點ニ至ル

湊川　左岸君津郡豐岡志組川合流點以下海ニ至ル

小櫃川　左岸君津郡龜山村大字黃和田畑支川合流點以下現在準用區域ニ至ル

小糸川　左岸君津郡三島村大字正木三間川合流點以下海ニ至ル

加茂川　左岸安房郡大山村大字金束谷川合流點以下海ニ至ル

平久里川　左岸安房郡平群村大字平久里中荒川合流點以下海ニ至ル

丸山川　左岸安房郡丸村大字宮下王子川合流點以下一宮川合流點ニ至ル

鹿島川　左岸印旛郡彌富村大字坂戸右岸同郡同村内田關口川合流點以下現在準用區域ニ至ル

高（支）崎川　左岸印旛郡根郷村大字石川右岸同郡和田村大字高崎合流點ヨリ鹿島川合流點ニ至ル

河川法準用ノ件

（昭和四年九月縣告示第三八四號）

左ノ河川ニ對シ河川法第二條第六條本文第九條第十條第十一條第三十條第三十一條第三十二條ヲ準用ス

長門川、横利根川、北利根川、印旛沼、鹿島川

河川法準用ノ件

（昭和四年九月縣告示第三八五號）

左ノ河川ニ對シ河川法第二條第六條本文第九條第十條第十一條第二十九條第三十條第三十一條第三十二條第三十七條ヲ準用ス

小櫃川、養老川

（昭和四年九月縣告示第三八五號）

河川法準用河川ニ認定シタル左ノ河川ニ對シ河川法第二條第六條本文第九條第十條第十一條第十五條第二十九條第三十條第三十一條第三十二條第三十七條ヲ準用ス

都川、村田川、支平藏川、今上落、坂川、手賀沼落根木名川（長沼川及長沼ノ全部ヲ含ム）派新川、大須賀川、新川、栗山川、黒部川、小野川、支香西川、作田川、木戸川、南白龜川、一宮川、支瑞澤川、夷隅川、小支平澤川、支西畑川、支落合川、湊川、小糸川、加茂川、平久里川、丸山川、支高崎川

河川法準用ニ關スル件

（昭和四年九月二十日縣令第四九號）

河川法又ハ之ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ行政廳ノ許可ヲ受クヘキ事項ニシテ昭和四年九月二十日千葉縣告示第三百八十二號ヲ以テ河川法準用河川ニ認定シタル河川ノ區域内ニ現存スルモノハ總テ本令施行ノ日ヨリ三箇月以内ニ出願許可ヲ受クヘシ

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

河川法準用河川認定ニ關スル件

（昭和四年九月二十四日土第二、九二三號各土木出張所長宛内務部長通牒）

今回都川外三十一ケ川ニ對シ河川法準用相成候處之等ハ何レモ管内普通河川ノ主要ナルモノニ屬シ直接間接ニ縣民ノ生活並經濟ヲ支配スルコト洵ニ大ナルモノアルヲ以テ之レカ維持管理ノ完璧ヲ期セントスル次第ニ有之候條右趣旨ヲ體シ充分取締勵行相成度此段及通牒候也

追而今回ノ準用河川ニ對シテハ差當リ河川管理員ヲ配置セサルヲ以テ維持管理等總テノ事務ハ土木出張所ニ於テ取扱可相成申添候

河川法準用河川認定ニ關スル件

（昭和四年九月二十四日土第二、九二三號各土木出張所長宛内務部長通牒）

今般新ニ認定告示相成候河川法準用河川ノ事務取扱方ニ關シ左記ノ廉夫々御注意相成度此段及通牒候也

記

一、河川ニ關スル費用

河川法第二十四條第一項ノ準用ナキヲ以テ費用負擔關係ハ從前ノ通

二、河川敷內工作物施設並河川敷及流水ノ占用

從來國有財產法第二十條（大正十二年八月千葉縣令第四十號參照）及明治四十五年七月千葉縣令第七十六號土木事業取締規程第一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル事項ハ爾今河川法第十七條及第十八條ノ規定ニ依リ地方行政廳ノ許可ヲ受クルコト（大正元年十月千葉縣令第九十七號河川取締規程參照）

三、河川生產物

從來國有財產法第二十條ノ規定（大正十二年八月千葉縣令第四十號國有財產使用及產物賣拂規則參照）ニ依リ國有產物トシテ處理セラレタル河川敷內土石砂利竹木ハ爾今大正元年十月千葉縣令第九十七號河川取締規程第六條ニ依リ處分スルコト

四、昭和四年九月千葉縣令第四十九號ニ關スル件

(一) 現在國有財產法及土木事業取締規程ニ基キ許可ヲ受ケ又ハ舊慣ニ依リ河川ヲ使用スルモノハ總テ大正元年十月千葉縣令第九十七號河川取締規程ニ依リ願書ヲ提出セシムベキコト

(二) 舊慣ニ依リ河水ヲ引用スルモノニ對シテハ特ニ愼重調查ノ上河川管理上必要ナル許可條件ヲ具申スルコト

(三) 本件許可出願ハ河川法準用ノ日ヨリ三箇月以內ニ爲スベキモノナルヲ以テ地元町村長ト打合至急願書ヲ提出セシムルコト

地理

國有財産使用及産物賣拂規則

（大正十二年八月縣令第四十號）

第一章　總　則

第一條　國有財産法ニ依リ内務省所管ノ國有土地水面ノ使用及産物賣拂ヲ受ケムトスル者ハ本則ニ依リ出願許可ヲ受クヘシ

第二條　土地水面ノ面積及産物ノ數量ハ左ノ例ニ依ル

一、面積ノ單位ハ坪若ハ歩トシ其ノ丈量ハ三斜法ニ依ル

二、樹木ハ一石（一尺角長拾尺ヲ以テ一石トス）ヲ以テ一位トシ一位以下ハ分位ニ止ム

三、土砂砂利又ハ玉石ハ一立坪ヲ以テ一位トシ一位以下ハ合位ニ止ム

四、石材ハ一切（一尺立方）ヲ以テ一位トシ一位以下ハ分位ニ止ム但シ轉石ノ類ハ箇數ニ依ルコトヲ得

五、雜草ハ一束（三尺繩ゲ）ヲ以テ一位トシ一位以下ハ分位ニ止ム

六、芝ハ一平方坪ヲ以テ一位トシ一位以下ハ分位ニ止ム

七、竹ハ一本又ハ一束（三尺繩ゲ）ヲ以テ一位トシ一位以下分位ニ止ム

八、副産物ハ斤量又ハ石數ニ依ル

第三條　本則ニ依ル出願準備ノ爲土地水面若ハ産物ヲ調査セムトスル者ハ豫メ立入ルヘキ區域及日時ヲ知事ニ届出ツヘシ

第四條　本則ニ依リ差出ス書類ハ樣式第一號乃至第二號ニ依ルヘシ

第五條　公共團体其ノ他法人ヨリ差出ス書類ニハ決議書ノ謄本又ハ定款ヲ添付スヘシ

第六條　許可ヲ受ケタルモノハ指令書到達ノ日ヨリ十日以内ニ請書ヲ差出スヘシ

第七條　本則ニ依リ許可ヲ受ケタル使用權ハ知事ノ許可ヲ受クルニアラサレハ讓渡若ハ貸付スルコトヲ得ス

第八條　知事ニ於テ必要ト認ムルトキハ許可條件ヲ追加又ハ變更シ若ハ特定ノ行爲ヲ命スルコトアルヘシ

第九條　左ニ揭クル場合ニ於テハ許可ヲ取消スコトアルヘシ

一、公益上必要ト認メタルトキ

二、法律命令ノ施行ニ依リ必要ヲ生シタルトキ
三、本則又ハ許可條件ニ反シタルトキ
四、事實ヲ隱蔽シ又ハ不正ノ手段ニ依リ許可ヲ受ケタルトキ
五、願人ノ請求アリタルトキ

前項ノ場合ニ於テ土地水面内ニ施設シタル工作物其ノ他ノ障碍物ハ之ヲ撤去シ原形ニ復スヘシ期間滿了ノトキ亦同シ但シ特ニ許可ヲ受ケタルトキハ此限ニ在ラス

第十條　願人本則若ハ許可條件ニ依リ負擔スヘキ義務又ハ知事ノ命シタル行爲ヲ怠リタルトキハ知事自ラ執行シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ執行セシメ其ノ費用ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第十一條　左ノ場合ニ於テ損害ヲ生スルコトアルモ其ノ責ニ任セス但シ第九條第一項第一號又ハ第二號ニ依リ許可ヲ取消シタル場合ニ於テハ直接ニ受ケタル損害ニ限リ之ヲ賠償スルコトアルヘシ其ノ損害額ハ知事ノ認定スル所ニ依ル

一、許可ヲ取消シタルトキ
二、許可條件ヲ追加又ハ變更シ若ハ特定ノ行爲ヲ命シタルトキ
三、目的物引渡ノ後ニ其ノ數量若ハ品質ニ差異アルカ又ハ内部ニ瑕疵アルコトヲ發見シタルトキ

第十二條　使用許可ヲ受ケタルトキハ其ノ用途期間面積氏名ヲ記シタル標柱ヲ建設スヘシ

第十三條　許可ヲ受ケタル者住所氏名ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク知事ニ届出ツヘシ

第十四條　出願人二名以上ナルトキハ本則ニ依リ生スル義務ハ連帶トス

第十五條　出願人本縣内ニ住所若ハ居所ヲ有セサルトキハ本縣内ニ居住スル者一名ヲ保證人ト爲スヘシ但シ法人ノ出願ニ付イテハ此限ニアラス

第二章　土地水面ノ使用

第十六條　土地水面ノ使用ヲ出願セムトスル者ハ願書ニ事業方法書、收支豫算書及圖面（一般平面圖及實測平面圖）ヲ添付スヘシ但シ海面使用ノ場合ニハ一般平面圖トシテ海軍海圖又ハ其ノ謄寫圖ヲ用ユヘシ

水面使用ニシテ工作物ノ施設ヲ爲ス場合ニハ前項書類ノ外設計書縱横斷面圖工作物構造圖（縮尺ハ適宜トス）ヲ添付スヘシ

第十七條　使用期間ヲ更新セムトスルトキハ前條ノ例ニ依リ期間滿了ノ三十日前ニ出願スヘシ

第十八條　養殖場ニ供シタル水面ニシテ使用期間滿了又ハ許可ヲ取消シタル場合ニ於テ知事ノ指定スル期間内ニ養殖物ヲ處分セサルトキハ其ノ權利ヲ拋棄シタルモノト看做ス

第三章　產物ノ賣拂

第十九條　產物ノ賣拂ヲ受ケントスル者ハ願書ニ圖面（一般平面圖及實測平面圖）ヲ添付スヘシ

第二十條　賣拂ヒタル產物ハ代金納付ノ時ヲ以テ引渡シタルモノトス

第二十一條　賣拂ヒタル植物ハ特ニ許可ヲ受ケタル場合ノ外根株ヲ含マス

附　則

第二十二條　本則ニ依リ差出ス願届書ハ所轄郡役所市役所及町村役場ヲ經由スヘシ

第二十三條　本則施行前ニ許可シタル國有土地水面ノ使用若ハ產物ノ拂下ニシテ本則ノ規定ニ抵觸セサルトキハ本則ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第二十四條　本則ハ大正十二年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第二十五條　國有土地水面及產物處分規則ハ之ヲ廢止ス

様式第一號

國有土地（公有水面）使用（繼續）許可願

郡市町村大字字地番（字何地先）

一國有土地地目（公有水面）面積何程

此一箇年使用料金何程

但シ一坪ニ付何程

二目的　何々

三期間　自大正何年何月何日至大正何年何月何日　何箇年間

右（何年何月何日滿期ニ付繼續）使用許可相成度別紙關係圖書相添此段相願候也

住所
年月日　願人氏名　印
住所
保證人　氏名　印

知事氏名殿

備考

願書ハ副本ヲ添付スヘシ但シ海面使用ニ付テハ二通

添付ノコト

同上請書樣式

印紙

郡市町村大字字地番（字何々番地先）

一國有土地地目（公有水面）面積何程

此使用料一箇年何程

使用期間　自大正何年何月何日
　　至大正何年何月何日

右何年何月何日土第何號ヲ以テ使用（繼續）許可相成候ニ付テハ國有財產使用及產物賣拂規則ヲ遵守可致依ツテ請書差出候也

住所
年月日　願人氏名印
住所
保證人氏名印

知事氏名殿

樣式第二號

國有何々（土石砂利竹木）賣拂願

郡市町村大字字地番（海岸河川ニ關係アルモノハ其ノ名稱何番地先）

國有地地目面積何程ノ內

一砂利立積何坪長何間幅何間深サ何寸

此代金何程但シ立一坪ニ付金何程

郡市町村大字字地番

國有地（地目）面積何程ノ內

一何樹（竹）何本（又ハ材積何石）但シ別紙明細書添付

此代金何程但シ一本又ハ一石ニ付何程

物件採取若ハ伐採期間代金納付ノ日ヨリ何日間

右ハ何々用ニ供シ度候間賣拂許可相成度別紙圖面採取（伐採）方法書相添此段相願候也

住所
年月日　願人氏名印
住所
保證人氏名印

知事氏名殿

備考

平面圖ニハ四隣地ノ地形地目地番ヲ記入シ其ノ採取又ハ伐採區域ヲ明記スヘシ但シ實測平面圖ハ縮尺千二百分ノ一以上トス

印紙

同上請書

物件ハ指令書ノ通リ記入スヘシ

但シ採取（伐採）期間代金納付ノ日ヨリ何日間

右何年何月何日土第何號ヲ以テ賣拂許可相成候ニ付テハ國有財產使用及產物賣拂規則ヲ遵守可致依ツテ請書差出候也

住所
年月日　買受人氏名印
住所
保證人氏名印

知事氏名殿

國有財產使用及產物賣拂ニ關スル手續

（大正十二年八月縣令第四十一號）（大正十五年六月縣令第七五號改正）

第一條　市町村長ハ大正十二年八月千葉縣令第四十號國有財產使用及產物賣拂規則ニ依リ願書ヲ受理シタルトキハ左ノ事項ヲ調查シ意見ヲ付シ工區主幹ニ廻付スヘシ

一　願人ノ身元及資產

二　利害關係者ノ意見

三　公益上支障ノ有無

四　目的物ノ價格又ハ料金ノ當否並之カ算定ノ基礎

第二條　市町村長ハ前條ノ出願ニシテ地方公共ノ利害ニ關係アルモノハ其ノ市町村會ノ意見ヲ徵スヘシ

第三條　削除

第四條　土地水面ノ使用若ハ產物賣拂ヲ許可シタル場合ニ市町村長ハ之ヲ監視シ許可條件ニ違反シタルトキハ其ノ狀況ヲ報告スヘシ

第五條　市町村長ハ使用期間滿了シタルトキ又ハ許可取消ノ場合ニハ障碍物ノ除却竝復舊ノ狀況ヲ調查シ報告スヘシ

第六條　國有財產使用及產物賣拂規則第二條中立木ノ石數計算ハ左ノ方法ニ依リ算出セシムヘシ

形數法ニ依ルカ又ハ目通周尺ヲ自乘シ之ニ樹長（尺）ヲ乘シ〇、〇〇四ヲ乘スヘシ

附則

本令ハ國有財產使用及產物賣拂規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

國有土地其他願書取扱方ノ件

（大正九年八月土第一九三八號各工區主幹宛內務部長通牒）

國有土地水面及產物ニ關スル願出ニ對スル調查ニ付テ

ハ事ノ輕重ニ從ヒ精粗宜シキヲ制スヘキハ素ヨリ其所ナルモ其土地ニ關スルモノニアリテハ特ニ左記事項ニ注意シ實地ニ就キ精査ヲ遂ケ詳細意見開申相成度此段及通牒候也

記

一、治水交通其他ノ必要ニ依リ存置スヘキモノニアラスヤ貸付使用ニ關シテハ支障ノ有無

一、實地ハ公圖及願書添付ノ圖面ト符合セルヤ否ヤ

一、隣地トノ境界ニ關シ爭ヲ生スル虞ナキヤ

一、貸付使用或ハ拂下ノ價格ハ相當ナリヤ

一、其他必要ト認ムル事項

一、現狀ノ見取圖一葉作成送付ノコト

官有堤防道路並木敷等ハ其ノ費用ノ負擔ニヨリ所屬ヲ定ムル件

（明治二十五年一月訓令第三號）

地盤ノ官有ニ屬スル堤塘道路並木敷ノ使用ハ其費用ヲ町村ニ於テ負擔スルモノハ自今其町村ニ於テ縣廳ノ認可ヲ受ケ處分スヘシ

前項堤塘道路並木敷使用料及堤塘道路用惡水路土居敷ニ屬スル竹木其他ノ收益ニシテ其費用ヲ町村ニ於テ負擔スルモノハ町村ノ收入ニ屬スヘシ

費用ノ主擔定マラサルカ又ハ年々負擔ヲ異ニスル堤塘道路並木敷用惡水路土居敷等ニ關スル事項ハ縣廳ニ於テ處分シ其ノ收益ニ屬スルモノハ之ヲ縣廳ニ徵收シ費用ヲ負擔スル方ヘ配付スルモノトス

地盤ノ町村有ニ屬スル堤塘ノ使用及堤塘ヨリ生スル收益ハ町村ノ管理ニ歸スヘシ

本訓令第三項中收益ニ屬スル廉ハ二十五年度分ヨリ施行ス

縣工事用土石採取ノ件

（大正九年五月十第一、二二六號各工區主幹宛內務部長通牒）

官有土地水面ノ土石等ニシテ縣工事用ニ供スルモノニ限リ該工事ノ請負人ヨリ之カ採取ヲ申出ツルトキハ從前ノ通貴官ニ於テ指定シタル箇所ヨリ適宜採取セシメ可然ノ處今後ハ左記事項遲滯ナク報告相成度此段及通牒候也

迫テ河川法適用若クハ準用ノ河川池沼ヨリ採取セシムル場合モ本文同樣取扱相成度

記

一、指定箇所及其年月日

一、品目及採取數量

一、請負人ノ氏名

一、採取期間

公有水面埋立出願手續

（大正十一年十月縣令第七十八號）

第一條　公有水面埋立法ニ依ル埋立免許願ハ左ノ區分ニ從ヒ直接縣廳ニ提出スヘシ其願書ニ記載ノ事項ヲ變更シ又ハ免許條件ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

一　公有水面埋立法施行令（以下施行令ト稱ス）第三十二條第二號乃至第七號及第九號ニ該當スルモノハ海面ニ在リテハ四通、河川ニ在リテハ二通

二　前各號以外ノ埋立ニシテ海面ニ屬スルモノハ三通、其ノ他ノモノハ二通

埋立ニ關スル工事ノ施行區域カ數市町村ニ亘ルトキハ其ノ市町村ノ數ニ應シ增加提出スヘシ

第二條　施行令第二條第二項第二號ノ埋立ニ關スル費用ノ明細書ニハ埋立ニ關スル費用ノ全額及其ノ所要費目細別ヲ揭記スヘシ

第三條　施行令第二條第二項第五號及第六號ノ圖面ハ左ノ通調製スヘシ

一　一般平面圖

縮尺五萬分ノ一以上ノ陸地測量部ノ刊行圖又ハ之ニ準シ調製シタル圖面ニ埋立ニ關スル工事ノ施行區域ヲ記載スルコト

二　實測平面圖

縮尺ハ五千分ノ一以上トシ埋立ニ關スル工事計畫區域ノ全部及其ノ周圍ノ地形及工作物ノ位置等ヲ示シ且工事計畫區域內及其附近ニ名勝、舊蹟、古墳墓、天然記念物等アルトキハ其ノ名稱及位置ヲ示スコト

三、求積平面圖

縮尺ハ五千分ノ一以上トシ埋立地ノ面積算出ノ方法及計算表ヲ記入シ且埋立地內ニ於ケル堤防道路溝渠物揚場其ノ他ノ工作物ノ敷地ヲ區別シテ明記スルコト

四　横斷面圖及縱斷面圖
縮尺ハ横五千分ノ一以上縦百分ノ一以上トシ水準基線ハ陸地測量部水準基標ニ準據スルコト但シ陸地測量部水準基標ニ準據スルコト能ハサル場合ニハ別ニ水準基標ヲ設クルコト

五　工作物構造圖
縮尺ハ百分ノ一以上トシ其ノ構造及寸法ヲ示スコト

六　海軍海圖又ハ其ノ謄寫圖
本號ノ圖面ハ願書二通ニ限リ添付スルコト但シ其ノ謄寫圖ナルトキハ海圖番號及刊行年月日ヲ記載スヘシ

前項第四號及第五號ノ圖面ニハ高水位、低水位、又ハ滿潮位干潮位等ヲ記載スヘシ

第四條　埋立地ト公有水面トノ境界ハ潮汐干滿ノ差アル水流、水面ニ在リテハ春分及秋分ニ於ケル滿潮位其ノ他ノ水流、水面ニ在リテハ高水位ヲ標準トシ之ヲ定ムヘシ

第五條　施行令第二十五條ノ實測平面圖及求積平面圖ハ縮尺ヲ二千五百分ノ一以上トシ第三條ノ實測平面圖及求積平面圖ニ準シ何レモ實測シタル結果ヲ記入スヘシ

第六條　公有水面占用ノ許可ヲ受ケテ水產物養殖場又ハ乾船渠ヲ築造シタル者其ノ地盤ノ所有權ヲ取得セムトスル場合ハ埋立ニ關スル法令ノ規定ニ依リ其築造ニ關スル手續ヲ履行スヘシ

第七條　施行令第三十三條ニ依ル水產物養殖場又ハ乾船渠ノ築造ニ關シテハ本令ノ規定ヲ準用ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

公有水面無願埋立取締ニ關スル件
（大正十四年十二月十五第三、八七七號各都長各工區主幹宛　內務部長通牒）

公有水面埋立免許ヲ受ケスシテ埋立ヲ爲シタルモノニ對シテハ公有水面埋立法第三十九條ノ規定モ有之事情ニ依リ適宜告發ノ手續ヲ採リ之カ取締ヲ勵行致スヘク候ニ付違反者ヲ發見次第速ニ報告スヘキハ勿論平素取締ニ一層御注意相成度依命此段及通牒候也

追テ免許ヲ受ケタル面積ヨリ故意ニ坪數ヲ增加シテ埋立ヲ爲シタル者ノ如キハ本文ニ依リ措置致スヘク候ニ付御承知相成度申添候

道路法第六十二條ノ規定ニ依ル不用物件等處分ノ場合取扱方ノ件
（大正十年二月訓令第四十五號大正十一年十月訓令第二〇號改正）

道路法第六十二條ノ規定ニ依ル不用物件等處分ノ場合ニ於ケル取扱方ノ件左ノ通定ム

第一條　道路又ハ其ノ附屬物ヲ構成シタル國有地ヲ其ノ道路ノ管理者タリシ郡市町村長ニ於テ大正八年十一月勅令第四百七十四號第五條ノ規定ニ依リ公共團體ニ交付セムトスルトキ又ハ第四條第三項ノ規定ニ依リ之ヲ交換セムトスルトキハ豫メ知事ニ稟伺スヘシ

第二條　（削除）

第三條　本訓令第一條ノ規定ニ依ル稟伺書ニハ交付又ハ交換セムトスル土地並周圍一筆通併記シタル公圖寫ニ處分セムトスル土地ノ區域ヲ明示シタル圖面及其ノ處分セムトスル土地ノ區域ノ實測圖ヲ添付スヘシ

耕地整理施行ニ關スル申請書其ノ他樣式
（拔萃）
（大正六年三月告示第九十七號）

第六號樣式

國有地編入認許申請書

市町村	大字	字	地番符號	種目	延長	幅員	面積	摘要
							分 厘	
				何々道路				
				溝渠				
				溜池				

（耕法第四十三條第一項第一號內務省主管ノ土地ニシテ縣廳ニ提出ノ分）

市町村	大字	字	地番符號	種目	延長	幅員	面積	摘要
				何々			分	
							厘	
合計								
內譯				何々道路				
				溝渠				
				溜池				

右耕地整理施行上必要ニ付整理地區ヘ編入ノ儀認許相成度別紙圖面相添ヘ耕地整理法第四十三條ニ依リ此段申請候也

郡市町村何々耕地整理組合設立認可申請者

年　月　日　（組合長）何　某　印

知事　宛

添付書類

一、新設又ハ變更スヘキ道路溝渠、堤塘、溜池等ニ對シテハ其ノ工事方法ノ概要

二、道路溝渠等ノ種別ニ從ヒ其ノ新舊ノ延長及面積ノ合計對比表

三、同上主要ナルモノ（市道町村道ヲ含ム）ニ付テハ定規圖

四、整理地區及之ニ隣接スル土地並認可ヲ受クヘキ部分ヲ表示シタル規形圖

五、整理豫定圖但シ縮尺ハ現形圖ト同一タルコトヲ要ス

六、河川法ヲ施行シ若ハ準用スル河川ニ關係アル土地水面及國縣道ニ係ル場合ハ其ノ縱斷面圖（縮尺長六千分ノ一高二百分ノ一）及橫斷面圖（縮尺適宜）

七、工作物ニ付テハ整理地區外ニ影響ヲ及ホスモノハ構造圖又ハ定規圖但シ主要ナル橋梁ニ付テハ地區外ニ影響ノ有無ニ拘ハラス構造圖

備考

一、道路ハ國道府縣道市町村道ノ三種ニ區別スヘシ

二、道路溝渠ノ如キ地番ナキモノハ調書圖面共一ケ所毎ニ符號ヲ付シ且延長幅員ヲ記入スヘシ

三、延長幅員ハ分迄ヲ計算シ分未滿ハ切捨トス

四、面積ノ算出ハ一件毎ニ積算シ坪未滿ハ切捨テトス

五、大字毎ニ計ヲ爲シ若シ二箇市町村ニ渉ルトキハ市町村毎ノ合計ヲ付シ更ニ總計ヲ爲スヘシ

六、規約ヲ以ヲ整理施行地區ヲ數區ニ分ナタル場合ニ於テハ各區毎ニ區別スルヲ要ス

第二十三號樣式

編入國有地變更認可申請書

（內務省主管ノ土地ニシテ縣廳ヘ提出ノモノ）

既認可ノ部分

市町村	大字	字	地番符號	種目	延長	幅員	面積	摘要
							厘	
				何々道路				
							厘	
				溝渠				
							厘	
				何々				
合計								
內譯				何々道路				
				溝渠				
				何々				

變更ノ部分

右ハ何年何月何日第何號ヲ以テ地區ニ編入認可ヲ得候處一部變更致度候ニ付認可相成度此段申請候也

郡市町村何耕地整理組合長

年月日　何某印

知事宛

備考

一、本表ハ認可濟ノ分ヲ墨書シ變更ニ係ル分ヲ朱書スヘシ

二、合計及內譯ニ於テハ認可濟總面積ト變更後ノ總面積トヲ併記對照スルヲ要ス

第二十四號樣式

國有地追加編入認可申請書（全上）

市町村	大字	字	地番符號	種目	延長	幅員	面積	摘要
				何々道路			反	
				溝渠				
				何々				
合計								
內譯				何々道路				
				溝渠				
				何々				

三、圖面ハ認可濟ノ部分ト變更スヘキ部分トノ關係ヲ明ニスヘシ

四、追加編入ヲ同時ニ申請スルトキハ位置及種目ハ既認可部分欄ニ延長幅員面積ハ變更部分欄ニ記入シ且記事欄其ノ他所要ノ筒所ニ追加偏入ノ旨ヲ表示スヘシ

五、其ノ他ハ第六號樣式備考ノ例ニ依ルヘシ

右ハ何年何月何日第何號ヲ以テ地區ニ編入認可ヲ得候處更ニ追加編入致度候ニ付認可相成度耕地整理法第四十三條ニ依リ此段申請候也

郡市町村何耕地整理組合長

年月日　何某印

知事宛

備考

一、合計內譯面積ノ次ニ朱書ヲ以テ既認可內譯種目別面積ヲ揭上シ更ニ其ノ內譯合計ヲナスヘシ

二、第二十三號樣式ノ備考ハ本表ニ準用ス

第三十二號

國有地無償交付申請書（耕法第十一條第一項ノ土地）

市町村	大字	字	地番符號	種目	延長	幅員	面積
					間 分	間 分	
合計							

右ハ何年何月何日第何號ヲ以テ本地區ヘ編入ノ認可ヲ得候處整理ノ結果不用ニ歸シ候ニ付耕地整理法第十一條第一項ニ依リ無償交付相成度別紙圖面相添ヘ此段申請候也

郡市町村何耕地整理組合長

年月日　何某印

知事宛

備考

一、圖面ハ編入認可ヲ得タル圖面ニ準シテ作製シ其無償交付ヲ受クヘキ部分ハ地番又ハ符號ヲ附シ調書ト符號セシムルヲ要ス

二、本申請書ニハ道路溝渠等ノ種別ニ從ヒ整理ノ結果民有ニナルモノ及國有ニスルモノヲ區別シ各其ノ延長及面積ノ計ヲ附記スヘシ但シ本號ノ計ハ第六號樣式第二ノ數字ト符號スルヲ要ス

三、本件ハ換地交付處分認可申請ト同時ニ申請スルヲ要ス

四、前各號ノ外第六號樣式備考ノ例ニ依ル

第三十三號樣式

民有土地國有編入申請書（耕法第十一條第二項ノ土地）

市町村	大字	字	地番符號	種目	延長	幅員	面積
						間分	間分 反
合計							

右ハ何年何月何日第何號ヲ以テ本地區ヘ編入認許ヲ得タル土地ノ內整理ノ結果其ノ廢止シタルモノニ代ルヘキ土地ニ有之候ニ付耕地整理法第十一條第二項ニ依リ國有地ニ編入相成度別紙圖面相添ヘ此段申請候也

郡市町村何耕地整理組合長

年月日　何某印

知事宛

備考

第三十二號樣式ノ備考ハ本樣式ニ準用ス

縣有財産管理規則

（明治三十年十二月縣令第八十一號）
（昭和二年十二月縣令第八四號改正）

千葉縣有財産管理規則縣會ノ議決ヲ經テ左ノ通相定ム

第一條　本規則ニ於テ財産ト稱スルハ縣ノ所有ニ屬スル動産不動産ヲ云フ

第二條　財産ノ賣却讓與交換貸渡使用及保管ハ特ニ定ムルモノヲ除ク外總テ本則ニ依ル

第三條　縣有財産ハ台帳ヲ備ヘ其所在數量等ヲ明記スルモノトス

第四條　財産ノ賣拂又ハ賃貸ハ競爭入札ニ付スルモノトス但シ左ノ場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

一　直接公用ニ供スル爲メ又ハ公共ノ利益トナルヘキ事業ノ爲メ財産ヲ賣却又ハ賃貸スルトキ

二　縣ノ設置シタル農工業場又ハ慈惠教育ニ係ル各所ノ生産製造物及囚徒ノ製造物ヲ賣却スルトキ

三　不用ニ屬スル動産ノ見積價格貳百五拾圓以內ノモノ又ハ不動産ノ見積價格五百圓以內ノモノヲ賣却スルトキ及其賃貸金一ケ月五拾圓以內ニシテ貸渡期限一ケ年以內ノ者ヲ賃貸スルトキ

但シ第一項第二項第三項トモ申込人二名以上アルトキハ此限リニ在ラス

四　競爭入札ニ付スルモ入札者ナキトキ又ハ再入札ヲ爲サシムルモ仍ホ豫定價格ニ達セサルトキ

五　季節アル生産物又ハ腐敗ノ虞アル物品ヲ賣却スルトキ

第五條　財産ノ貸渡ハ直接公用ニ供スル爲メ又ハ公共ノ利益トナルヘキ事業ノ爲メニスル場合ニ限ル

第六條　財産ノ交換ハ同一種類ノ財産ニシテ收受スヘキ財産ノ評定價格交付スヘキ財産ノ評定價格以上ノモノニ限ル

第七條　財産貸付ノ契約書中ニハ左ノ要件ヲ記載スルヲ要ス

一　貸付期限及貸付料並ニ貸付ノ目的

二　貸與期限中ト雖モ縣又ハ公共ノ用ニ供スル等ノ必要アルトキハ之ヲ返還セシムルコト

但料金アルモノハ月割又ハ日割ヲ以テ還付スルコト

三　許諾ヲ得スシテ物件ノ原形ヲ變更シタル場合ニ於テハ借受人ノ自費ヲ以テ原形ニ復セシムルコト

四　物件ヲ目的以外ニ使用シ又ハ轉貸荒廢毀損スル等契約ヲ履行セサルトキハ隨時之ヲ返還セシムルコト

五　前擧ノ場合ニ於テ損害ヲ與ヘ又ハ亡失スル等ノ事アルトキハ之ヲ賠償セシムルコト

六　修繕其ノ他ノ費用ヲ負擔スル方法

第八條　財産ノ賣却賃貸ノ豫定價格及賣却代金並賃貸料金等ノ收入手續ハ縣知事ノ定ムル處ニ據ル

第九條　財産ハ左ノ區別ニ依リ保管ス

一　有價證券ハ縣廳ニ於テ之ヲ保管ス

二　現金ハ縣金庫又ハ現金管守者ヲシテ之ヲ保管セシム

三　前擧以外ノ財産ハ縣廳又ハ直接之ヲ使用スル各廨ニ於テ之ヲ保管ス但特ニ保管人ヲ置キ管理セシムルコトヲ得

第十條　前各條ノ外管理上必要ナル事項ハ縣參事會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條　本規則ハ發令ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十二條　本規則施行前ニ貸付又ハ使用許可シタルモノハ其ノ契約ノ滿期迄總テ其ノ契約ニ依ル

貸付期限ヲ定メサルモノハ本規則施行ノ日ヨリ一ケ年以內ニ於テ更ニ契約スヘシ

縣工事

道路工事執行令

（大正九年十一月內務省令第三十六號）

道路法第三十一條ノ規定ニ依リ道路ノ工事執行方法ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　道路工事執行ノ方法ハ直營及請負トス

第二條　左ニ揭ク場合ニ於テハ直營ト爲スベシ

一、請負ニ付スルヲ不適當ト認ムルトキ

二、急施ヲ要シ請負ニ付スルノ暇ナキトキ

三、請負契約ヲ締結スルコト能ハサルトキ

四、特ニ直營ト爲スノ必要アリト認ムルトキ

第三條　請負ニ付セムトスルトキハ一般競爭入札ニ付スヘシ

第四條　左ニ揭ク場合ニ於テハ三名以上ヲ指名シ競爭入札ニ付スルコトヲ得

一、一般競爭入札ニ付スルヲ不適當ト認ムルトキ

二、急施ヲ要シ一般競爭入札ニ付スルノ暇ナキトキ

三、一般競爭入札ニ付スルモ入札人ナキトキ又ハ落札人ナキトキ

四、特ニ指名競爭入札ニ付スルノ必要アリト認ムルトキ

第五條　左ニ揭ク場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

一、競爭入札ニ付スルヲ不適當ト認ムルトキ

二、急施ヲ要シ競爭入札ニ付スルノ暇ナキトキ

三、競爭入札ニ付スルモ入札人ナキトキ又ハ落札人ナキトキ

四、豫定價格國道、府縣道、地方費道又ハ道路法第十七條但書ノ規定ニ依ル市ノ市道ニ在リテハ二千圓未滿郡道、準地方費道道路法第十七條但書ノ規定ニ依ラサル市ノ市道又ハ區道ニ在リテハ千圓未滿町村道ニ在リテハ五百圓未滿ナルトキ

五、競爭入札ニ付スルコト能ハサルトキ

第六條　左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ入札人若ハ請負人又ハ其ノ代理人トナルコトヲ得ス

一、無能力者

二、破產若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者、又ハ身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨濟ヲ了ヘサル者

三、六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

四、六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

五、責付又ハ保釋中ノ者

六、入札又ハ請負ニ關シ不正ノ行爲アリタル後二年ヲ經過セサル者

道路管理者ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外市區町村ト請負契約ヲ締結スル事ヲ得ス

第七條　一般競爭入札ハ入札期日ヨリ五日前入札ニ必要ナル事項ヲ公告スヘシ

第八條　入札人ハ左ニ揭クル要件ヲ具備スルコトヲ要ス但シ道路管理者ニ於テ相當ト認ムル學識經驗ヲ有スル技術者ヲシテ工事ヲ擔當セシムルモノニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

一、引續キ二年以上土木請負業ニ從事スルコト

二、其ノ他地方長官ノ定ムル要件

第九條　入札ヲ爲サムトスル者ハ入札金額ノ百分ノ三以上ノ入札保證金ヲ納付スヘシ但シ指名競爭入札又ハ豫定價格二千圓未滿ノ工事ニ付テハ之ヲ減免スルコトヲ得

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル入札ハ之ヲ無効トス

一、本令、本令ニ基キテ發スル命令又ハ道路管理者ノ定ムル入札條件ニ違反シタルトキ

二、入札人又ハ其ノ代理人二以上ノ入札ヲ爲シタルトキ

三、入札人協定シテ入札ヲ爲シタルトキ

四、入札ニ際シ不正ノ行爲アリタルトキ

第十一條　入札人中豫定價格以内ニシテ豫定價格ノ三分ノ二ヲ下ラサル最低價格ノ入札ヲ爲シタル者ヲ以テ落札人トス　但設計附入札ニ在リテハ設計及入札金額ニ依リ落札人ヲ定ム

同一ノ入札アリタルトキハ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ム

落札人ナキトキハ直ニ再入札ニ付スルコト得

第十二條　落札人ハ落札ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ五日内ニ道路管理者ト請負契約ヲ締結シ契約書ヲ作製スヘシ

落札人前項ノ期間内ニ請負契約ヲ締結セサルトキハ落札ハ其ノ効力ヲ失フ

第十三條　請負人ハ請負金額ノ百分ノ十以上ノ契約保證金ヲ納付スヘシ　但シ指名競爭入札又ハ隨意契約ノ方法ニ依リ請負契約ヲ締結スル場合ニ在リテハ之ヲ減免スルコトヲ得

第十四條　入札保證金及契約保證金ハ國債證券、地方債證券、勸業債券、農工債券、拓殖債券、興業債券其ノ他道路管理者ニ於テ適當ト認ムル有價證券ヲ以テ代用スル事ヲ得

前項ノ場合ニ於テ國債證券ハ其ノ額面金額ニ依リ其ノ他ハ該地方ニ於ケル前月市場價格ノ十分ノ八ヲ以テ之ヲ換算ス

第十五條　入札保證金ニ入札終了後之ヲ還付ス但シ落札人ニ對シテハ契約保證金納付ノ際之ヲ還付ス契約保證金ハ工事完成後之ヲ還付ス但シ契約ニ依リ擔保義務終了迄其ノ全部又ハ一部ヲ留保スルコトヲ得

第十六條　請負人ハ道路管理者ノ承諾ヲ得スシテ工事ノ執行ヲ他人ニ委託スルコトヲ得ス

第十七條　請負人ハ工事ノ執行ニ付道路管理者ノ指揮監督ニ從フヘシ

第十八條　請負人ハ工事竣功シタルトキハ道路管理者ノ檢查ヲ受クヘシ

第十九條　請負人天災事變其ノ他正當ノ事由ニ依リ契約期間内ニ工事ヲ竣功スルコト能ハサルトキハ道路管理者ニ期間ノ延長ヲ求ムルコトヲ得

第二十條　契約期間内ニ工事ヲ竣功セサルトキハ遲延日數一日ニ付請負金額千分ノ一ノ違約金ヲ徵收スル

前項ノ違約金ハ請負金額中ヨリ之ヲ控除ス

第二十一條　左ニ揭クル場合ニ於テハ道路管理者ハ契約ヲ解除スルコトヲ得

一、契約期間内ニ工事竣功ノ見込ナキトキ

二、工事ノ執行ニ付不正ノ行爲アリタルトキ

三、正當ノ事由ナクシテ管理者ノ指揮監督ニ從ハサルトキ

四、本令、本令ニ基キテ發スル命令又ハ契約ニ違反シタルトキ

第二十二條　前條ノ規定ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ工事ノ既成部分ニ對シ道路管理者ニ於テ相當ト認ムル金額ヲ交付スル

契約無効ノ場合亦同シ

第二十三條　入札ニ付不正ノ行爲アリタルトキ又ハ第十二條第二項ノ規定ニ依リ落札其ノ効力ヲ失ヒタルトキハ入札保證金ヲ沒收ス

第二十一條ノ規定ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ契約保證金ヲ沒收ス請負人ノ責ニ歸スヘキ事由ニ依リ契約無効トナリタル場合亦同シ

前二項ノ規定ニ依リ沒收シタル保證金ハ道路管理者

タル行政廳ノ統轄スル公共團体ノ收入トス

第二十四條　道路管理者ハ請負人ニ對シ工事ノ出來形ニ相當スル金額ノ十分ノ八以内ノ假拂ヲ爲スコトヲ得

第二十五條　本令ニ規定セサル事項ハ地方長官ノ定ムル所ニ依ル

第二十六條　道路法第十八條第二項ノ規定ニ依ル管理者並道路管理者ニ非サル者ニ於テ工事ヲ執行スル場合及北海道拓殖費ヲ以テ工事ヲ執行スル場合ハ本令ヲ適用セス

第二十七條　本令ハ工事ニ要スル物件ノ購入、借入又ハ勞力供給ノ場合ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ大正九年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

道路工事執行令施行細則

（大正十年十二月縣令第百二十號）

第一章　總　則

第一條　道路工事ニ關スル請負ニ付イテハ道路工事執行令ニ規定スルモノノ外本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　道路工事執行令第七條ノ規定ニ依ル公告ニハ左ノ事項ヲ揭記スヘシ

一、入札ニ付スル事項

二、入札及開札ノ場所期日時刻

三、設計書又ハ見本ヲ示ス場所

四、契約ヲ擔當スル道路管理者ノ官職氏名

五、入札者ノ資格要件ヲ本則第三條第二項ニ依リ特ニ定メタルトキハ其事項

六、其ノ他必要ナル事項

第二章　入札人資格要件及入札手續

第三條　入札人ハ道路工事執行令第八條第一號ニ規定スル要件ノ外二年以來引續キ直接國稅十圓以上ヲ納ムルモノナルコトヲ要ス

工事又ハ物件ノ性質上其ノ他必要アリト認ムルトキハ前項ノ資格要件ヲ變更シ又ハ特ニ入札人ノ資格ヲ定ムルコトアルヘシ

第四條　入札ヲ爲サムトスルモノハ第一號樣式ノ入札書ニ入札保證金及道路工事執行令第六條第一號乃至第五號ニ該當セサルコトヲ知ルニ足ル身分證明同令第八條第一號並ニ本則第三條ニ關スル市町村長ノ證明書ヲ添ヘ所定ノ時刻迄ニ差出スヘシ

第三條　第二項ニ依リ特ニ入札人ノ資格要件ヲ定メタルトキハ之ニ關スル證明書及道路工事執行令第八條但書ニ依ル場合ハ擔當技術者ノ履歷書ヲモ添付スヘシ

本條ノ證明書ハ入札期日前三ケ月以内ニ作製セラレタルモノナルコトヲ要ス

第五條　郵便ニ依リ入札ヲ爲サムトスル者ハ前條ノ要項ヲ具備シ封筒ニ道路入札ト表記シ書留郵便ヲ以テ差出スヘシ

前項入札ハ開札ノ前日迄ニ到達スルコトヲ要ス

第六條　道路工事執行令第十條ノ規定ノ外左ノ各號ノ一ニ該當スル入札ハ之レヲ無效トス

一、入札書ノ必要事項ノ記載ヲ脫シタルトキ又ハ之レヲ記載シアルモ其文字ヲ確認シ難キトキ

二、入札書ノ必要ノ文字挿入削除及改竄ノ箇所ニ認印ナキトキ

三、入札書署名ノ下ニ捺印ナキトキ

第七條　一旦差出シタル入札書ハ引換變更又取消ヲ爲スコトヲ得ス

第三章　開札及契約締結

第八條　開札ハ所定ノ場所及時刻ニ入札人ノ面前ニ於テ之ヲ行フ

入札ヲ爲シタル者一名モ出頭セサル時ハ入札ニ關係ナキ官吏又ハ吏員二名以上ヲ立會シムヘシ

第九條　道路管理者ハ其競爭入札ニ付シタル工事又ハ物件ノ價格ヲ豫定シ其豫定價格ヲ封書トシ之レヲ開札ノ場所ニ置クモノトス

第十條　落札人ナキトキハ直チニ再入札ニ付スルモノトス但シ道路管理者ノ都合ニ依リ之ヲ延期シ又ハ見合スコトヲ得

第十一條　落札人ハ道路工事執行令第十二條ノ期間内ニ別紙第二號樣式ノ契約書ニ契約保證金ヲ添ヘ差出スヘシ

道路管理者ハ必要アリト認ムルトキハ保證金ノ外二名以内ノ保證人ヲ立テシムルコトアルヘシ保證人ノ資格要件ハ其都度道路管理者之ヲ定ム

第十二條　道路工事執行令第五條ノ規定ニ依リ隨意契約ヲ爲サムトスルトキハ豫メ必要ナル事項ヲ指示シ第三號樣式ノ見積書ヲ差出サシムヘシ前項ノ見積價

格ヲ適當ト認メ隨意契約ヲ爲ス場合ハ契約書ヲ省略シ見積書ヲ以テ直チニ契約書ニ代用スルコトヲ得

第十三條　入札保證金及契約保證金ヲ記名ノ證券又ハ債券ヲ以テ代用スル場合ハ賣却承諾書及委任狀ヲ添付セシムヘシ

第四章　工事ノ施行及監督

第十四條　道路管理者ニ於テ必要アリト認ムルトキハ工程書又ハ方法書ヲ差出サシムヘシ

第十五條　請負人ハ道路管理者ノ承認ヲ受クルニアラサレハ隨意ニ夜業ヲ爲シ又ハ休業ヲ爲スコトヲ得ス道路管理者ニ於テ必要アリト認ムルトキハ特ニ夜業ヲ命スルコトアルヘシ

第十六條　水中又ハ土中ノ工事其他施行後其出來形ノ適否ヲ認識シ難キ種類ノ工事ニ在リテハ施行ノ際特ニ臨檢ヲ求ムヘシ

前項臨檢ヲ求メスシテ施行シタル工事ハ道路管理者ニ於テ其適否ヲ認識シ得ルニ足ルヘキ適當ノ方法ヲ講セシムルコトアルヘシ但シ之カ爲メニ要スル費用ハ請負人ノ負擔トス

第十七條　道路管理者ハ其必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ契約ヲ變更シ又ハ工事ノ進行ヲ停止セシメ若クハ中止セシムルコトヲ得

契約ノ變更ヲ要スルトキハ其事項ヲ示シ見積書ヲ差出サシムヘシ

前項ノ場合ニ於ケル請負金額ノ增減ハ契約ノ變更工事ノ停止及中止ニ基ク期限ノ伸縮ト共ニ原契約ニ係ル設計書仕譯書其ノ他ヲ參酌シテ道路管理者之ヲ定ム

契約ヲ變更シタル場合ニ於テ契約保證金ニ剩餘ヲ生スルコトアルモ還付セサルモノトス但シ不足ヲ來シタルトキハ追納ヲ命スルコトアルヘシ

第十八條　工事用材料ハ檢查ヲ受ケタル後ニアラサレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス檢查ニ合格セサル材料ハ道路管理者ノ指示ニ從ヒ直ニ現場ヨリ搬出スヘシ

第十九條　請負人ハ常ニ設計書ヲ携帶シ其契約ヲ履行スヘキ箇所ニ出場スヘシ但シ支障アルトキハ代理人ヲ出場セシメ其旨届出スヘシ

代理人ニシテ不適當ト認ムルトキハ道路管理者ハ何時ニテモ之レヲ變更セシム

第二十條　請負人ハ代理人職工人夫其ノ他ノ使用人ノ

行爲ニ對シ一切ノ責ニ任スル職工人夫等ニシテ不適當又ハ不都合ノ行爲アリト認ムルトキハ道路管理者ハ何時ニテモ其使役ヲ差止ムルコトヲ得

第五章　檢查及請負金支拂

第二十一條　道路管理者ハ檢查ニ際シ必要アリト認ムルトキハ工事ノ一部ヲ取毀タシムルコトアルヘシ此場合ニ於テ其取毀チタル部分ハ期間ヲ指定シ復築セシムル之カ爲ニ要スル費用ハ請費人ノ負擔トス

第二十二條　檢查ノ結果工事其ノ他ニ瑕疵アリト認ムルトキハ期間ヲ指定シテ之ヲ修補セシムル之レカ爲ニ要スル費用ハ民法第六百三十四條第一項但書ノ規定ニ拘ラス請負人ノ負擔トス

第二十三條　請負人前二條ノ復築又ハ修補ヲ指定ノ期間內ニ完了セサルトキハ其遲延日數ニ付道路工事執行令第二十條ノ規定ヲ適用ス

道路管理者ハ事宜ニ依リ復築修補ニ代ヘ其適當ト認ムル所ニ依リ請負金ヲ減額スルコトヲ得

第二十四條　檢查ニ合格シタルトキハ檢查濟證ヲ交付ス但シ材料ニ付テハ之ヲ省略スルコトヲ得假檢查ハ本則ノ適要ニ付イテハ之ヲ檢查ト看做サス

第二十五條　檢查合格證ヲ受クマテノ間ハ該工事ニ關シ天災其ノ他如何ナル事由ニ依リ損害ヲ被ルコトアルモ道路管理者ニ對シ補償ヲ求ムルコトヲ得ス

但シ其損害請負金額ノ二分ノ一ヲ超過シタリト認ニルトキハ道路管理者ニ於テ適當ト認ムル額ヲ補給スルコトアルヘシ

第二十六條　道路管理者ニ於テ工事ニ使用スヘキ材料ヲ請負人ニ交付シタル場合ニ於テ交付後該物件ニ不足毀損滅失其ノ他如何ナル瑕疵アルモ其損害ハ總テ請負人ノ負擔トス

設計書仕譯書圖面中在來ノ物件ヲ使用スヘキ事ヲ明記シタルトキハ其ノ物件ハ契約締結ト同時ニ之ヲ交付シタルモノト看做ス

第二十七條　道路工事執行令第二十四條ノ規定ニ依ル請負金ノ假拂ハ左ノ區分ニ從フ

請負金額		
千圓以上三千圓未滿	一	回
五千圓未滿	二回以內	
一萬圓未滿	三回以內	
一萬圓以上ハ五千圓ヲ增ス每ニ	一回ヲ遞加ス	

第六章　契約解餘ノ通知方法其他

第二十八條　請負人所在不明ノ爲契約解除其ノ他ノ通知ヲ爲スコト能ハサルトキハ道路管理者ハ本縣ニ於テ發行スル縣報ノ公告ヲ以テ之カ通知ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十九條　契約ノ履行ニ關シ他人ニ與ヘタル損害ハ總テ請負人其賠償ノ責ニ任ス

第三十條　契約解除ノ場合ニ於テ工事ニ關スル障害物ノ撤去其ノ他本則ニ依リ命シタル行爲ヲ請負人ニ於テ爲ササルトキハ道路管理者ハ適當ナル措置ヲ爲スコトヲ得之ニ要スル費用ハ請負人ノ負擔トス

第三十一條　道路工事執行令第二十條ノ規定ニ依リ徵收スヘキ違約金及其ノ他ノ賠償金ニシテ請負金額中ヨリ控除スルコト能ハサルトキハ契約保證金ヲ以テ之ニ充テ尙不足アルトキハ之ヲ追徵ス

第三十二條　本則ノ規定ニ基キテ爲シタル道路管理者ノ處分ニ對シテハ異議ヲ申立テ又ハ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第三十三條　契約保證金ノ納入其ノ他ノ取扱ハ國道府縣道ニ係ル請負ニ在リテハ縣雜部金出納規則ノ定ムル所ニ依ル

第三十四條　本則ニ依ル契約ニ基ク債權ニシテ其額三千圓未滿ノモノハ之ヲ讓渡スルコトヲ得サルモノトス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本則施行ノ際既ニ契約ヲ締結シ又ハ公告ヲ爲シタルモノニ付イテハ從前ノ例ニ依ル

様式第一號

入札書

一金　何程　　但何々工事

右金額ヲ以テ請負仕度大正九年十一月八日内務省令第三十六號道路工事執行令及大正十年十二月二十八日千葉縣令第百二十號道路工事執行令施行細則ニ依リ入札候也

住所

年月日　　氏名　㊞

道路管理者

知事、郡長、市、町、村長何某殿

備考

第二號

印紙　㊞

契約書

一、工事箇所及工事名

一、請負金額

一、契約保證金額

一、工事竣功期日

一、工事保證期間

右之通請負仕候ニ付テハ大正九年十一月八日内務省令第三十六號道路工事執行令及大正十年十二月二十八日千葉縣令第百二十號ヲ嚴守シ豫而御示シノ設計書（何々）ノ通リ債務履行可仕若違背候節ハ該規定ニ依リ如何樣ノ御處分直成候共異議申間敷候仍而契約書差出候也

年月日　　住所　　氏名　印

道路管理者

知事、郡長、市、町、村長何某殿

第三號

見積書

一金　何程　　但何々工事

工事竣功期限

右金額ヲ以テ御請仕度御下命ノ上ハ大正九年十一月八日内務省令第三十六號道路工事執行令及大正十年十二月二十八日千葉縣令第百二十號道路工事執行令施行細則ヲ嚴守シ豫而御示ノ設計書（何々）ノ通債務履行可仕若違背候節ハ該規定ニ依リ如何樣ノ御處分相成候共異議申間敷仍而見積書差出候也

年月日　　住所　　氏名　印

道路管理者

知事、郡長、市、町、村長何某殿

印紙　㊞

本見積書ハ之ヲ契約書ニ代用ス

右

年月日　　請負人　氏名　印

道路以外ノ工事執行ニ關スル件

（大正十一年三月縣令第二十號）

縣費支辨ニ屬スル道路以外ノ工事ノ執行ニ關シテハ千葉縣會計規則ノ規定ニ拘ラス大正九年十一月内務省令第三十六號道路工事執行令及大正十年十二月千葉縣令第百二十號道路工事執行令施行細則ノ例ニ依ル工事ニ要スル物件ノ購入借入又ハ勞力供給ノ場合ニ於テモ亦同シ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年六月千葉縣告示第百二十一號縣工事請負規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際既ニ契約ヲ締結シ又ハ公告ヲ爲シタルモノニ付イテハ從前ノ例ニ依ル

直轄工事施行規定

（明治三十三年六月縣訓令乙第二九號）

第一條　直轄工事ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ施行スヘシ

一、直　營

二、部分請負

第二條　直營ハ材料ヲ購買シ職工人夫ヲ直接ニ使用シ施行スルモノトス

但シ多數ノ職工人夫ヲ要スル場合ニ於テハ成ルヘク供給者ヲ定メ日々要スル所ノ數ヲ出サシムヘシ

第三條　職工人夫一日ノ就業時間ハ七時間乃至十時間トシ日ノ長短ニ依リ適宜之ヲ定ムヘシ但シ急施ヲ要スル場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第四條　部分請負ハ一工場又ハ一工事ヲ五箇以上分割シ成ルヘク數人ノ見積書ヲ徵シ請負ヲ命スルモノトス

第五條　部分請負ニハ工事請負規則ヲ適用ス

第六條　直轄工場ニハ左ノ帳簿ヲ備ヘ日々之ヲ整理スヘシ

一、工場日誌

二、工費個所別整理簿

三、工費廉別整理簿

四、職工人夫點檢簿

五、種類別勞力集計簿

六、工事用材料受拂簿

前項ノ帳簿ハ第一號乃至第六號書式ニ依ルヘシ

第七條　直營ノ場合ニ於テハ左ノ事項ヲ工場ニ掲示スヘシ

一、就業時間（午前何時ヨリ午後何時マデ）

二、職工人夫ノ始業時間前工場ニ出スヘキコト

三、職工人夫許可ヲ得スシテ退場シダルトキハ其ノ日ノ賃錢ヲ支拂ハサルコト

四、喧嘩口論及ヒ粗暴ノ行爲ヲ爲スヘカサルコト

五、工場ニ在リテハ從順ニシテ指示スル所ノ業務ヲ勉勵スヘキコト

六、就業中ハ喫煙スヘカラサルコト

七、就業前及就業中ハ飮酒ス可ラサルコト

八、前各號ニ違背スルトキハ退場ヲ命シ爾後使用セサルコト

（表式略ス）

工事竣功延期及材料完納延期ノ件

（大正九年四月土第八七八號各工區主幹宛内務部長通牒）

縣費支辨ニ係ル工事竣工延期及材料完納延期願ニ關シテハ其ノ契約期限内ニ於テ之ヲ爲スヘキニ往々期限經過後ニ於テ請負人ヨリ願書ヲ受理復申セラル、向アリ斯ノ如キハ延期承認相成ラザル場合有之候ニ付若シ延期ヲ請ハントスルモノアルトキハ必ズ期限内ニ於テ願書提出セシメラル、樣豫メ請負人ニ注意ヲ與ヘラルベク此段及通牒候也

入札保證金及請負契約保證金免除ノ件

（大正十一年一月土第一八八號各工區主幹宛　内務部長通牒）

別紙ノ通リ入札保證金及請負契約保證金免除ノ儀同定候條之ニ據リ取扱可有之此段及通牒候也

入札保證金及請負契約保證金免除ノ件

（大正十一年一月決定）

左ノ場合ニ於テハ保證金ヲ免除スル儀ト心得可然哉

一、道路工事執行令第九條但書ノ場合ナルトキ

二、仝　執行令第十三條但書ノ場合請負金額二千圓未滿ナルトキ

右ハ普通一般ニ對スル取扱ニシテ特殊ノモノニシテ保證金ヲ要スト認ムルモノニ付テハ其ノ都度經伺ノ見込

請負人身分證明書及資格證明書ニ關スル件

（大正十二年八月決定）

從來請負人ヨリ提出スル身分證明書及資格證明書ハ道路工事執行令施行細則第四條第一項ニ依リ一契約毎ニ

之ヲ添付シ來リ候處斯クテハ取扱上煩瑣加之當業者モ亦手數不尠候ニ付驗テ之カ改正ヲ仰クヘキノ處差當リ事務ノ簡捷ト併セテ當業者ニ便ヲ與フル爲細則第四條三項ノ證明書作製時期タル三ケ月以內ハ之ヲ有效ノ期間ト看做シ一旦提出シタルモノニ對シテハ之ヲ當廳ニ編綴シ置キ該期間ニ於ケル入札並請負ニ關シテハ其ノ都度提出ヲ省略スルコトニ取扱可然哉

御決裁ノ上ハ左案ヲ以テ各工區主幹ニ通牒相成可然哉

併セテ相伺候

請負人身分證明書及資格證明書ニ關スル件

（大正十二年八月土第一七〇四號 各工區主幹宛 內務部長通牒）

從來請負人ヨリ入札及請負ニ關シ提出スル身分證明書及資格證明書ハ一契約毎ニ添付シ來リ候處之カ手數ヲ省略シ當廳ニ於テ綴置キ以テ事務上ノ煩瑣ヲ避ケ一面當業者ニ便ヲ與フル爲自今ハ市町村長證明ノ日ヨリ三ケ月內ニ於テ入札及請負契約ヲ爲ス場合ハ之ヲ援用候ニ付此ノ旨工區內請負人ニ通知可有之尙此際取扱上必要ニ付之ヲ取纏メ送付可有之此段及通牒候也

追テ從來提出候証明書往々誤字脫字等有之爲ニ證明書ノ効用ヲ缺キタル例モ有之候ニ付道路工事執行令第六條ノ各號及第八條並仝施行細則第三條ヲ心得其ノ行文ヲ漫リニ改メ又ハ誤字脫字等無之樣豫メ注意可有之尙將來其ノ都度證明書期限滿了以前ニ於テ之カ更新ノ爲提出シ置ク樣併セテ通知置有之度候

身分證明及資格證明ニ關スル件

（大正十四年一月決定）

一般競爭入札ノ場合ニ於ケル身分證明及資格證明ニ付テハ道路工事執行令第六條及第八條道路工事執行令施行細則第三條ニ規定アルモ會社組織ニ係ル入札ノ場合ニ於ケル證明ノ規定無之取扱上差支候ニ付追テ之カ規定ノ改正ヲ仰ク見込ニ有之候條其ノ間會社組織ノ入札ニ對シテハ代表社員ニ對スル身分證明書資格證明書ノ外商業登記ノ抄本ヲ添付スル儀ト心得可然哉

セメント檢收內規ニ關スル件

（大正十三年十二月 土第四九二七號 各工區主幹直營主任宛內務部長通牒）

標記ノ件別紙ノ通相定メ候條實施上遺憾ナキヲ期セラルベク此段及通牒候也

追テ爾後ノ設計書ニハ「本縣セメント檢收內規ニ基キ本廳ノ試驗ニ合格ノモノ」ヲ明記スヘシ

「セメント」試驗施行ニ關スル件

（昭和三年七月土第二八六一號 各工區主幹宛 內務部長通牒）

大正十三年十二月十八日通牒ニ基キ「セメント」檢收試驗施行候處爾今特ニ工區主幹、直營主任ヨリ必要アリト認メ上申アリタルモノ、外ハ檢收試驗ヲ施行セサル事ト相成候條此段及通牒候也

追而爾后設計書ニハ上申ノ場合ニ限リ「本縣セメント檢收內規ニ基キ本廳ノ試驗ニ合格ノモノ」ヲ附記スルモノトス

セメント檢收內規附檢定法

セメント檢收內規

一、本縣土木建築工事ニ使用スルセメントノ檢收ハ總テ本內規ニ從フモノトス

二、セメントガ現場又ハ納付地ニ到着シタル時ハ工區主幹又ハ工事直營主任ハ受檢者ト立會ノ上左ノ割合ヲ以テ適宜ノ樽ヲ撰出シ之レヲ秤量セシメ且ツ其ノ概況ヲ調査シ正味三百八十封度以下又ハ濕氣ヲ吸收シ凝結シ或ハ不良ノ混合物アリト認メタル時ハ其一口ヲ不合格トシテ引換ヘシムヘシ

但シ量目ノミ不足ノ場合ハ其ノ割合ヲ以テ樽數ヲ增加納付セシムル事ヲ得

使用數量　試驗數量

二十樽以下　一樽

五十樽以下　二樽

百　樽以下　三樽

以下五十樽以內ヲ增ス每ニ一樽ノ割

三、前項ノ調査ニ合格シタル時ハ工區主幹又ハ工事直營主任ハ受檢者ヲシテ濕氣ヲ吸收スルノ虞ナキ場所ニ運搬保管セシメ置キ更ニ各試驗樽ヨリ適當ノ量（約二升）宛ヲ抽出シ其ノ品質ノ試驗ノ手續ヲナスヘシ

但シ二十樽以下ノ場合ニアリテハ小野田製又ハ淺野セメントニ限リ本試驗ヲ省略スル事ヲ得

四、セメントノ品質試驗ハ本廳ニ於テ施行スヘシ

工區主幹又ハ工事直營主任ハ使用十五日以前ニ使用箇所使用數量、工種、製造所名等ヲ明記シ試驗方ヲ土木課ニ請求シ仝時ニ受檢者ヨリ試驗材ヲ送附セシムヘシ

但シ試驗材採取方ハ掛員自ラ行ヒ嚴重封印ノ上引合番號ヲ付シ受驗者ニ交附スヘシ

五、セメント品質試驗ヲ終リタル時ハ使用ノ適否ヲ工區主幹又ハ工事直營主任ニ通知スヘキニヨリ其ノ通知ヲ受ケタル後引合番號ト對照シ合格シタルモノノ外使用スヘカラズ

但シ第二項ノ調査ニヨリ引換ヲ命シタルモノハ更ニ仝樣ノ試驗ヲ受ケシムヘシ

六、セメントノ品質試驗ニ合格シタルモノト雖モ開樽ニ際シ濕氣ニ侵サレ粉狀ヲ失シ或ハ不良ノ混合物アリト認ムル時ハ受驗者ヲシテ該品ノ引換ヲナサシメ又ハ一口ノ分納品全部引換ヲ爲サシム事アルヘシ

但シ直營工事又ハ官給品ニシテ本廳ノ貯藏法ニ起因シ濕氣ニ侵サレタル事實判明シタルモノハ此ノ限リニアラズ

「セメント」試驗法

（昭和二年五月十日第二六九六號ニヨリ改正　昭和二年六月廿四日ヨリ實施）

セメントノ品質試驗ノ方法左之通改ム

第一條　「セメント」ハ一平方糎ニ付四千九百孔ヲ有スル篩ヲ以テ篩ヒ別ケ其ノ殘滓量十七パーセントヲ超エサルコトヲ要ス此ノ場合ニ於ケル篩ノ針金ノ徑ハ〇、〇五五粍トス

殘滓量ハ一試料ニ付二回以上每回五〇瓦ノ「セメント」ヲ採リ輕ク篩ヲ敲キ微細分ヲ篩ヒ落シ一分間ノ通過量〇、一瓦以下トナリタルトキ篩ノ底ノ殘滓ヲ秤リテ之ヲ定ム

凝結

第二條　普通ノ用途ニ供スル「セメント」ハ攝氏十五度乃至二十五度ニ於テ注水ヨリ一時間以後ニ凝結ヲ始メ十時間以內ニ凝結ヲ終ルコトヲ要ス

本試驗ニ於ケル注水量ハ「セメント」四百瓦ヲ採リ適宜ノ水ヲ加ヘ注水ヨリ約三分間捏ネ混セテ稍固キ糊狀体ト爲シ硝子板ノ如キ水ヲ吸收セサルモノヽ上ニ置キタル圓筒ニ充シ剩餘ハ之ヲ除キ稠度計ノ金屬棒ヲ其ノ指針カ四十粍ノ目盛ヲ指ス處ヨリ徐々ニ「セメント」中ニ降下セシメ六粍ノ目盛ニ止マルトキニ相當スル水量トス此ノ場合ニ於ケル水量ハ標準稠度ニ適スルモノトス

凝結ノ始發及終結ヲ試驗スルニハ稠度計ノ金屬棒ヲ標準針ニ換ヘ之ト共ニ降下スヘキモノヽ全重量ヲ三百瓦ト爲シ圓筒內ニ充シタル標準稠度ノ糊狀「セメント」ノ中ニ該標準針ヲ徐々ニ降下セシメ其ノ指針凡ソ一粍ノ目盛ニ止マルトキヲ以テ凝結ノ始發ト爲シ漸次凝結シテ針頭カ「セメント」ノ表面ニ痕跡ヲ止ムルコト深サ凡ソ〇、二五粍ニ至リタルトキヲ以テ凝結ヲ終リタルモノトス

本試驗ニ用ウル稠度計及標準針ハ次ノ通トス

稠度針ハ長五糎徑一糎ノ金屬棒ニ指針ヲ附シタルモノト糊狀「セメント」ヲ入ルヘキ高四粍徑八粍ノ圓筒ト粍ノ目盛ヲ有スル計尺トヲ備ヘ金屬棒及之ト共ニ降下スヘキモノヽ全重量ヲ三百瓦トス標準針ハ長四、五糎斷面一平方粍（徑一、一三粍）ノ金屬棒ニシテ其ノ頭ヲ平ニ切リタルモノトス

膨張性龜裂

第三條　「セメント」ハ膨張性龜裂ヲ生セサルヲ要ス

膨張性龜裂ヲ試驗スルニハ沸煮法ニ依ルモノトス但シ試驗ニ時日ヲ要シ差支ナキ場合ハ浸水法ニ依ルコトアルヘシ

沸煮法「セメント」約百瓦ニ適量ノ水ヲ加ヘ能ク捏ネ混セテ糊狀体トナシ之レヲ硝子板上ニ展ハシ徑約十糎中央厚約一、五糎周圍ニ於テ稍ヤ薄キ饅頭形体トナシタルモノ二箇ヲ作リ少クトモ二十四時間ヲ經タル後水ヲ滿セル鍋中ニ沈メ徐々ニ熱シテ凡ソ一時三十分間沸騰セシメ漸次之レヲ冷却シタル後龜裂又歪曲ノ有無ヲ檢スルモノトス

糊狀体ヲ作ルニ用フル水量ハ「セメント」ノ重量ニ對シ約二十五パーセント乃至二十七パーセントトシ糊狀体ヲ載セタル硝子板ヲ輕ク敲クトキ漸ク周圍ニ流出スルヲ適度トス

饅頭形体ハ凝結終了ニ至ル迄濕氣アル箱ニ入レ若クハ濕布ヲ以テ覆ヒ空氣ノ流通及日光ノ直射ヲ避ケ收縮ノ爲「ヒビワレ」ヲ生セサル樣注意スルコトヲ要ス

前項ノ「ヒビワレ」ハ多クハ饅頭形体ノ中央ニ起リ膨張性龜裂ト毫モ相關セサル現象ニシテ普通ノ用途ニ

補助工事

供スル「セメント」ニ於テハ特ニ之ヲ生シ易キヲ以テ注意スルコトヲ要ス

浸水法

浸水法ハ沸煮法ニ記載セル方法ヲ以テ作リタル饅頭形体ヲ凡ソ二十四時間ヲ經テ水中ニ浸シ二十七日間ニ於テ龜裂又ハ歪曲ノ有無ヲ檢スルモノトス

抗張試驗

第四條　「セメント」ノ抗張試驗ハ「セメント」ノミヲ以テ作レル供試体ニ付試驗ヲ行フ此ノ塲合ニ於ケル抗張力ハ七日間（空氣中二十四時間水中六日間）固結ノ後ニ於テ一平方糎ニ付四十瓩以上ナルコトヲ要ス

供試體

第五條　抗張試驗ニ用フル供試体ノ中央部ニ於ケル最小斷面積ハ五平方糎トシ之レニ用フル試驗機ハ二重槓杆式ノモノヲ以テ標準トス

第六條　抗張試驗ニ用フル供試体ハ次ニ示ス機械法ニ依リ作ルモノトス機械法「セメント」ニ適量ノ水ヲ加ヘ鏝ヲ以テ捏ネ混セ之レヲ二瓩ノ鎚ヲ有スル標準鐵鎚機上所定ノ位置ニ固ク取付ケタル型（內面ニ少シク礦油ヲ塗リタルモノ）ノ中ニ充シ鐵心ヲ嵌メ百五十回之ヲ敲キ型上ノ過分ヲ削リ去リ其上面ヲ平滑ニスルモノトス

供試体ヲ作ルニ要スル水ノ分量ハ鐵鎚ヲ以テ敲クコト百回乃至百十回ニシテ供試体ノ裏面ニ少シク水分ノ滲出スルヲ以テ適度トス

第七條　前項ノ捏ネ混セ及型詰ハ常ニ室內ニ於テ行ヒ作業中日光ノ直射ヲ避ケ乾燥ヲ防キ成形ノ後ハ之ヲ濕氣アル箱內ニ置キ蓋ヲ以テ蔽ヒ温度ノ變化及空氣ノ流通ヲ防キ二十時間以上ヲ經テ叮寧ニ型ヨリ取外スモノトス

型ヨリ取外シタル供試体ハ濕氣アル箱內ニ保存シ成形後二十四時間ヲ經テ水槽ニ入レ全ク水中ニ浸スモノトス

型詰ヨリ浸水ニ至ル間ノ室內ノ温度及水槽ノ水ノ温度ハ攝氏十度以下ニ降ラサル樣注意スルコトヲ要ス

土木費縣費補助規則

（大正九年六月縣令第四十八號
大正十四年十月縣令第四三號改正）

第一條　郡市町村市町村組合若ハ町村組合又ハ水利組合ニ於テ費用ヲ負擔スル土木工事ニシテ縣費ヨリ補助スルモノハ左記種類ノ新設改築若ハ災害復舊工事トス但シ縣ニ於テ特ニ必要アリト認ムルトキハ本條規定以外ノ團體ニ對シテモ特別補助ヲ爲スコトアルヘシ

一、樞要ナル市道又ハ町村道及其ノ橋梁
二、重要ナル樋管水閘
三、重要ナル港灣ニ關スル工事若ハ治水工事
四、國又ハ縣ノ起業ニ係ル河川ノ工事ニ依リ必要ヲ生シタル重要ナル工事

第二條　前條ノ工事ニ對シテハ豫算ノ範圍內ニ於テ工費ノ二分ノ一以內ヲ補助ス但シ非常災害ニ起因スル工事又ハ縣カ特ニ重要ト認メ若ハ工費ノ負擔ニ堪ヘ難シト認メタル工事ニ對シテハ補助ノ步合ヲ相當增加スルコトアルヘシ

第三條　補助ヲ受クヘキ工事ノ計畫設計及其ノ費額ハ總テ縣ノ査定スル所ニ依ル

第四條　補助ハ施行年度ノ前年五月三十一日迄ニ起業者ヨリ之ヲ申請スヘシ但シ災害復舊工事ニ付テハ災害ノ止ミタル日ヨリ二十日以內トシ國又ハ縣ノ起業ニ係ル工事ニ依リ必要ヲ生シタル工事ニ付テハ本條ノ期限ニ依ラサルコトヲ得

第五條　縣費補助ノ指令ヲ受ケタルトキハ三十日以內ニ施行年度ニ於ケル歲入歲出豫算表ヲ提出スヘシ但シ道路法第二十四條ニ依リ管理者ノ承認ヲ受クヘキ事項ニ付テハ其承認書寫ヲ添付スヘシ

第六條　左ニ揭クル事項ハ縣ノ許可ヲ受クヘシ

一、工事設計仕樣ノ變更
二、工事ノ全部若ハ一部ノ廢止

第七條　縣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ設計仕樣ノ變更又ハ工事ノ停止若ハ廢止ヲ命スルコトアルヘシ

第八條　工事ノ施行ニ關シテハ縣ノ指揮監督ヲ受クヘシ

工事ノ材料ハ縣ノ檢查ヲ經タルモノニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第九條　起業者ハ工事ニ着手シタルトキハ工事ニ關スル帳簿ヲ備フヘシ

第十條　工事竣功シタルトキハ竣功調書ヲ添ヘ届出検査ヲ受クヘシ検査ニ際シ必要アルトキハ工事ノ一部ヲ取毀タシメ又設計仕様ニ違ヒ若ハ粗雑ト認メタルトキハ期限ヲ指定シ之カ改築若ハ修補ヲ命スルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テハ之ニ要スル費用ハ補助ヲ受ケタルモノヽ負擔トス但シ事宜ニ依リ之カ改築若ハ修補ヲ爲サシメスシテ補助金ヲ減額スルコトアルヘシ

第十一條　補助金ハ竣功檢査ノ後之ヲ交付ス但シ補助額五百圓以上ノモノハ左ノ區分ニ從ヒ既成部分ノ工費ニ對スル補助金ノ十分ノ九以内ノ内渡ヲ爲スコトアルヘシ

一、補助額千圓未滿ノ工事ニ付テハ五分以上進行シタルトキ一回

二、同千圓以上ノ工事ニ仕テハ四分以上進行シタルトキ一回七分以上進行シタルトキ一回

補助金ノ内渡ハ費用負擔者ノ負擔スヘキ金額ノ支出ヲ了シタル後ニ非サレハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

補助金ノ内渡ヲ受ケムトスルモノハ進行歩合調書ヲ添ヘ之ヲ請求スヘシ

補助金全部ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ收支計算書ヲ添ヘ之ヲ請求スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ必要アルトキハ支拂證書及未拂ニ係ル請求書竝第九條ノ帳簿其ノ他必要ナル書類ヲ提出セシムルコトアルヘシ

三、同五千圓以上ノ工事ニ付テハ三分以上進行シタルトキ一回六分以上進行シタルトキ一回八分以上進行シタルトキ一回

第十二條　精算工費カ査定工費ニ對シ增加スルコトアルモ補助金ハ之ヲ增額セス但シ第七條ニ基キ設計仕様ノ變更ヲ命シタル爲工費ノ增加ヲ生シタルトキハ之ニ相當スル補助金ノ增額ヲ爲スコトアルヘシ

精算工費カ査定工費ニ對シ減少シタルトキハ之ニ相當スル補助金ノ減額ヲ爲スモノトス

第十三條　天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ依リ工事ノ既成部分ヲ破壞セラレタル爲工費ノ增加ヲ生シタルトキハ之ニ相當スル補助金ノ增額ヲ爲スコトアルヘシ但シ其ノ破壞カ設計違反又ハ出來形不充分ニ基因スルモノト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　一年度内ニ工事ヲ竣功セサルトキハ當該年度ノ出來形ヲ以テ打切リ既成部分ニ相當スル補助金ヲ交付ス但シ工事ヲ繼續施行セサル爲効用ナシト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　已ムコトヲ得サル事故ニ因リ工事ヲ次年度ニ繰越シ補助ヲ受ケムトスルモノハ次年度ノ歳入歳出豫算表ヲ添ヘ其ノ年度三月十五日迄ニ申請スヘシ

第十六條　左ノ場合ニ於テハ補助ノ指令ヲ取消シ又ハ補助金ノ一部若ハ全部ノ返還ヲ命スルコトアルヘシ

一、第五條ノ期限内ニ所要ノ書類ヲ提出セサルトキ

二、故ナク施行年度内ニ工事ニ着手セサルトキ

三、許可ヲ受ケスシテ工事ノ設計仕様ヲ變更シ又ハ中途工事ヲ廢止シタル爲其ノ効用ナシト認ムルトキ

四、第八條ノ指揮ニ違ヒ若ハ檢査ヲ受ケサル材料ヲ使用シタルトキ

五、第七條及第十條第二項ニ依ル命令ニ違反スルトキ

六、工費支出ノ計算明確ナラス又ハ工事施行上不正ノ行爲アリト認ムルトキ

第十七條　本規則ニ依リ提出スル書類ハ所轄市役所町村役場及工區ヲ經由スヘシ

附　則

第十八條　本規則施行以前ニ補助ノ指令ヲ爲シタルモノニ付テハ補助金全部ノ交付ヲ了ル迄從前ノ規則ニ依ル

第十九條　郡ニ於テ費用ヲ負擔スル道路ニ關スル工事ニシテ大正九年及大正十年度ニ於ケル補助ヲ申請スル場合ニ限リ第四條ノ申請期限ヲ施行年度ノ六月三十日トス

土木費縣費補助規則施行手續

（大正九年六月縣訓令第二十四號）

第一條　土木費縣費補助規則第四條ニ依リ縣費ノ補助ヲ申請セムトスルトキハ申請書（第一號樣式）ニ左記ノ書類ヲ添ヘ差出スヘシ

一、工事ノ設計及仕樣書（第二號樣式）

二、圖面道路堤防河川ノ新設變更ノ類ハ實測平面圖及縱橫斷面圖、橋梁、隧道、暗渠、水閘ノ類ハ其位置ヲ現ハシタル見取圖及構造圖其ノ他ノ工事ハ其ノ位置關係ヲ知リ得ヘキ見取圖繼續事業ナル場

合ハ各年度ニ於テ施行スヘキ部分ヲ明ニシタル圖面

三、潰地支障物調書及潰地實測圖（第三號樣式）

四、補助申請ニ關スル議決書工事ノ所在名稱工費及施行年度ヲ明記シ繼續事業ナル塲合ハ繼續年期及支出方法ヲ明ニスヘシ

五、工費ニ對スル收入見込書（第四號樣式）

六、水利ニ關係アル工事ニ付テハ關係市町村長ノ意見書

第二條　國庫ヨリ補助ヲ受クル工事ニ付テハ設計額ヨリ國庫補助額ヲ控除シタル費額ヲ査定工費トシテ補助金ヲ計算ス

第三條　土木費縣費補助規則第六條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ左記ノ書類ヲ添付スヘシ但シ圖面ハ輕易ノモノニ限リ之ヲ省略スルコトヲ得

一、工事ノ設計仕樣ノ變更ニ付テハ變更部分ヲ知リ得ヘキ全設計仕樣書及圖面

二、工事ノ廢止ニ付テハ其ノ議決書及一部廢止ニ係ルモノハ既成未成部分ヲ知リ得ヘキ全設計書及圖面

第四條　土木費縣費補助規則第九條ニ依リ備フヘキ帳簿ハ左ノ各種トス

一、人夫職工點檢簿（第六號樣式）

本簿ハ工事ヲ請負ニ付スルトキハ之ヲ備フルコトヲ要セス

二、材料點檢簿（第六號樣式）

三、工事日誌（第六號樣式）

第五條　土木費縣費補助規則第十一條ニ依リ提出スル補助金請求書其ノ他之ニ添付スヘキ書類ハ左ノ各號ニ依リ調製スヘシ

一、請求書（七第號樣式）

二、工事進行歩合調書（第八號樣式）

三、收支計算書（第九號樣式）

第六條　土木費縣費補助規則第十三條及第十四條ノ塲合ニ於テ補助金ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ既成未成部分ヲ知リ得ヘキ設計書ヲ添ヘ申請スヘシ

第七條　土木費縣費補助規則第十五條ニ依リ工事ヲ次年度ニ繰越ノ申請ヲ爲ス塲合ニ於テ工事ノ幾部分ヲ繰越ストキハ既成及繰越部分ヲ知リ得ヘキ設計書及道路堤防河川浚渫工事ニ付テハ縱橫斷面圖ヲ添付スヘシ

第八條　（削除）

第九條　本手續ハ土木費縣費補助規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十條　明治四十五年三月千葉縣訓令甲第十七號ハ本手續施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第十一條　本手續施行以前ニ補助ノ指令ヲ爲シタルモノハ補助金全部ノ交付ヲ了ル迄仍從前ノ手續ニ依ル

第十二條　從前ノ樞要里道ハ土木費縣費補助規則第一條第一號ノ樞要ナル郡道市道又ハ町村道トス

第一號樣式

土木費縣費補助申請

何何何何間何何道又ハ何川筋

一　何郡何市何町村何何地內道路又ハ何何改築工事

第二號表

（表）

道路又ハ何々改築又ハ修	何郡何町村	內譯	
何々何々間何々道又ハ何川筋			
道路又ハ何々改築又ハ修繕延長何間			
一　切取長何間	何	巾	何
此立坪何坪			
一　盛土長何間	何	巾	何
此立坪何坪			
補助工事			

此設計工費若干

（貳箇以上ノ塲合ハ列記シテ設計工費ノ合計ヲ付スヘシ）

右縣費補助申請額若干

理由

本道路又ハ何何ハ何何ニ由リ（何年度ヨリ何年度ニ至ル繼續事業トシ）改築ヲ要ス

右ハ何年度ニ於テ縣費ノ補助ヲ受ケ工事施行致度候條御補助相成度此段申請候也

大正　年　月　日

何市長何郡何町村長又ハ何何管理者

氏　名　印

知事宛

巾平均何間

間　高　何　尺

間　厚　何　尺

（面）

繕工事設計書

何々地先

一　砂利數長何間　巾　何
此立坪何坪
一　何々（種類ノ異ナル毎ニ列記ヲ要ス）　尺　厚　何　寸

（裏）　（面）

工事種類	名稱	材名	長	巾厚	員數	單量	全量	單價	金額	摘要
切取又ハ盛土砂利數	人夫				……			……	……	何々立一坪何人掛
	同				……			……	……	何々
	計				……			……	……	
	砂利				……			……	……	何々地産
	人夫				……			……	……	何々立一坪何人掛
	計				……			……	……	
何々	何々									
何々	何々									
計										
合計										

備考

一、表面ニ掲クル一種類毎ニ內譯ヲナシ計及合計ハ朱記スヘシ

二、切取又ハ盛土ノ類ニシテ土坪ノ口數多キモノハ表面ニ延長總坪數ヲ記シ裏面ニ之レカ內譯ヲ掲ケ別ニ其ノ位置長巾高平積及立積ヲ記シタル土坪計算表ヲ作リ添付スヘシ

三、設計書ノミニテ設計ノ內容ヲ明ナラシムルコト能ハサルモノハ別ニ仕樣書ヲ添付スヘシ

四、本書式ハ補助規則第十條ノ竣功調書ニモ亦之ヲ準用ス

第三號樣式

潰地調書

町村	大字	番地	字	地目	原反別	地價	潰地反別	反金	代價	所有者
					反	円	反	円	円	
計										

支障物調書

町村	大字	番地	物件	數量	移轉料單價	移轉料	所有者
				…… 坪	円	円	
				…… 本			

潰地實測圖

補助工事

一、圖面ハ潰地ノ全筆圖ニ潰地トナルヘキ部分ヲ示

シ各筆ノ地番ヲ付スヘシ

備考

一、潰地及支障物調書ニハ其ノ備考ニ買收若ハ移轉ノ協議整フヘキヤ否ノ見込ミヲ記載スヘシ但シ協議整ハサル見込ノモノアルトキハ其ノ事由ヲ付スヘシ

第四號樣式

工費ニ對スル收入見込書

何郡市何町村何々地先何々工事費金若干

（二箇以上ノ場合ハ列記シテ設計工費ノ合計ヲ附スヘシ）

一金若干　土木費寄附

内

金若干　寄附金

（但シ某所何々工事指定）

金若干　夫役又ハ現品寄附

（但シ某所何々工事指定）人夫何人一人ニ付若干

又ハ何々品何個一個ニ付若干

一金若干　縣費補助金

内

金若干

（但シ某所何々工事指定）人夫何人一人ニ付若干

金若干　何々割

但シ何々

合計金若干

備考

一、縣ニ於テ工事設計書査定ノ結果工事若ハ工費ヲ增減シタル場合ニ於テ寄附額モ亦增減スヘキ豫定

金若干　（某所何々工事分）

但シ設計工費（國庫補助ヲ控除シタル金若干）ニ對スル何分ノ何程

金若干　（……）

……

一金若干　夫役又ハ現品賦課

但シ人夫何人一人ニ付若干一戸平均何人又ハ何々品何個一個ニ付若干一戸平均何個

一金若干　市町村稅

内

金若干　地價割

但シ地租金若干壹圓ニ付若干

金若干　戸別割

但シ縣稅戸數割金若干壹圓ニ付若干一戸平均若干

金若干　何々割

但シ何々

合計金若干

備考

一、縣ニ於テ工事設計書査定ノ結果工事若ハ工費ヲ增減シタル場合ニ於テ寄附額モ亦增減スヘキ豫定ナルトキハ其ノ事由（增減スヘキ割合トモ）ヲ寄附額記載ノ左側ニ附記スヘシ

二、土木費寄附ノ內譯各項但書ニ某所何々工事ト記スルハ工事ノ二個以上ニ對シ寄附アル場合ノ例トス又寄附金ニシテ二個以上ナルトキハ「某所何々工事指定金若干某所何々工事指定金若干」夫役寄附ニ於テモ「某所何々工事指定人夫何人一人ニ付若干此金若干某所何々工事指定人何人云々」ト記シ現品寄附モ亦此例ニ倣フ

三、費用ヲ賦課スヘキ物件ノ數量ハ工事施行ノ年度ノ前年度又臨時補助申請ノ場合ハ其ノ年度ノ豫算ニ揭クル額ニ依ルヘシ

四、當該工事ニ對シ縣以外ノ補助アル場合ハ書式中寄附ノ例ニ依リ其ノ補助額ヲ記載スヘシ

第五號樣式

何郡市何町村大正何年度歲入歲出豫算表

| 歲入 | | |

何月	一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	卅一日	計	氏名

一、何郡市何町村何々地先工事

内譯

一、切取又ハ盛土　長何間　巾何間　高何尺　此立坪何坪
一、砂利敷　長何間　巾何尺　厚何尺　此立坪何坪
一、何々　長何間　巾何尺　高何尺　此面又ハ立坪何坪

工事種類	名稱	數量	單價	金額	摘要
出來形材料			円	円	
取土又ハ盛土	何々人夫	何々人夫			
砂利敷	砂利人夫				
何々	何職工				
何々	何人夫				
計					
何々	何々				

此設計工費若干　進行歩合何歩

右之通候也

昭和　年　月　日

何市長何郡何町村長又ハ何々管理者

氏名印

備考

一、摘要ノ欄ニハ設計書ノ摘要ニ準シ數字ノ基ク處ヲ示スヘシ

第九號樣式

大正何年度縣費補助土木費收支計算書

收入

豫算金若干
一金若干　土木費寄附
内
豫算金若干

金若干　寄附金
但シ(某所何々工事指定)何某外何名寄附
豫算金若干
金若干　夫役寄附
但シ(某所何々工事指定)何某外何名寄附人夫何人一人ニ付若干(此金若干)内何人ハ現人夫何人ハ代料金領收(某所何々工事指定云々)
豫算金若干
金若干　現品寄附
但シ云々(前例ニ倣フ)
豫算金若干
一金若干　縣費補助金
内
豫算金若干
金若干　某所何々工事分
(豫算金若干)　(……)
(金若干)
豫算金若干
一金若干
但シ人夫何人一人ニ付若干内何人ハ現人夫何人ハ代料金領收
豫算金若干
一金若干　現品賦課
但シ云々(前例ニ倣フ)
豫算金若干
一金若干　町村税
内
豫算金若干
金若干　地價割
豫算金若干
金若干　戸別割
豫算金若干
金若干　何々割
豫算合計金
合計金若干

支出

豫算金若干
一金若干　土木費
内
豫算金若干

會

計

補助工事

金若干　某所何々工事費
（豫算金若干）
（金若干　……）

右之通候也

昭和　年　月　日

何市長何郡町村長又ハ何々管理者

知事宛　　氏名印

備考

一、町村稅ノ內譯ハ他ノ經費ヲ合セ賦課徵收シタル場合ハ記載ヲ要セス

千葉縣會計規則

（明治四十三年三月縣令第三〇號明治四十四年十二月縣令第八七號四十五年四月同第四七號大正二年四月同第二九號同年十月同第一〇〇號同五年八月同第四四號七年三月同第一六號同十年一月同第一一號同十二年六月同第三〇號同十五年六月同第五三號二年三月同第二五號改正）

第一章　總則

第一條　縣經濟ニ屬スル歳入歳出ノ事務ハ府縣制施行規則其ノ他特別ノ規定アルモノヽ外本規則ニ依ルヘシ

第二條　削除

第三條　削除

第四條　本規則ニ於ヲ各廨ト稱スルハ縣經濟ニ屬スル官公署學校其他之ニ準スヘキモノヲ謂フ

第五條　各廨及市役所町村役場ニ於ケル毎年度歳入歳出金ノ出納ハ翌年度五月三十一日限リトシ其ノ事務ハ六月三十日限リ完整スヘシ

第二章　收入

第六條　稅外諸收入ヲ徵收セントスルトキハ納入ニ對シ納額告知書又ハ納付書ヲ發スヘシ

納額告知書及納付書ニハ年度科目金額納付期限納入氏名其ノ他必要ナル事項ヲ記載スヘシ

廨長及市町村長ニ於テ徵收スヘキ稅外諸收入ノ納額告知書及納付書ハ當該廨長又ハ市町村長ニ於テ之ヲ發スヘシ

第七條　左ニ揭クル收入ハ前條第一項ノ規定ニ拘ラス縣出納吏ニ於テ現金ヲ領收スルコトヲ得

一　縣債及一時借入金
二　公債社債株式預金及貸付金ノ元利金
三　國庫補助金（國庫下渡金國庫補給ヲ含ム）
四　辨償金
五　違約及沒收金
六　恩給分担金其ノ他縣外ヨリノ送金
七　授業料
八　其ノ他知事ニ於テ必要ト認メタルモノ

第八條　納額告知書又ハ納付書ヲ受ケタル納入ハ納額告知書又ハ納入書ニ現金ヲ添ヘ納付期限迄ニ指定ノ縣金庫若ハ縣出納吏ニ納付スヘシ

第九條　縣出納吏及縣金庫ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ領收證書ヲ納人ニ交付シ歳入ヲ徵收スル官吏員職員ニ通知スヘシ

第十條　歳入ノ過誤納金拂戻ヲ要スルトキハ縣金庫ニ對シ拂戻命令ヲ發スヘシ其ノ命令ニ關シテハ仕拂命令ノ規定ヲ準用ス

第三章　支出

第十一條　經費ノ支出ハ縣金庫ニ對シ仕拂命令ヲ發スヘシ

定額豫算ニ依リ所要ノ費額ヲ定メテ各廨ニ令達シタル經費ハ其ノ仕拂豫算ニ基キ其ノ廨長ニ於テ仕拂命令ヲ發スヘシ

第十二條　削除

第十三條　削除

第十四條　削除

第十五條　繰替拂ハ囚人押送費癩患者救護費其ノ他法令ニ依リ定メラレタル費用ニ限リ之ヲ爲スモノトス

第十六條　仕拂命令ハ仕拂命令書ヲ債主ニ交付シ案内仕拂命令書ヲ縣金庫ニ送付スヘシ

同一支出科目ニシテ數人ノ債主ニ仕拂ヲ爲ストキハ集合仕拂命令書ヲ縣金庫ニ送付シ仕拂通知書ヲ各債主ニ交付スヘシ

仕拂命令ヲ當テタル縣金庫所在地外又ハ縣外ニ在ル

債主ニ對スル仕拂ニシテ振替拂ヲ爲スモノ又ハ送金ヲ要スルモノハ送金仕拂命令書ヲ縣金庫ニ送付シ仕拂通知書ヲ債主ニ送付スヘシ

前項ノ仕拂ニシテ振替拂又ハ送金ヲ要スルモノ亦同シ

第十七條　總テ仕拂命令書及仕拂通知書ニハ年度、會計ノ名稱、金額及債主若ハ其ノ代理人ノ氏名又ハ資金前渡ヲ受クヘキ者ノ官職氏名其ノ他ノ必要ナル事項ヲ記載シ集合仕拂命令書ニハ各債主ノ金額氏名表ヲ添付スヘシ

送金仕拂命令書及其ノ仕拂通知書ニハ振替拂ヲ爲スヘキ縣金庫ヲ指定シ若ハ送金ヲ爲スヘキ旨ヲ付記スヘシ

仕拂命令書若ハ仕拂通知書ニシテ其ノ金額欄ニ改竄アルモノハ之ヲ發スルコトヲ得ス

第十八條　縣金庫ニ於テハ案内仕拂命令書若ハ集合仕拂命令書又ハ送金仕拂命令書ヲ受ケ其ノ命令合式ニシテ令達セラレタル豫算ノ金額ヲ超過セサルトキハ仕拂命令書若ハ仕拂通知書ト引替ニ其ノ現金ヲ交付スヘシ

送金ヲ要スル送金仕拂命令書及債主ヨリ仕拂通知書ヲ送付シテ送金ヲ請求シタルモノニ關シテハ送金ノ手續ヲ爲スヘシ但シ前段ノ送金仕拂命令書ニ依リ送金ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ仕拂通知書ヲ債主ヨリ徵スヘシ

第十九條　當該年度ニ於テ發シタル仕拂命令書若ハ仕拂通知書ニシテ翌年度五月三十一日迄ニ仕拂ヲ了セサルモノハ之ヲ無效トス

第二十條　仕拂命令書若ハ仕拂通知書ヲ亡失シタルトキハ其ノ命令書若ハ通知書ノ到達シタル日時及金額ヲ記載シ仕拂命令書若ハ仕拂通知書ニ指定シタル縣金庫ニ届出ヘシ

縣金庫ニ於テ前項ノ届書ヲ受ケタルトキハ其ノ受領書ヲ交付スヘシ

第一項届出ノ後其ノ仕拂命令書若ハ仕拂通知書ヲ發見シタルトキハ前項ノ受領書ヲ添ヘ亡失届ノ還付ヲ當該縣金庫ニ請求シ現金交付後ナルトキハ其ノ仕拂命令書若ハ仕拂通知書ヲ發行者ニ還付スヘシ

第廿條ノ二　仕拂命令書第十六條ノ規定ニ依リ債主ニ送付シタル先仕拂通知書ニシテ債主ノ受領前亡失シ縣金庫ニ於テ其ノ支拂未濟ナルコト確メタルトキハ之カ仕拂ヲ停止セシメ更ニ仕拂通知書ヲ調製シ表面餘白ニ「再發行」ト記載シ仕拂命令者捺印ノ上之ヲ債主ニ送付シ其ノ旨ヲ縣金庫ニ通知スヘシ

第二十一條　左ノ場合ニ於テハ仕拂命令書若ハ仕拂通知書持參人ニ其ノ事由ヲ告ケ現金ノ仕拂ヲ拒絶スヘシ

一　案内仕拂命令書集合仕拂命令書若ハ振替拂通知ノ到達セサルトキ

二　仕拂命令書ト案内仕拂命令ト符合セサルトキ

三　仕拂通知書ト債主ノ金額氏名表若ハ振替拂通知ト符合セサルトキ

四　仕拂命令書若クハ仕拂通知書ニ押捺シタル仕拂命令者ノ印影明瞭ナラス又ハ其ノ印鑑ト符合セサルトキ

五　仕拂命令書若ハ仕拂通知書ノ金額ニ改竄アルトキ

六　仕拂命令書若ハ仕拂通知書汚損シ其ノ要領ヲ認メ難キトキ

七　仕拂命令書若ハ仕拂通知書ニシテ亡失ノ届出アリタルモノナルトキ

第二十二條　第十九條ニ依リ無效ニ屬シ若ハ第二十一條第二號乃至第六號ニ該當シタル仕拂命令書又ハ仕拂通知書ハ之ヲ發行者ニ返付シ更ニ交付ヲ受クヘシ

第二十三條　歲出ノ誤拂過渡トナリタル金額資金前渡概算拂、前金拂、繰替拂ニシテ返納ヲ要スルトキハ返納告知書ヲ發スヘシ

返納告知書ニ關シテハ納入告知書ノ規定ヲ準用ス

第四章　物件ノ賣買貸借修理及請負

第二十四條　物件ノ賣買貸借修理及工事其ノ他ノ請負ハ總テ公告シテ競爭ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

一　非常急遽ノ際競爭ニ付スル暇ナキトキ

二　工事其ノ他進行中ノ事業ヲ完成スル爲緊急ノ需要アル場合ニ於テ競爭ニ付スル暇ナキトキ

三　特種ノ物質又ハ特別使用ノ目的アルニ由リ生產製造ノ場所又ハ生產者製造者ヨリ直接ニ物件ノ買入又ハ借入ヲ要スルトキ

四　千圓ヲ超エサル物件ノ賣買貸借及修理又ハ二千圓ヲ超サル工事其ノ他ノ請負ヲ爲ストキ

五　政府又ハ府縣郡市町村ノ設立セル各所ヨリ直接ニ其ノ生產製造物ヲ買入ルルトキ

六　生產組合ヨリ物品ヲ買入ルルトキ

七　國債證券、地方債證券及其ノ他ノ證券ヲ賣買スルトキ

八　工事ヲ特ニ地元町村若ハ耕地整理組合ニ請負ハシムル必要アルトキ

九　執行中ニ係ル工事ニ附隨シタル追加工事ヲ爲ストキ

十　競爭ニ付スルモ入札者ナキトキ若ハ再度ノ競爭ニ付スルモ尙豫定價格ノ制限ニ達セサルトキ但シ當初定メタル豫定價格其ノ他ノ條件ヲ變更スルコトヲ得ス

十一　性質上競爭ニ付シ難キモノナルトキ

十二　無制限ノ競爭ニ付スルヲ不利トスルトキ

第二十五條　競爭ハ總テ入札ノ方法ヲ以テ之ヲ行フヘシ

入札ハ郵便ヲ以テ爲サシムルコトヲ得

競爭ニ付セムトスルトキハ其ノ期日ヨリ少クモ七日前ニ縣報又ハ新聞紙其ノ他ノ方法ニ依リ公告スヘシ但シ至急ヲ要スルトキハ之ヲ短縮スルコトヲ得

第二十六條　前條ノ公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　競爭ニ付スル事項

二　契約書案ヲ示ス場所及其ノ契約ヲ担任スル官吏ノ官職氏名

三　競爭執行ノ日時場所及郵便到達ノ日時場所

四　入札保證金額

五　其ノ他ノ必要ナル事項

第二十七條　競爭ニ加ハラムトスル者ハ其ノ業務ニ二年以來從事スルコトヲ證明スヘシ但シ商事會社ニシテ競爭ノ日ヨリ一ケ年以前ノ設立ニ係ルコトヲ證明シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

物件又ハ工事ノ性質上其ノ他必要アルトキハ特ニ其ノ競爭者ノ資格ヲ定メ若ハ保證人ヲ立テシムルコトアルヘシ

第二十八條　競爭ニ加ハラムトスル者ニ對シテハ契約書案及左ノ事項ヲ記載シタル入札心得書ヲ示スヘシ

一　競爭者ノ資格

二　保證人ノ資格及責任

三　其ノ他必要ナル事項

第二十九條　競爭ニ加ハラムトシ若ハ落札ノ告知ヲ受ケ契約書ヲ提出セムトスル者ハ現金、國債證券、勸業債券、興業債券、農工債券又ハ本縣ノ發行ニ係ル債券ヲ以テ保證金ヲ納ムヘシ但シ記名ノ證券及債券ニハ質權設定證書ヲ添付スヘシ

國債證券ノ價格ハ時價十分ノ九勸業債券、興業債券及農工債券ノ價格ハ時價十分ノ八半トス

第三十條　前條保證金額ハ左ノ標準ニ依ル

一　競爭ニ加ハラムトスル者ハ其ノ事項ノ見積金額百分ノ五以上

二　契約書ヲ提出セムトスル者ハ其ノ事項ノ金額百分ノ十以上

公債證券賣買ニ關スル保證金額ハ競爭ニ在テハ見積金額、契約ニ在テハ其ノ金額ノ貳百分ノ一以上トス

第三十一條　左ノ各號ノ一ニ該當スト認メラレタルモノハ爾後二ケ年間物件ノ賣買貸借修理又ハ請負ノ競爭ニ加ハルコトヲ得ス其ノ之ヲ代理人支配人番頭又ハ手代トシテ使用シタル者亦同シ

一　物件ノ供給若ハ修理ノ契約又ハ工事其ノ他ノ請負ヲ履行スルニ當リ故意ニ物件又ハ仕事ヲ粗雜ニシタル者

二　競爭ニ際シ漫ニ價格ヲ競上ケ若ハ競下クル目的ヲ以テ連合ヲ爲シタル者

三　競爭ニ關シ金錢其ノ他利益ヲ分配シ若ハ分配セムトシタル者及其ノ分配ヲ受ケ若ハ受ケムトシタル者竝ニ分配セシメ若ハ分配セシメントシタル者

四　競爭ノ加入ヲ妨害シ若ハ落札者ノ契約履行ヲ妨害シタル者

五　物件ノ檢查若ハ仕事ノ監督ニ際シ掛員ノ職務執行ヲ妨ケタル者

六　落札ノ告知ヲ受ケ指定ノ期間內ニ契約書ヲ提出セス又ハ契約書ヲ提出スルモ其ノ履行ヲ爲ササル者

七　前各號ニ該當スト認メラレタル後二ケ年ヲ經過セル者ヲ物件ノ賣買貸借修理又ハ請負ニ際シ代理人支配人番頭又ハ手代トシテ使用スル者

第三十二條　前條ニ該當シタル者ヲ入札代理人トシテ使用スル者ハ競爭ニ加ハルコトヲ得ス

第三十三條　物件ノ賣買貸借修理又ハ請負ヲ競爭ニ付シタルトキハ其ノ豫定價格ヲ封書トシ開札ノトキ之ヲ開札ノ場所ニ置クヘシ

第三十四條　開札ハ入札人ノ面前ニ於テ之ヲ行フヘシ但シ入札入ニシテ開札場所ニ出席スル者ナキトキ入札ニ關係ナキ官吏吏員ヲシテ立會ハシムヘシ

入札人ハ一旦提出シタル入札書ノ引替變更又ハ取消ヲ爲スコトヲ得ス

第三十五條　左ニ揭クル入札ハ無效トス

一　競爭加入ノ資格ナキモノノ爲シタルモノ

二　共謀結托シタリト認ムルモノノ爲シタルモノ

三　入札資格ノ證明セサルモノノ爲シタルモノ

四　金額其ノ他必要事項ヲ確認シ難キモノ

五　金額其ノ他必要事項ノ記載ヲ誤リタリト明カニ認ムヘキモノ

六　指定期限後ニ爲シタルモノ

七　入札保證金ヲ納メス又ハ其ノ不足ナルモノノ爲シタルモノ

八　自己ノ爲ニスルト他人代理人トシテ爲ストヲ問ハス貳通以上ヲ差出シタル者ノ爲シタルモノ

第三十六條　開札ノ上各人ノ入札總テ豫定價格ノ制限ニ達セサルトキハ其ノ競爭ノ場所ニ於テ直ニ再度ノ入札ヲ行フヘシ

第三十七條　落札トナルヘキ同價ノ入札ヲ爲シタル者數名アルトキハ直ニ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ムヘシ

第三十八條　落札人落札ノ告知ヲ受ケタルトキハ指定ノ期間內ニ契約書ヲ提出スヘシ

落札人指定ノ期間內ニ契約書ヲ提出セサルトキハ其ノ落札ヲ無效トシ入札保證金ハ縣ノ所得トス

第三十九條　前條第二項ノ場合ニ於テハ更ニ競爭ニ付スヘシ但シ前ノ落札者ハ其ノ競爭ニ加ハルコトヲ得ス

第四十條　契約書ニハ其ノ契約セムトスル事項ノ設計仕譯、受渡期限、保證金額、契約違背ノトキ保證金ニ對スル處分、其ノ他必要ナル條件ヲ揭記スヘシ

第四十一條　隨意契約ニ依ル契約書、保證人及契約保證金ニ關シテハ第二十七條第二十九條第三十條第三十八條及第四十條ノ規定ヲ準用ス但シ第二十四條第四號及第五號ニ依ル場合ハ第二十七條第二十九條及第三十八條ノ規定ニ準據セサルコトヲ得

附　則

第四十二條　本令ハ明治四十三年度所屬ノ會計ヨリ之ヲ施行ス

第四十三條　明治三十三年千葉縣令第二十二號同三十四年千葉縣令第七十三號同三十六年千葉縣令第四十五號ハ之ヲ廢止ス

千葉縣會計規則施行細則

（明治四十三年五月訓令甲第二七號、明治四十五年二月訓令甲第三號同年六月同第二八號、大正七年三月訓令第二號、十年一月同第一二號、十二年六月同第一一號、十五年六月同第三號、昭和二年三月同第八號改正）

第一章　收入

第一條　縣出納吏ニ於テ領收シタル收入現金ハ縣金庫所在地ニ在テハ三日以內其ノ他ハ十五日以內ニ所屬縣金庫ニ拂込ムヘシ

第二條　各廨又ハ市役所町村役場ニ於テ其ノ出納期限ヲ過キ歲入過誤納金ノ拂戻ヲ要スルモノアルトキハ拂戻ヲ受クヘキ者ノ請求書ヲ添ヘ當該廨長又ハ市町村長ヨリ其科目金額及其事由ヲ知事ニ申報スヘシ

第三條　歲入金ヲ縣金庫ニ拂込ミタル後歲入ヲ徵收及收入スル官吏吏員職員若ハ縣出納吏ニ於テ納額告知書納付書又ハ拂込書ニ記載シタル年度及會計ノ名稱ニ誤記アルコトヲ發見シタルトキハ當該縣金庫ニ對シ訂正書ヲ送付スヘシ但シ市町村ノ拂込ニ係ルモノ

ハ市町村長ニ於テ本條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二章　支出

第四條　知事官房及內務部學務部警察部ノ各課ニ於テハ其ノ主管ニ屬スル各年度ノ定額豫算ニ基キ本廳及各廨ニ於テ支出スヘキ經費ヲ定メ各廨ニ屬スルモノハ之ヲ令達シ總テ其ノ決裁書ヲ內務部會計課ニ回付スヘシ

內務部會計課ニ於テ前項ノ決裁書ヲ受ケタルトキハ仕拂命令者毎ニ仕拂豫算額ヲ一般會計ト各特別會計トニ區分シ縣金庫ニ令達スヘシ

第五條　知事官房及內務部學務部警察部ノ各課ニ於テ豫算金額ノ流用若ハ豫備費充用ノ決定アルタルトキハ其ノ決裁書ヲ內務部會計課ニ回付スヘシ但シ項ノ流用ニ付テハ內務部庶務課ヨリ縣參事會議決書ノ寫ヲ回付スヘシ

各廨ニ於テ豫算項目ノ金額ヲ流用セムトスルトキハ其ノ金額及事由ヲ詳記シ知事ノ認可ヲ受クヘシ其ノ豫算令達書ニ於テ特ニ認可ヲ必要トスル各節ノ流用亦同シ

第六條　經費ノ支出ハ俸給給與ノ類ニシテ性質上請求ヲ要セサルモノノ外總テ請求書ヲ徵スヘシ但シ仕拂命令書ヲ交付シ得ヘキモノニ在リテハ無印ノ領收書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第七條　仕拂命令者ハ仕拂命令書ヲ發スル前其ノ經費ハ正當ニシテ必要ナルヤヲ調査シ該經費ノ金額ヲ算定シ又該經費ハ豫算額ニ超過スルコトナキヤ支出科目及所屬年度ヲ誤ルコトナキヤ豫算ヲ以テ定メタル目的ニ違フコトナキヤヲ調査スヘシ

第八條　仕拂命令書ハ會計ノ異ナル毎ニ之ヲ發スヘシ

第九條　資金前渡ハ一ケ月ノ所要額ヲ超ユルコトヲ得ス

第十條　仕拂命令書ヲ債主ニ交付シ又ハ案內仕拂命令書、送金仕拂命令書若ハ集合仕拂命令書ヲ縣金庫ニ送付シタルトキハ無印領收書ヲ徵シアルモノニ付テハ之ヲ證印セシメ其ノ他ハ總テ領收書ヲ徵スヘシ但シ縣金庫ニ送付スルモノニ在リテハ便宜送付簿ヲ以テ授受ヲ證スルコトヲ得

第十一條　仕拂命令ハ債主ニ現金ヲ交付セサル以前ニ於テ集合仕拂命令以外ノ總テノ仕拂命令ニ付テハ其ノ金額ニ集合仕拂命令ニ付テハ其ノ各債主ニ對スル仕拂額ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ直ニ債主及縣金庫ヲシテ仕拂命令書及仕拂通知書ヲ還付セシムヘシ

集合仕拂命令ニシテ其ノ一部ノ債主ニ對スル仕拂額ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ部分ニ對シ定額ニ戻入スヘキコトヲ縣金庫ヘ請求スヘシ此ノ場合ニ於テハ正當ニ交付スヘキ金額ニ對スル仕拂通知書ヲ調製シ之ヲ債主ニ交付スヘシ

縣金庫ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ直ニ請求書ニ指定シタル會計ニ戻入ノ手續ヲ爲シ其ノ旨請求者ニ通知スヘシ

第十二條　縣金庫ニ於テ仕拂命令書若ハ仕拂通知書ノ亡失届ヲ受ケ既ニ仕拂濟ナルトキハ届書ヲ返付シ仕拂以前ナルトキハ案內仕拂命令書送金仕拂命令書又ハ金額氏名表ニ仕拂故障アルコトヲ付箋シ届書ニハ仕拂前ナル旨ヲ記載シ之ヲ仕拂命令者ニ送付スヘシ仕拂命令者ニ於テ前項届書ノ送付ヲ受ケ正當ナリト認ムルトキハ其ノ届書ニ年度會計ノ名稱科目及仕拂命令ノ番號ヲ記入シ署名捺印シテ之ヲ縣金庫ニ還付スヘシ

縣金庫ニ於テ前項ノ届書ノ還付ヲ受ケタルトキハ債主ニ現金ヲ交付シ領收證書ヲ徵スヘシ

第十三條　繰替拂ヲ爲サムトスルトキハ所屬經費中ニ繰替拂ノ項目ヲ設ケ支出ノ手續ヲ爲スヘシ

第十四條　縣金庫ニ於テ現金ヲ仕拂ヒタル後仕拂命令者ニ於テ仕拂命令書又ハ仕拂通知書ニ記載シタル年度及會計ノ名稱ニ誤記アルコトヲ發見シタルトキハ第三條ノ例ニ依ルヘシ

第十五條　會計規則第十九條ニ依リ無效ニ屬シタル仕拂命令書若ハ仕拂通知書ノ返付ヲ受ケタルトキハ其ノ金額ヲ仕拂命令濟額ヨリ控除スヘシ

第十六條　各廨ニ於テ其ノ出納期限ヲ過キ支出ヲ要スルモノアルトキハ債主ノ請求書ヲ添ヘ當該廨長ヨリ其ノ科目金額及事由ヲ知事ニ申報スヘシ

第三章　縣出納吏及現金保管

第十七條　縣出納吏ハ特ニ命スル者ヲ除クノ外左ニ揭クル者ヲ以テ之ニ充ツ

一　內務部會計課長

二　各廨會計主任上席者

第十八條　各廨長ハ縣出納吏ノ官職氏名及就職解職年

月日ヲ其ノ郡度知事ニ報告スヘシ

第十九條　資金前渡ヲ受ケタル者ハ其ノ現金ノ保管ヲ縣金庫ニ委託スルコトヲ得

前項ノ委託ヲ爲サムトスルトキハ保管拂込書ニ現金ヲ添ヘ之ヲ拂込ムヘシ

保管金ノ引出ヲ要スルトキハ縣金庫ニ對シ引出切符ヲ發スヘシ但引出切符ヲ以テ仕拂命令發行ノ例ニ依リ仕拂ヲ爲スコトヲ得

第四章　物件ノ賣買貸借修理及請負

第二十條　各廨ニ於テ會計規則第二十四條第十一號又ハ第十二號ニ依リ隨意契約ヲ爲サムトスルトキハ豫メ其ノ事由ヲ具シ知事ノ設可ヲ受クヘシ

第二十一條　入札保證金ハ落札人ニ對シテハ契約保證金ト引換ヘ其ノ他ノ入札人ニハ落札決定後直ニ之ヲ還付スヘシ

第二十二條　工事ハ竣工ノ後其ノ工事ヲ監督シタル官吏吏員若ハ職員ヲシテ之カ調書ヲ作ラシムヘシ但シ百圓未滿ノ工事ハ此ノ限ニ在ラス

契約ニ依リ物件ノ既納部分若ハ工事其ノ他仕事ノ既濟部分ニ對シ完濟前ニ代價ノ一部分ヲ仕拂ハムトスルトキハ檢查ノ官吏吏員ヲシテ事實ヲ調查シ其ノ調書ヲ作ラシムヘシ

仕拂命令者ハ前各項ノ調查ニ據ルニアラサレハ仕拂命令ヲ發スルコトヲ得ス

第二十三條　前條第二項ノ仕拂ヲ爲サムトスルトキハ工事其ノ他仕事ニ於テハ其ノ既濟部分ニ對スル代價ノ十分ノ九物件ニ付テハ其ノ既納部分ニ對スル代價ヲ超ユヘカラス但シ箇々ニ分立シ得ヘキ性質ノ工事其ノ他仕事ニ於ケル各箇ノ完濟部分ニ對シテハ其ノ代價ノ金額マテヲ仕拂フコトヲ得

第二十四條　會計規則第三十一條ニ該當スル者アルトキハ其ノ住所氏名ヲ縣廳及各廨相互ニ通報スヘシ

第二十五條　會計規則第二十四條第十二號ニ依リ隨意契約ヲ爲サムトシ若ハ同第四十一條但書ニ依リ契約書ヲ省略セムトスルトキハ見積書ヲ徵スヘシ但シ同第二十四條第十二號ニ依リタルトキハ已ヲ得サル事由アル塲合ノ外三名以上ヨリ之ヲ徵スヘシ

左記各號ニ該當スルモノニ關シテハ必要アル塲合ノ外見積書ヲ徵セサルコトヲ得

一　季節アル生產物又ハ腐敗ノ虞アル物品ニシテ見

積書ヲ徵スルノ暇ナキトキ

二　官報法令全書其ノ他ノモノニシテ價格確定シ見積書ヲ徵スルコトヲ得又ハ徵スルノ必要ナキトキ

三　契約事項ノ金額物件ノ賣買ニ在テハ拾圓請負ニ在テハ百圓ヲ超エサルトキ

第五章　決算

第二十六條　各廨長及市町村長ハ每年度出納事務完整後十五日以內ニ歲入歲出決算書ヲ調製シ之ヲ知事ニ提出スヘシ

第六章　證明及證憑書類

第二十七條　各廨長及市町村長ハ其ノ徵收シタル收入ヲ證明スル爲每月收入計算書ヲ調製シ縣金庫月計對照表ヲ添ヘ翌月十日迄ニ之ヲ知事ニ提出スヘシ

第二十八條　各廨長ハ其ノ支出ヲ證明スル爲每月支出計算書ヲ調製シ縣金庫月計對照表及證憑書類ヲ添ヘ翌月十日迄ニ之ヲ知事ニ提出スヘシ

第二十九條　資金前渡ヲ受ケタル者ハ其ノ支拂ヲ證明スル爲仕拂計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月五日迄ニ之ヲ所屬仕拂命令者ニ送付スヘシ

前項ノ資金前渡ヲ受ケタル者死亡其ノ他ノ事故ニ依リ自身ニ計算書ヲ調製スルコト能ハサルトキハ當該廨長ノ命シタル官吏吏員又ハ職員ニ於テ之ヲ調製スヘシ

仕拂命令者ニ於テ前二項ノ計算書ヲ受ケタルトキハ之ヲ審查シ其ノ月十日迄ニ知事ニ提出スヘシ

第三十條　概算拂ヲ爲シタル者ニ關シテハ事後速ニ精算證書ヲ提出セシメ證憑アルモノハ之ヲ添付セシムヘシ

第三十一條　左ノ事項ハ收入計算書ノ備考欄ニ記載スヘシ

但シ事ノ複雜ニ涉ルモノハ說明書ヲ添付スヘシ

一　年度科目ノ更正若ハ過誤納金ノ拂戾シヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　市町村ニ於テ亡失金ノ責任免除ヲ受ケタルモノアルトキハ其金額事由

三　缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其金額事由

第三十二條　左ノ事項ハ支出計算書又ハ仕拂計算書ノ備考欄ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ニ涉ルモノハ說明書ヲ添付スヘシ

一　年度科目ノ更正若ハ定額ニ戾入シタルモノアル

トキハ其ノ金額事由

二　計算ノ基ク所ヲ示ササレハ明瞭ナラサルモノ其ノ他特別ノ事由アルモノハ其金額事由

第三十三條　支出又ハ仕拂ノ證憑トシテ提出スヘキモノハ債主ノ領收證書請求書契約書其ノ他支出ノ所由並ニ計算ノ基ク所ヲ證明スヘキ書類トス但シ事ノ複雜ニ渉ルモノニ關シテハ明細書若ハ說明書又ハ臨時ニ係ル特殊ノ事項ニ關シテハ命令書認可書若ハ決議書等ヲ添付スヘシ

第三十四條　證憑書ハ原本ニ限ル若シ原本ヲ提出シ難キ場合ニ在テハ當該官吏、吏員、職員ノ證明シタル謄本ニ其事由ヲ付シ之ヲ提出スヘシ

外國語ヲ以テ記載シタル證憑書ハ其ノ譯文ヲ付スヘシ

第三十五條　俸給其ノ他一定ノ給與ニシテ其ノ給額ニ異動ヲ生シ若ハ規定ノ期限ニ依ラサルモノアルトキハ其ノ事由ヲ證憑書ニ附記スヘシ

退官、退職、死亡等ノ賜金若ハ給與金ノ證憑書ニハ其ノ發令ノ年月日ヲ附記スヘシ

退隱料、給助金、扶助料等ノ繼續支給ニ係ルモノハ其ノ年額及受領者ノ舊官職名ヲ示シ又遺族ノ受領ニ係ルモノハ其ノ權利ノ起因ヲ證憑書ニ附記スヘシ

第三十六條　旅費ノ領收證書若ハ精算證書ニハ其ノ用務及旅行ノ日數年月日里程宿泊場所ヲ詳記シタル明細書ヲ添付スヘシ但シ領收證書又ハ精算證書ニ附記シテ明細書ヲ省クコトヲ得

旅行中于路ヲ經過セシモノ又ハ病氣滯在其ノ他ノ事故ニ由リ特ニ日數ヲ要シタルモノ若ハ旅費ノ實費拂又ハ割增ヲ爲シタルモノアルトキハ當該上官ノ認許書ヲ提出スヘシ

第三十七條　隨意契約ニ依リタル千圓以上ノ物件ノ賣買貸借修理又ハ二千圓以上ノ工事其ノ他ノ請負ニ關スル證憑書ニハ競爭ニ依ラサリシ理由ヲ詳記シタル決議書若ハ說明書ヲ添付スヘシ

第三十八條　千圓以上ノ物件ノ賣買貸借、修理又ハ二千圓以上ノ工事其ノ他ノ請負ニ關スル契約ニシテ其ノ締結後變更、解除又ハ違約處分ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ事實ニ關スル說明書ヲ證憑書ニ添付スヘシ

第三十九條　工事其ノ他ノ請負ニ關スル證憑書ニハ第二十二條第一項ノ調書ヲ添付スヘシ

物件ノ既納部分若ハ工事其ノ他仕事ノ既濟部分ニ對シ代價ノ一部分ヲ仕拂ヒタル證憑書ニハ第二十二條第二項ノ調書ヲ添付スヘシ

第四十條　物件ノ購買借入ニ關スル證憑書ニハ其品目數量ヲ明示シ該物件所要ノ目的ヲ附記スヘシ

第四十一條　止ムヲ得サル事故ニ依リ債主ノ領收證書ヲ徵シ難キ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ記載セル主任官吏吏員若ハ職員ノ證明書ニ其ノ廨長ノ認定ヲ受ケ之ヲ證明スヘシ

第四十二條　證憑書類ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ編綴スヘシ

一　送金仕拂命令書及集合仕拂命令書ニ對スル債主ノ領收書ハ請求書若ハ仕譯書ニ貼付シ仕拂命令書ニ對スル領收書ト共ニ款每ニ別冊トシ其ノ表紙ニ年度年月及枚數ヲ記入シ目每ニ白紙ヲ挿入シテ其ノ金額枚數ヲ記入スヘシ但シ概算拂資金前渡又ハ定額ニ戻入ヲ爲シタルモノ若ハ領收證書ノ到達セサルモノアルトキハ其ノ金額ヲ附記スヘシ

二　一ノ領收證書ニシテ數目ニ渉ルモノハ其ノ證書ニ當該目ヲ朱記シテ之ヲ最多額ノ一方ニ編入シ他ノ各目ニハ其ノ旨ヲ記入スヘシ

三　概算拂ニ對スル精算書又ハ未到達ニ係ル領收證書ノ到達シタルモノハ之ヲ別冊ニ編綴シ仕拂ノ月ヲ以テ區分スヘシ

四　前各號ニ該當セル證憑書ハ款每ニ一冊トシ領收證書編綴ノ順序ニ依リ區分シ枚數ヲ表記スヘシ

第七章　帳簿

第四十三條　內務部會計課ニ於テハ左ノ帳簿ヲ備ヘ歲入歲出及資產ニ關スル出納ヲ記載スヘシ但シ便宜補助簿ヲ設クルコトヲ得

一　歲入簿
二　歲出簿
三　稅外歲入徵收簿
四　特別會計歲入簿
五　特別會計歲出簿
六　資金前渡整理簿
七　概算拂整理簿
八　繰替拂整理簿
九　資產簿

第四十四條　知事官房及內務部學務部警察部ノ各課ニ於テハ豫算整理簿ヲ備ヘ常ニ豫算ノ現在額ヲ明瞭ナラシムヘシ

第四十五條　各廨又ハ市役所町村役場ニ於テハ左ノ帳簿ヲ備ヘ主管ノ歳入歳出ニ關スル出納ヲ記載スヘシ但シ便宜補助簿ヲ設クルコトヲ得

一　稅外歳入徵收簿
二　歳出簿
三　特別會計歳入簿
四　特別會計歳出簿
五　資金前渡整理簿
六　概算拂整理簿
七　繰替拂出整理簿

第四十六條　縣出納吏及資金前渡ヲ受ケタル者ハ現金出納簿ヲ備ヘ現金ノ出納ヲ記載スヘシ

第八章　事務引繼

第四十七條　收支命令者交替シタルトキハ帳簿證憑書其ノ他書類ノ目錄及收支計算書各貳通ヲ作リ前任者後任者連署シ各壹通ヲ所持スヘシ

第四十八條　縣出納吏及資金前渡ヲ受ケタル者ハ現金ヲ在高計算書各貳通ヲ作リ前任者後任者連署シ各壹通ヲ所持スヘシ

第四十九條　收支命令者縣出納吏及資金前渡ヲ受ケタル者死亡其ノ他ノ事故ニ依リ自身ノ事務ノ引繼ヲ爲ス能ハサルトキハ特ニ命シタル官吏吏員又ハ職員ヲシテ之ヲ處理セシム

第五十條　收支命令者縣出納吏及資金前渡ヲ受ケタル者事務ノ授受ヲ了シタルトキハ其ノ年月日ヲ記入シタル屆書ニ前任者後任者連署シ之ヲ知事ニ提出スヘシ

第九章　雜則

第五十一條　出納ニ關係アル官吏吏員及職員ノ印鑑ハ照較ノ用ニ供スル爲縣金庫ニ送付スヘシ

附　則

第五十二條　本則ハ明治四十三年度所屬ノ會計ヨリ之ヲ施行ス

第五十三條　明治三十三年四月千葉縣訓令甲第四十號ハ之ヲ廢止ス

千葉縣雜部金出納規則

（明治三十三年四月縣令第二四號）
（明治三十八年三月縣令第二八號改正）

第一條　縣經濟中雜部金ト稱スルモノ左ノ如シ

一　寄託金
二　資本金
三　各種保證金

第二條　雜部金（入札保證金ヲ除ク）ヲ納付セントスルモノアルトキハ金額事由ヲ記載シタル納付書ヲ縣出納吏ニ提出スヘシ

縣出納吏前項ノ納付書ヲ受ケタルトキハ調定ノ上寄託通知書ヲ發シ納入ヲシテ縣金庫ニ寄託セシムヘシ

納入ニ於テ第一項ノ手續ヲ爲シ能ハサルモノ又ハ他所ヨリ廻送ニ係ハルモノ及其ノ他有價證券ハ縣出納吏ニ於テ領收シ其保管證書ヲ納入ニ交付シ現金ハ翌日限リ縣金庫ニ拂込ミ有價證券ハ自ラ保管スヘシ但縣金庫所在地外ニ在テハ縣出納吏ニ於テ現金ヲ保管スヘシ

第三條　入札保證金ハ納入ヨリ現金ヲ縣金庫ニ寄託シテ保管證書ヲ受領シ其ノ保管證書又ハ有價證券ニ納付書ヲ添ヘ當該官吏吏員ニ提出スヘシ當該官吏吏員ハ納付書ニ領收ノ證印ヲ捺シ納入ニ交付スヘシ

納入ニ於テ縣金庫ノ保管證書又ハ有價證券ノ還付ヲ請求セムトスルトキハ領收ノ證印アル納付書ヲ提出スヘシ

落札人ノ入札保證物ハ當該官吏吏員ヨリ縣出納吏ノ保管ニ移スヘシ但該保證物ハ納入ノ請求ニ依リ契約保證物ニ轉用スルコトヲ得

第四條　第二條第二項及第三項ニ依リ縣金庫ニ寄託シタル現金ノ拂戻ヲ要スルトキハ引出切符ヲ發スヘシ

第五條　第二條第三項ニ依リ縣出納吏ハ其ノ保管ニ係ル現金又ハ有價證券ヲ納入ニ交付スルトキハ其ノ領收證書ヲ徵スヘシ

第六條　縣出納吏ハ雜部金整理簿ヲ備ヘ其ノ出納ヲ記載スヘシ但シ第三條第四項ニ係ルモノハ其ノ記載ヲ省略スルコトヲ得

第七條　縣出納吏ハ每月雜部金受拂報告書ヲ調製シ翌月五日限リ知事ニ提出スヘシ

第八條　本規則ニ揭クルモノノ外收支ノ手續ニハ千葉縣會計規則ヲ準用ス

第九條　本規則ハ明治三十三年四月二十日ヨリ施行ス本規則ニ抵觸スル從前ノ令達ハ本規則施行ノ日ヨリ總テ廢止ス

千葉縣物品會計規則

（明治四十三年三月訓令甲第十三號大正二年四月訓令甲第一九號同年九月同第四八號同十五年六月同第三五號改正）

第一章　總則

第一條　縣經濟ニ屬スル物品ノ出納及保管ハ特別ノ規定アル場合ノ外本規則ニ據ル

第二條　本規則ニ於テ各廨ト稱スルハ縣經濟ニ屬スル官公署縣立ノ學校、病院、鐵道管理所及之ニ準スヘキモノヲ謂フ

第三條　物品ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第四條　物品ノ會計ハ現ニ其ノ出納ヲ執行シタル日ヲ以テ年度ノ所屬ヲ區分スヘシ

第五條　物品ヲ保管シ之カ出納ヲ掌ルモノヲ物品出納吏トス

第六條　物品出納吏ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ニ充ツ

一、內務部會計課主席屬

二、各廨調度主任

三、工區主幹

四、前各號ノ外特ニ命シタルモノ

各廨長ハ物品出納吏ノ就職解職年月日及官職氏名ヲ其ノ都度知事ニ報告スヘシ

第七條　知事官房及內務部學務部警察部各課ニ物品取扱主任ヲ置キ左ノ事項ヲ取扱ハシムヘシ

一、共用物品ノ請求保管及返納

二、專用物品ノ使用幷保管ニ關スル監督

知事官房主事及內務部學務部警察部各課長ハ物品取扱主任ヲ選定シ其ノ官職氏名ヲ所屬物品出納吏ニ通告スヘシ其ノ異動アルトキ亦同シ

各廨及工區事務所ノ共用物品ハ物品出納吏ニ於テ直接之ヲ取扱フヘシ

第八條　備品ハ每品廳廨名ヲ烙記シ番號ヲ付ヘシ但シ本條ニ依リ難キモノハ適宜ノ方法ヲ用ユヘシ

第二章　出納

第九條　物品ノ出納ハ消耗、賣却、亡失、毀損、生產ノ爲メノ消費其ノ他物品出納吏ノ保管ヲ離ルヽヲ出トシ購入生產其ノ他其ノ保管ニ屬スルヲ納トシ經費ノ所屬ニ依リ區分整理スヘシ

第十條　物品ノ交付ヲ受ケントスルモノハ交付簿ニ品目數量及使用ノ目的ヲ記入シテ物品出納吏ニ請求シ其ノ交付ヲ受ケタルトキハ交付簿ニ證印スヘシ但シ各廨ニ於テハ出納簿ヲ以テ交付簿ニ兼用スルコトヲ得

物品取扱主任ノ設ケアル箇所ニ於ケル物品ノ請求及交付ハ該主任ヲ經由スヘシ

第十一條　遠隔ノ地ニ在ルモノニシテ前條ノ手續ヲ爲シ難キトキハ品目數量及使用ノ目的ヲ記入シタル請求書ヲ作リ物品出納吏ニ送付シ物品ノ交付ヲ受ケタルトキハ直ニ受領證書ヲ送付スヘシ

第十二條　物品出納吏ニ於テ物品ノ請求ヲ受ケ不適當ト認ムルモノアルトキハ縣廳ニ在リテハ課長ヲ經テ部長ニ各廨ニ在テハ其ノ廨長ニ申告スヘシ

第十三條　郵便切手薪炭油及各材料品其ノ他日々支消スル物品ハ一ケ月間ヲ限度トシ其ノ需用高ヲ一時ニ交付スルコトヲ得

第十四條　物品ノ保管轉換ハ物品出納吏相互ニ授受スヘシ

第十五條　物品ノ交付ヲ受ケタルモノ其ノ物品不用ニ歸シタル時ハ交付簿ニ記入シ若ハ返納書ヲ添ヘ物品出納吏ニ返付スヘシ

第三章　保管責任

第十六條　貯藏ノ物品ハ品目數量ヲ明瞭ニシテ倉庫又ハ鎖鑰アル場所ニ藏置スヘシ

第十七條　物品出納吏ハ既ニ使用ニ供シタル物品ト雖取締上ニ關シテ總テ監督ノ責任アルモノトス

第十八條　物品出納吏其ノ管掌ニ屬スル物品ヲ亡失毀損シタルトキハ品目數量價格及亡失毀損ノ事由ヲ詳記シ縣廳ニ在テハ會計課長ヲ經テ所屬部長ニ各廨ニ在テハ其ノ廨長ニ提出スヘシ但シ使用ニ供シタル物品ハ直接保管ノ責任者ヨリ本項ノ書面ヲ徵シ故意怠慢ノ有無及監督ノ事實ヲ詳具スヘシ

內務部長又ハ各廨長前項ノ書面ヲ受ケタルトキハ事實ヲ審査シテ意見ヲ付シ之ヲ知事ニ提出スヘシ

第四章　交替及檢查

第十九條　物品出納吏又ハ物品取扱主任交替シタル時ハ帳簿及證憑書類ニ依リ現品授受ノ手續ヲナスヘシ

第二十條　物品出納吏又ハ物品取扱主任死亡其ノ他ノ事故ニ依リ自ラ引續ヲナス能ハサルトキハ所屬部廨長ハ他ノ官吏々員又ハ職員ニ命シ前條ノ手續ヲナサ

シムヘシ

第二十一條　知事ハ毎年一回若クハ物品出納吏交替ノ際檢查員ヲ命シ帳簿ト現在品ノ照合ヲナサシム檢查員ニ於テ檢查ヲ了シタル時ハ帳簿表紙ノ裏面ニ何年何月何日迄ノ出納檢查濟ナルコトヲ記載署名捺印シ其ノ結果ヲ知事ニ報告スヘシ

第二十二條　物品出納吏ハ毎月一回以上共用品ノ使用適否ヲ檢查シ不適當ト認メタルモノアルトキハ相當ノ措置ヲナスヘシ

第五章　帳簿

第二十三條　物品出納吏ハ左ノ帳簿ヲ設ケ其ノ出納ヲ登記スヘシ

一、備品出納簿
二、消耗品出納簿
三、材料品出納簿
四、製造品出納簿
五、收獲物出納簿
六、漁獲物出納簿
七、動物出納簿

第二十四條　物品取扱主任及直接共用品ヲ取扱フ物品出納吏ハ共用備品現在簿ヲ設ケ其ノ受拂ヲ登記スヘシ

第二十五條　第十三條ニ依リ交付ヲ受ケタル郵便切手及新薪油ノ使用者ハ受拂簿ヲ設ケ其受拂ヲ登記スヘシ

第二十六條　本規則ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

（別冊）

千葉縣物品會計規則帳簿樣式

備品出納簿樣式

年月日	摘要	品目	單位ノ稱	受數量	拂數量	現在數量 供用	現在數量 在庫

備考

一、本簿ハ歲出科目ノ款毎ニ別冊ト爲スヘシ但シ歲出科目ノ目ニ依リ整理ヲ要スルモノハ各目毎ニ區分スヘシ

二、本簿ハ數年度繼續使用シ妨ケナキモ一年度毎ニ合計ヲ付シ打切ルヘシ

三、摘要欄ニハ買入生產戻入保管轉換賣却亡失棄却等其ノ摘要ヲ記入スヘシ

四、（削除）

五、本簿ハ品名ノ毎ナル毎ニ口座ヲ設クヘシ但シ同一品名ノモノト雖單位ノ稱呼ノ異ニスルモノハ其ノ稱呼ノ異ナル毎ニ口座ヲ設クヘシ

六、同一種類ノ物品ニシテ分別使用ヲ要スルモノハ又ハ圖書ノ類ニシテ部門別ヲ要スルモノハ各別冊トナスモ妨ケナシ

七、本簿ニハ月計及累計ヲ附スヘシ

消耗品（材料品）（製造品）（收獲物）（動物）出納簿樣式

年月日	摘要	品目	單位ノ稱	受數量	拂數量	現在數量

備考

一、備品出納簿樣式備考第一號乃至第三號第五號及第七號ハ本簿ニ適用ス

二、動物出納簿ハ數年度繼續使用シ妨ケナキモ一年度毎ニ合計ヲ附シ打切ルヘシ

備品交付簿樣式

品目	單位ノ稱	物品出納吏印	物品取扱主任印	交付及返納事由	交付及返納年月日	受領人及返納人氏名	受領人及返納人印	交付返納數量	差引納付數量	物品出納簿記入者印

備考

一、本簿ハ歲出科目ノ款毎ニ別冊トナスヘシ但シ目ニ依リ整理ヲ要スルモノハ各目毎ニ區分スヘシ

二、本簿ハ數年度繼續使用スルモ妨ケナシ

三、本簿ハ品目ノ異ナル毎ニ口座ヲ設クヘシ但シ同一品目ノモノト雖單位ノ稱呼ヲ異ニスルモノハ其ノ稱呼ノ異ナル毎ニ口座ヲ設クヘシ

四、同一種類ノ物品ニシテ分別使用ヲ要スルモノ又ハ圖書ノ類ニシテ部門別ヲ要スルモノハ各別冊トナスモ妨ケナシ

五、物品取扱主任共用品ヲ請求スルトキハ物品取扱主任印ノ欄ニハ認印ヲ要セス

六、物品出納吏ニ於テ直接取扱フ共用品ハ本簿ニ記入ヲ要セス

七、本簿ハ日計月計及累計ヲ附スヘシ

消耗品(材料品)(製造品)(生産物)交付簿様式

| 單位ノ稱 | 品目 | | |

一、縱記式備品出納簿備考第一號乃至第三號第五號及第七號ハ本簿ニ適用ス

郵便切手、薪炭油、受拂簿

年月日	摘要	受高	拂高	現在高	單位ノ種	品目

備考

一、本簿ハ毎年度調製シ經費ノ所屬ニ依リ口座ヲ設ケ品目毎ニ區分記入スヘシ

二、摘要欄ハ郵便切手ノ受拂ニ對シ設クヘシ

三、郵便切手ヲ拂出シタルトキハ摘要欄ニ發信先ヲ記入シ尚書留、別配達、普通小包、書留小包、電信、葉書等ノ種類ヲ附記シ拂ノ欄ニハ切手金高ヲ記入スヘシ

縣費支辨給料手當及旅費

支給規則

（大正三年三月縣令第一五號）
（大正十五年六月同第五二號改正）

第一章　總則

第一條　縣費支辨ニ屬スル官吏吏員職員等ノ給料手當及旅費ハ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外本規則ノ定ムル所ニ依リ之ヲ支給ス

第二章　給料及手當

第二條　年給ハ十二分シテ毎月之ヲ支給ス

第三條　給料ハ左ノ定日ニ於テ之ヲ支給ス但シ休暇日ニ當ルトキハ順延トス

一、年給及月給ハ毎月二十一日

二、日給ハ毎月末日十二月ニ在テハ二十七日

轉任、休職、廢職、退職、死亡ノ者及給料支給定日後新任シ若ハ轉任シ來リタル者ノ給料ハ其ノ際之ヲ支給ス

第四條　給料ハ新任及增減給トモ總テ發令ノ翌日ヨリ計算シ轉任ノ場合ハ發令ノ當日迄之ヲ計算ス

第四條ノ二　陸海軍ニ招集セラレ其ノ俸給ヲ受クルトキハ其ノ間縣費ノ俸給若ハ給料ノ支給ヲ停止ス但シ陸海軍ニ於テ受クル俸給ノ額縣費支給ノ額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ差額ヲ補給ス

第四條ノ三　外國ニ出張シタル者ノ縣費ヨリ受クル俸給若ハ給料ハ出發ノ翌月ヨリ歸縣ノ前月迄之カ支給ヲ停止シ其ノ他ノ給與ハ其ノ間之ヲ支給セス

第四條ノ四　有給縣吏員及縣費支辨ノ吏員職員ニシテ許可ヲ受ケ在職ノ儘外國政府ニ聘用セラレタルトキハ其ノ間俸給若ハ給料ノ支給ヲ停止シ其ノ他ノ給與ハ之ヲ支給セス

第五條　休職、廢職、退職及死亡ノトキハ當月分ノ給料全額ヲ支給ス但シ減給者ニ關シテハ減給ノ額ニ依ル

第六條　病氣ノ爲執務セサルコト九十日ヲ超ユル者及私事ノ故障ニ因リ執務セサルコト三十日ヲ超ユル者ハ給料ノ半額ヲ減ス但シ公務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ服忌ヲ受クル者及特ニ休暇ヲ得テ休養スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　傷痍、服忌若ハ特ニ休暇ヲ得タル場合ハ病氣若ハ私事故障ト連續スルモ減給トナルヘキ缺勤日數ニ算入セス又病氣ト私事故障ト連續スル場合ニ於テハ之ヲ通算セス

第八條　轉任者ノ給料ハ前任所後任所ニ依リ打切リ後任所ニ於テハ其ノ月殘日數ニ對スル給料ヲ支給ス前任所ニ於テ給料ニ過渡アルトキハ轉任ノ際之ヲ追徵ス

第九條　給料ノ日割計算ハ其ノ月ノ現日數ニ依ル

第十條　休職、廢職、退職ノ者事務引繼殘務調理ノ爲特ニ命ヲ承ケ公務ニ從事スルトキハ其ノ間尚從前ノ給料ヲ支給ス

第十一條　日給ハ採用ノ日ヨリ出勤日數ニ依リ之ヲ支給ス

第十二條　日給常置ノ者左ニ揭クル日數ハ之ヲ缺勤日數ニ算入セス

一、公暇日

二、服務ノ非番日數

三、父母祭祀ノ爲得タル休暇日

四、父母妻子兄弟姉妹ノ服忌ヲ受ケ除服迄ノ日數及遠慮日數

五、職務ニ起因スル傷痍疾病療養中ノ日數

六、傳染病ノ爲交通遮斷若ハ隔離中ノ日數

七、兵役上ノ身體檢查勤務演習若ハ簡閱點呼ノ爲召集ニ應シタル日數

八、職務上ニ係ル事件ニ付證人參考人又ハ鑑定人トシテ裁判所若ハ警察官署ノ召喚ニ應シタル日數

九、水火災等罹災ノ日ヨリ三日間

第十三條　日給常置ノ者給料支給ニ關シ必要アルトキハ特ニ支給ノ期間ヲ定メ及第三條ノ定日ニ依ラス支給スルコトヲ得

第十四條　第二條乃至第五條及第九條第十條ノ規定ハ囑託員ノ年額若ハ月額手當ノ支給ニ之ヲ準用ス

第三章　旅費

第十五條　旅費ハ普通旅費月額旅費及日額旅費ニ分チ別表ニ定ムル額ヲ支給ス但シ別表中支給額ノ定メナキ鐵道賃船賃ニ關シテハ明治四十三年勅令第二百七十四號第二條第二項及大正九年大藏省令第十六號ニ依リ給料年額ヲ受クル者ハ高等官ニ給料月額ヲ受クル者ハ判任官ニ準シ實際料金ヲ支給ス

他官廳ノ同等以上ノ官職ア ル者ト同行ヲ命セラレタルトキハ縣外旅費額ト同額ヲ支給ス

國費ヨリ俸給手當ヲ受クル官職ニ在ル者ハ其受クル

額又縣費支辨ノ二以上ノ職ヲ兼務スル者若ハ縣費支辨ノ職ト國費支辨ノ職トヲ兼務スル者ノ支給額ハ其ノ給料總額ニ依リ之ヲ定ム

第十六條　囑託員ノ旅費ハ其受クル手當ノ年額又ハ月額ノ區分ニ從ヒ給料ヲ受クル者ノ例ニ依ル囑託員ニシテ無手當ノ者及支給額ノ定メナキ者ノ旅費ハ出張ノ際之ヲ指定ス

第十六條ノ二　赴任ノ場合ニ於テハ移轉料及家族移轉料ヲ支給ス

家族移傳料ハ家族一人毎ニ舊任地又ハ本人ノ居住地ヨリ新任地ニ至ル本人相當ノ鐵道賃船賃車馬賃日當宿泊料食卓料ノ全額ニ該當スル金額トス但シ十二歲未滿ノ家族ニ付テハ其ノ半額トス家族ノ數三人ヲ超過スルトキハ其ノ超過スル者ニ付支給スル家族移轉料ハ前項ノ規定ニ依ル給額ノ半額トス

赴任者赴任後一年內ニ其ノ家族故ナクシテ新任地ニ移轉セサルトキハ家族移轉料ヲ支給セス

第十七條　月額旅費ハ左ニ揭クル者ニ支給ス其ノ支給額ハ別ニ之ヲ指定ス

一、土木工區ニ在勤スル者

二、米穀檢查支所ニ在勤スル者

三、其ノ他知事ニ於テ月額旅費ノ支給ヲ必要ト認ムル者

第十八條　新ニ月額旅費ノ支給ヲ受クヘキ勤務ニ就キタルトキハ其ノ日ヨリ支給シ其ノ勤務ヲ去リタルトキハ前日迄之ヲ支給ス

第十九條　月額旅費ノ支給ヲ受クル者普通旅費ノ支給ヲ受クル時ハ其ノ日數ニ對スル月額旅費ヲ減ス病氣十五日若ハ私事其ノ他ノ事由ニ依ル故障五日ヲ超ユルトキ其ノ超ユル日數ニ付亦同シ

第二十條　前二條ニ依リ日割支給ヲ爲ス場合ニ於ケル計算ハ其ノ月ノ現日數ニ依ル

第二十一條　月額旅費ノ支給ヲ受クル者本廳又ハ本所ト勤務地間ヲ往復シタル場合ハ其ノ間普通旅費ヲ支給ス勤務地內急行巡回ヲ命セラレタルトキ亦同シ

第二十二條　日額旅費ハ左ニ揭クル者ニ支給ス其ノ支給額ハ出張ヲ命スル際之ヲ指定ス

一、測量及土木建築工事等ノ爲現場ニ巡回スル者

二、學術及事務練習ノ爲旅行スル者

三、其他知事若ハ出張ヲ命スル當該官吏職員ニ於テ

日額旅費ノ支給ヲ必要ト認ムル者

第二十三條　日額旅費ノ支給ヲ受クル者在勤廳所在地ト用務地間ヲ旅行シ若ハ用務地ヲ轉換シ又ハ用務地內急行巡回ヲ命セラレタル場合ハ普通旅費ノ鐵道賃車馬賃船賃ヲ支給ス

日額旅費ノ支給ヲ受クル者普通旅費ノ支給ヲ受クル者ト同行ヲ命セラレタルトキ若ハ普通旅費ノ支給ヲ受クヘキ用務ニ服シタル時ハ其ノ日ヨリ普通旅費ヲ支給シ用務終了在勤廳所在地若ハ勤務地ニ歸任ノ日ノ翌日ヨリ日額旅費ヲ支給ス

第二十四條　前各條ノ外旅費支給ニ關シ知事ニ於テ必要ト認ムルトキハ旅費ノ定額ヲ減シ又ハ其ノ全部若ハ一部ヲ支給セサルコトヲ得其ノ他旅費支給ノ方法ニ關シテハ政府ノ內國旅費規則ノ例ニ準據ス

附則

本規則ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本規則施行ノ際現ニ日額旅費ノ支給ヲ受クル者ハ其ノ受クル額ニ相當スル等給ノ額ヲ受クル者トス

第一號

種別	官吏吏員職員 給料年額ヲ受クル者				雇員	傭員
	廨長職務ニ在ル者		其ノ他			
	縣內	縣外	縣內	縣外		
鐵道賃一哩ニ付	五千圓以上	五千圓以上	二千二百圓以上	二千二百圓以上	縣內	縣內
	二千二百圓以上五千圓未滿	二千二百圓以上五千圓未滿	二千二百圓未滿	二千二百圓未滿	縣外	縣外
	二千二百圓未滿	二千二百圓未滿	二千二百圓以上	二千二百圓以上	三錢	三錢
	五千圓以上	五千圓以上	二千二百圓未滿	二千二百圓未滿	錢	錢
	二千二百圓以上五千圓未滿	二千二百圓以上五千圓未滿	二千二百圓以上	二千二百圓以上	一	一
	二千二百圓未滿	二千二百圓未滿	二千二百圓未滿	二千二百圓未滿	五錢	五錢
船賃一海里ニ付	一	一	一	一	五錢	五錢
車馬賃一里ニ付	一圓	六十錢	一圓二十錢	一圓二十錢	四十錢	三十五錢
日當一日ニ付	六十錢	四十錢	七十錢	七十錢	一圓	八十錢
宿泊料一夜ニ付	一圓	六圓	二圓	二圓	二圓五十錢	二圓
食卓料一夜ニ付	三圓五十錢	二圓五十錢	一圓	一圓	一圓	七十錢

第二號　月額及日額旅費

等級	月額	日額
一等	五十圓	六圓
二等	四十五圓	五圓
三等	四十圓	四圓
四等	三十五圓	三圓五十錢
五等	三十圓	三圓
六等	二十八圓	二圓五十錢
七等	二十六圓	二圓
八等	二十四圓	一圓七十錢
九等	二十二圓	一圓四十錢
十等	二十圓	一圓二十錢
十一等	十八圓	一圓
十二等	十六圓	九十錢
十三等	十四圓	八十錢
十四等	十二圓	七十錢
十五等	十圓	六十錢
十六等		五十錢

第三號　移轉料

種別	十里未滿	二十里未滿	二十里以上
官吏員ノ受クル給料年額ヲ以テ受クル者	五千圓以上	百圓	百四十圓	二百圓
	五千圓未滿	五十圓	七十圓	百圓
官吏員ノ受クル給料月額ヲ以テ受クル者及其ノ他		三十圓	五十圓	七十圓
雇員		十圓	二十圓	三十圓
傭員		二十圓	三十圓	五十圓

備考

鐵道ハ八哩水路ハ五海里ヲ以テ陸路一里ニ換算ス

經費節約ノ爲メ半紙罫紙使用ノ件

（明治二十二年三月訓令第四十五號）

經費節約ノ爲メ常用罫紙ハ自今十三行罫紙ヲ使用スヘシ一時限リノ報告等ハ便宜洋紙ノ類ヲ使用スルモ妨ケナシ但現在殘余ノ罫紙ハ其ノ儘使用スヘシ

縣費支辨ノ官吏吏員職員及雇員傭員ノ宿直及徹夜勤務食料

（大正九年三月訓令第一三號大正十二年一月告示第二號大正十五年六月訓令第二二號改正）

縣費支辨ノ官吏吏員職員及雇員傭員ノ宿直及徹夜勤務食料ヲ別表ノ通改正ス

但シ特別ノ事情アルモノハ特ニ其ノ額ヲ指定スルコトアルヘシ

附則

本令ハ大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

（別表）

宿直食料	官吏	一直ニ付	金拾錢	縣廳及各廨（縣立學校舍監ヲ除ク）
	吏員職員及雇員	同	金拾六錢	縣立學校舍監（奏任待遇ヲ除ク）
		同	金貳拾五錢	縣立學校舍監奏任待遇者
	傭員	同	金七錢	縣廳及各廨
徹夜勤務食料	官吏吏員職員及雇員	一夜ニ付	金貳拾錢	縣廳及各廨（警察部、警察署同分署ヲ除ク）
		同	金拾錢	警察部、警察署、同分署
	傭員	一夜ニ付	金拾四錢	縣廳及各廨（警察部、警察署同分署ヲ除ク）
		同	金七錢	警察部、警察署、同分署

測量人夫使用ノ件

（大正十年六月十日第一三九〇號各工區主幹宛　內務部長通牒）

土木費中各種保存工事費及工夫作業用器具器械費木炭費等配付豫算ニ不足ヲ生シ追加配付ヲ申請スル場合ニ於テハ其ノ算出ノ基ク處ノ計算書ヲ添付事實ヲ明瞭ナラシメ調査ノ資料ニ供スヘキハ緊要ナル事ニ有之然ルニ申ニハ漠然追加配付ヲ申請シ來ル向有之調査上支障勘カラズ候條爾後右之場合ハ必ラズ計算ノ基ク處ヲ明カニシ申請セラルヘク此段及通牒候也

配付豫算ノ件

（大正十年七月十日第一五八〇號各工區主幹宛　內務部長通牒）

大正九年六月十日第一五〇一號通牒ニ依リ臨時傭役ノ測量人夫賃一人一日ノ賃金ハ一圓三十錢以下ノ範圍內ニ於テ使役スヘキ筈ニシテ普通ノ場合ニ於テハ其ノ範圍ヲ超越セサル樣處辨スヘキハ勿論ノ義ニ有之候處或ル特別ノ地域（東蒲飾郡、千葉市）若ハ特殊ノ事情ニ原由シ（揷苗、養蠶ノ盛期、其ノ他ノ事由）該賃金ニテハ傭役シ難キ場合ニ限リ特ニ一人一日金壹圓六拾錢以下ノ範圍ニ於テ傭役ノ義決裁相成候條此段及通牒候也

但シ一人一日金壹圓參拾錢以上支給ノ場合ハ人夫點檢簿末尾ニ備考ヲ設ケ其ノ事由ヲ附記スヘシ

測量ニ要スル物品借入ノ件

（大正十年九月十日第二一五一號各工區主幹宛　內務部長通牒）

土木職員及吏員ニシテ出張先ニ於テ測量ニ要スル杭木其ノ他ノ用材料ハ一廉金參拾圓以下ノ範圍內ニ於テ經伺ノ手續キヲ省キ購入ノ義大正七年四月十日第一〇四七號ヲ以テ及通牒置候處河川港灣及橋梁等ノ測量ニ付キ乘船ノ借入ヲ要スル場合モ一廉金參拾圓以下ノ範圍內ニ於テ經伺ノ手續キヲ省キ賃借ノ義決定相成候條若シ其ノ範圍ヲ超越スル場合ニ於テハ其ノ時々事情ヲ具シ承認ヲ受クベキ義ト心得ラルベク此段及通牒候也

收入印紙ノ拂高報告ニ關スル件

（大正十一年十一月十日第二二〇〇號各工區主幹宛　內務部長通牒）

縣費支辨ニ屬スル道路其ノ他土木事業ノ爲買收ニ要スル收入印紙ノ使用ニ關シテハ左記樣式ニ依リ前月分ヲ翌月五日迄ニ報告相成度此段及通牒候也

追テ本件ハ豫算科目ノ分類ニ依リ各別ニ製表相成度爲念右申添候

大正何年何月分收入印紙拂高明細書

何工區主幹㊞

月日	路線名 町村	工事箇所 大字 小字	土地所有者	用途種類	數量 一錢	二錢	五錢	十錢	摘要
計									

備考

一、用途欄ニハ土地臺帳謄本抄本下附又ハ分筆登記若ハ承諾書賣渡證等ニ區別シテ記載スルモノトス

二、本表ハ十六年計畫若クハ十一年計畫等ニ區別シ各別ニ欄外余白ニ其ノ旨記載スルモノトス

宿直賄料ノ請求ニ關スル件

（大正十五年九月十日第二、一九二號各工區主幹宛　內務部長通牒）

工區員ノ宿直賄料ノ支給ハ其ノ月分ヲ翌月ニ於テ支給スヘキ筈ニ有之候處右金額ハ少額ニシテ每月之ヲ支給スルニ於テハ勘カラサル繁雜ト手數トヲ要スルモノナルヲ以テ本件ノ支出ニ限リ一ケ年度ヲ四分シ（一、四、七、十月ニ）前三ケ月分ノ仕出書ヲ作製シ提出相成樣致度此段及通牒候也

雜

土木出張所設置ノ件（昭和四年五月縣告示第一九六號）

名稱	管轄區域	事務所所在地
千葉土木出張所	千葉市、千葉郡	千葉市
八幡土木出張所	市原郡（君津郡長浦村地内府縣道千葉久留里線ヲ含ム）	市原郡八幡町
松戸土木出張所	東葛飾郡	東葛飾郡松戸町
佐倉土木出張所	印旛郡（山武郡千代田村地内府縣道成田八日市場線ヲ含ム）	印旛郡佐倉町
佐原土木出張所	香取郡	香取郡佐原町
八日市場土木出張所	匝瑳郡海上郡	匝瑳郡八日市場町
東金土木出張所	山武郡（山武郡千代田村地内府縣道成田八日市場線ヲ除ク／印旛郡八街町地内府縣道千葉銚子線ヲ含ム）	山武郡東金町
茂原土木出張所	長生郡	長生郡茂原町
大多喜土木出張所	夷隅郡	夷隅郡大多喜町
木更津土木出張所	君津郡（君津郡長浦村地内府縣道千葉久留里線ヲ除ク／君津郡駒山村地内府縣道鴨川保田線ヲ除ク）	君津郡木更津町
北條土木出張所	安房郡（君津郡駒山村地内府縣道鴨川保田線ヲ含ム）	安房郡北條町

工區廢止ノ件（昭和四年五月縣告示第一九七號）

大正三年三月告示第六十六號工區設置ノ件ハ之ヲ廢止ス

月額旅費支給ノ件（昭和四年五月訓令第五號）

從來工區主幹又ハ工區在勤者ニシテ土木出張所規程施行ノ際現ニ其ノ職ニ在ル者ハ別ニ辭令ヲ用キス當該土木出張所長又ハ土木出張所在勤ヲ命セラレ從前ノ通月額旅費ヲ支給セラルヽモノト心得ヘシ

土木出張所規程（昭和四年五月訓令第六號）

第一條　土木出張所ニ於テ取扱フヘキ事務左ノ如シ

一、縣費支辨ニ屬スル土木工事ノ調査設計施行監督及檢査ニ關スル事項

二、縣費支辨ニ屬スル土木工作物ノ管理ニ關スル事項
三、國有土地水面ノ取締ニ關スル事項
四、工夫其ノ他傭入ノ指揮監督ニ關スル事項
五、土木費縣費補助工事ノ調査監督及檢査ニ關スル事項
六、知事ノ許可認可又ハ承認ヲ受ケ施行スル土木工事ノ調査監督及取締ニ關スル事項
七、前各號ノ外特ニ命セラレタル事項

第二條　土木出張所ニ所長及所員ヲ置ク
所長ハ官吏又ハ待遇職員ヲ以テ之ニ充ツ
本廳ニ於テ必要アリト認ムルトキハ土木出張所管內ニ派出所ヲ置クコトヲ得

第三條　所長ハ上司ノ命ヲ受ケ主管事務ヲ掌理シ所員ヲ指揮監督ス
所長事故アルトキハ上席者其事務ヲ代理ス

第四條　所員ハ所長ノ命ヲ承ケ事務又ハ技術ニ從事ス

第五條　所長ハ每月二回以上管內ヲ巡視スヘシ

第六條　所長ハ左記事項ヲ專行ス但シ第二號ニ在リテハ施行前土木課長ノ指揮ヲ受クヘシ

一、配當豫算ノ範圍內ニ於テ一廉百圓未滿ノ保存工事ヲ執行シ又ハ材料ヲ購入シ若ハ職工人夫ノ傭入ヲ爲スコト
二、非常災害ノ場合ニ於テ一廉二百圓未滿ノ應急工事ヲ執行シ又ハ材料ヲ購入シ若ハ職工人夫ノ傭入ヲ爲スコト
三、工事ノ停止又ハ中止ヲ命スルコト但シ其ノ期間五日以上ヲ要スルトキハ其ノ事由ヲ具シ土木課長ノ指揮ヲ受クヘシ
四、砂利敷工事又ハ特ニ檢查員ヲ派遣スル場合ヲ除キ縣費支辨ニ屬スル直營工事ノ竣功額若ハ請負金額二千圓未滿ノ工事ノ竣功檢查又ハ查定工費二千圓未滿ノ縣費補助工事ノ竣功檢查
五、道路工事執行令施行細則第十八條ニ依ル工事用材料ノ檢查ニシテ其ノ價格二千圓未滿ノモノ
六、購入價格二千圓未滿ノ工事用材料ノ檢收
七、工事ノ既成部分又ハ工事用材料ノ既納部分ノ檢查
八、豫定價格五十圓未滿ノ不用品ノ處分
九、配當豫算ノ範圍內ニ於テ一廉五十圓未滿ノ備品ノ購入修繕又ハ消耗品ノ購入
一〇、道路工事執行令施行細則第十九條第二項及第二十條第二項ニ關スル事項
一一、直營工事ニ於ケル設計豫算ノ範圍內ニ於テ職工人夫ノ傭入ヲ爲スコト

第七條　所長ハ前條ニ依リ專行シタルトキハ別ニ報告例アルモノヲ除クノ外直ニ其ノ要領ヲ土木課長ニ報告スヘシ

第八條　所長ハ主管事務ニ付必要アルトキハ所長名又ハ所名ヲ以テ縣內ノ官公署ト文書ノ往復ヲ爲スコトヲ得

第九條　工事施行ノ爲道路ノ交通ヲ禁止又ハ制限スル必要アルトキハ所轄警察署ニ協議シ其ノ手續ヲ爲シ速ニ其ノ要領ヲ土木課長ニ報告スヘシ

第十條　非常災害ノ爲工作物ヲ破壞セラレ又ハ其ノ虞アリト認メタルトキハ所長ハ直ニ應急ノ處置ヲ執リ其ノ概況ヲ土木課長ニ卽報スヘシ

附　則

本令ハ昭和四年五月二十一日ヨリ之ヲ施行ス
大正元年十月千葉縣訓令甲第四十七號工區規程ハ之ヲ廢止ス

土木出張所處務細則（昭和四年五月訓令第七號）

第一章　總　則

第一條　收受及發送文書ハ文書整理簿ニ依リ遂次番號ヲ附シ整理スヘシ

第二條　治水交通其ノ他土木ニ關スル文書ヲ受ケタルトキハ速ニ調查ヲ遂ケ特別ノ事由アルモノヲ除クノ外七日以內ニ之ヲ進達スヘシ

第三條　許可認可其ノ他指令書ヲ受ケタルトキハ工事ノ監督上必要アルモノハ其ノ要領ヲ謄寫シ本書ハ速ニ交付ノ手續ヲ爲スヘシ

第四條　請負金ノ請求書ヲ受ケタルトキハ工事臺帳及豫算整理簿ヲ整理シ豫算整理簿ト割印ノ上請求書餘白ニ科目印ヲ押捺シ進達スヘシ但シ所長專行ニ係ルモノハ關係書類ヲ添附スヘシ
前項工事カ兩年度ニ跨ルトキ又ハ年度內竣功ノ見込ナキトキハ打切工費調書（第十六號樣式）ヲ添附スヘシ

第五條　所長ハ翌年度ニ於テ施行スヘキ工事箇所ヲ調查シ工事箇所表（第十七號樣式）豫算設計書（第十八

號樣式)及雜收入調書(第十九號樣式)ヲ作リ六月末日限リ土木課長ニ提出スヘシ

災害復舊其ノ他緊急施行ノ必要アル工事ニ對シテハ前項ニ準シ速ニ之ヲ提出スヘシ

第六條　縣工事ニシテ當該年度內ニ竣功シ難キモノアルトキハ工事繰越調書(第二十號樣式)ヲ作製シ三月十五日迄ニ提出スヘシ

第七條　豫算ノ配當ヲ受ケタルトキハ工事施行豫定表(第二十一號樣式)ヲ作製シ十日以內ニ土木課長ニ提出スヘシ

第八條　設計書材料調書ノ類ハ請負確定ニ至ル迄秘密ニ之ヲ保管シ本廳ニ進達スル場合ハ封皮ニ設計書又ハ調書在中ト朱記シ土木課長宛親展トスヘシ

第二章　工事ノ施行

第九條　工事施行伺(第二十二號樣式)ニハ實施設計書及圖面ヲ添附シ第七條ノ豫定順序ニ依リ提出スヘシ前項ノ實施設計書(第十八號樣式)ハ設計內規ニ基キ作製シ別ニ金額及職工人夫ノ數ヲ除キタル副本ヲ添附スヘシ但シ工事ハ豫算配當表ニ記載セル番號ヲ以テ整理スヘシ

二、入札保證金又ハ契約保證金ヲ要スルモノハ當該出張所ノ縣出納吏ニ納付セシメ其ノ還付ヲ要スル場合ハ出納吏ヨリ當該金庫ニ通知スヘシ

第十一條　本廳ニ於テ請負契約ヲ締結シタル工事ノ施行通知ヲ受ケタルトキハ其ノ材料ノ檢查又ハ工事ノ監督ハ本廳ヨリ送付ノ設計書又ハ材料調書ニ依ルヘシ

第十二條　直營工事ノ場合ニ於テハ設計書ニ依リ材料

工事施行ニ關シ土地ノ買收使用又ハ物件移轉等ノ必要アルトキハ別ニ定ムル規定ニ依リ之ヲ調查シ其關係書類ヲ添附スヘシ

第十條　所長ニ於テ契約ヲ締結シ又ハ工事施行ノ通知ヲ受ケタルトキハ左ノ各號ニ依リ取扱フヘシ

一、隨意契約ニ依ルモノハ道路工事執行令施行細則第十二條ノ手續ヲ爲シ見積調書(第二十三號樣式)ニ記入シ且ツ其ノ餘白ニ「年　月　日請負下命何土木出張所長」ト朱記シ捺印ノ上一件書類ヲ土木課長ニ提出スヘシ但シ工事ノ監督又ハ材料檢查ノ用ニ供スル爲設計書及材料調書ノ副本ヲ作製シ置クヘシ

第三章　工事ノ監督

第十三條　請負工事ニ在リテハ常ニ進行狀況ニ注意シ其ノ竣功又ハ材料ノ完納カ契約期限ヨリ十日以上遲延スル虞アリト認ムルトキハ之カ處分ニ對スル意見ヲ具シ土木課長ニ報告スヘシ

第十四條　縣費支辨工事及縣費補助工事ノ工程ヲ第二十四號樣式ニ依リ每月調查シ翌月十日迄ニ土木課長ニ報告スヘシ

第十五條　請負工事ノ竣功延期願ヲ受ケタルトキハ監督日誌其ノ他ニ依リ左記事項ヲ調查副申スヘシ

一、天災其ノ他不可抗力ノ種類及被害程度

二、請負人ニ於テ執行セル前號被害防禦施設ノ狀況

三、延期日數ノ當否

四、其ノ他參考トナルヘキ事項

第十六條　道路工事執行令施行細則第二十五條但書ノ願書ヲ受ケタルトキハ前條ノ例ニ依リ其ノ損害ノ程度ヲ知リ得ヘキ設計書ヲ作製シ之カ採否ニ關スル意

購入調書ヲ作リ價格百圓以上ノモノハ速ニ本廳ニ購入方ヲ上申シ價格百圓未滿ノモノハ第十條第一號ノ例ニ依リ見積書ヲ徵シ購入ノ手續ヲ爲スヘシ

第三章　工事ノ監督

第十三條　請負工事ニ在リテハ常ニ進行狀況ニ注意シ其ノ竣功又ハ材料ノ完納カ契約期限ヨリ十日以上遲延スル虞アリト認ムルトキハ之カ處分ニ對スル意見ヲ具シ土木課長ニ報告スヘシ

第十四條　縣費支辨工事及縣費補助工事ノ工程ヲ第二十四號樣式ニ依リ每月調查シ翌月十日迄ニ土木課長ニ報告スヘシ

第十五條　請負工事ノ竣功延期願ヲ受ケタルトキハ監督日誌其ノ他ニ依リ左記事項ヲ調查副申スヘシ

一、天災其ノ他不可抗力ノ種類及被害程度

二、請負人ニ於テ執行セル前號被害防禦施設ノ狀況

三、延期日數ノ當否

四、其ノ他參考トナルヘキ事項

第十六條　道路工事執行令施行細則第二十五條但書ノ願書ヲ受ケタルトキハ前條ノ例ニ依リ其ノ損害ノ程度ヲ知リ得ヘキ設計書ヲ作製シ之カ採否ニ關スル意見ヲ副申スヘシ

第十七條　所長專行ニ屬スル工事ノ竣功又ハ材料ノ完納ニ關スル屆書ヲ受ケタルトキハ設計書又ハ材料調書ニ對照檢查ノ上屆書餘白ニ檢查又ハ檢收年月日ヲ附記シ署名捺印ノ上進達スヘシ改築又ハ補修工事ヲ命シタルモノニ在リテハ監督上ノ顚末書ヲ添附スヘシ

第十八條　所長專行以外ノ工事ノ竣功又ハ材料ノ完納屆ヲ受ケタルトキハ速ニ仮檢查ヲ爲シ屆書餘白ニ「年月日假檢查濟」ト附記シ所長認印ノ上進達スヘシ改築又ハ補修工事ヲ命シタルトキハ前條ノ例ニ依ルヘシ

第四章　補助工事

第十九條　翌年度ニ於テ施行セントスル土木工事ノ縣費補助申請書ヲ受ケタルトキハ其ノ施行ノ緩急及設計ノ當否ヲ調查シ意見書及查定表(第二十五號樣式)並ニ查定設計書ヲ添附シ六月末日迄ニ進達スヘシ但シ補助ノ必要ナシト認ムルモノハ查定設計書ノ添附ヲ要セス

縣費補助查定金額ノ通知ヲ受ケタルトキハ實施設計

書ヲ作製シ一月末日迄ニ提出スヘシ

災害ニ因リ又ハ國若ハ縣ノ起業ニ係ル工事ニ依リ必要ヲ生シタル土木工事ノ縣費補助申請書ヲ受ケタルトキハ二十日以內ニ其ノ緩急及設計ノ當否ヲ調査シ査定表及査定設計書ヲ添ヘ進達スヘシ

第二十條　縣費補助工事ニ關シ設計變更ノ申請書ヲ受ケタルトキハ左ノ各號ニ付副申スヘシ

一、變更設計及變更理由ノ當否

二、材料又ハ單價ノ變更若ハ監督費雜費ノ增額アルトキハ其ノ當否

三、其ノ他必要ノ事項

第二十一條　縣費補助工事ニ付テハ常ニ周密ナル注意ヲ拂ヒ請負ノ方法其ノ他ニ關シ不正アルコトヲ聞知シタルトキハ速ニ土木課長ニ內報スヘシ

第五章　雜則

第二十二條　所長專行ニ屬スル物品ノ購入又ハ修理ヲ爲ストキハ見積書ヲ徵シ餘白ニ「年月日納入修繕下命」ト朱書シ所長捺印シ納入又ハ修理ヲ了シタルトキハ代金請求書ヲ徵シ其ノ餘白ニ「年月日納入修理物品出納簿記載濟」ト朱書シ所長捺印ノ上關係書類ヲ添ヘ進達スヘシ但シ本廳拂ニ屬スルモノハ無印領收證ヲ以テ請求書ニ代フルコトヲ得

第二十三條　所長專行ニ屬スル不用古材ノ賣却ニ在リテハ直ニ關係書類ヲ添附シ代金徵收方ヲ當該市町村長ニ通知シ同時ニ其ノ旨報告スヘシ

所長專行ニ屬セサル不用品ノ賣却ニ付テハ其ノ品目數量見積價格及事由ヲ記載シ上申スヘシ

第二十四條　單價表資料ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ每年二月末日迄ニ土木課長ニ提出スヘシ

第二十五條　所長及所員ハ工事監督日誌ヲ携帶シ何時ニテモ上司ノ檢閱ニ供スヘシ

第二十六條　所長及所員轉勤ヲ命セラレタルトキハ通知ヲ受ケタル日ヨリ五日以內ニ赴任スヘシ

第二十七條　轉勤、免官、解職等ノ場合ニ在リテハ所長ハ後任者ニ事務ヲ引繼キ目錄ヲ作成シ雙方連署ノ上土木課長ニ報告スヘシ

所員ハ所長指名ノ者ニ其ノ擔任事務ヲ引繼キ目錄ヲ作製シ雙方連署ノ上所長ニ提出スヘシ

第二十八條　病氣其ノ他ノ事故ニ依リ出動スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ所長ハ本廳ニ所員ハ所長ニ屆出ツヘシ

其ノ缺勤七日以上ニ涉ルモノハ總テ本廳ニ屆出ツヘシ

第二十九條　所員ノ休暇ハ左ノ如シ但シ公務ノ爲必要アルトキハ此ノ限ニ在ス

一、一月一日、二日、三日

二、十二月二十九日、三十日、三十一日

三、大祭祝日

四、二月乃至十一月中ニ於テ每月二日以內

第三十條　所長ハ每月所員ノ勤務狀態ヲ調査シ翌月五日迄ニ土木課長ニ報告スヘシ

第三十一條　出張所ニハ左ノ簿冊ヲ備ヘ常ニ之ヲ整理スヘシ

國府縣道臺帳	第一號樣式
道路占用臺帳	第二號樣式
堤防護岸臺帳	第三號樣式
土木工事施行許可臺帳	第四號樣式
國有財產使用臺帳	第五號樣式
堤防占使用許可臺帳	第六號樣式
工事臺帳	第七號樣式
所員名簿	第八號樣式
傭人名簿	第九號樣式
出勤簿	第十號樣式
文書整理簿	第十一號樣式
豫算整理簿	第十二號樣式
請負人名簿	第十三號樣式
郵便切手受拂簿	第十四號樣式
收入印紙受拂簿	第十四號樣式
備品出納簿	縣會計規則中各廨ニ於ケル帳簿式ニ仝
消耗品出納簿	第十五號樣式
日誌	
地圖	

其ノ他所長ニ於テ必要ト認メタル簿冊

第三十二條　處理濟文書ハ左ノ區分ニ依リ編纂スヘシ

一、例規文書　編冊　將來例證トナルヘキ重要書類

二、雜件文書　編冊　第一號ニ屬セサル文書

所長ニ於テ必要ト認ムルトキハ前各號ノ文書ヲ更ニ分類シ編纂スルコトヲ得

第三十三條　本令ニ規定スルモノノ、外處務ノ準序公文例其ノ他服務ニ關シテハ本廳處務細則ノ規定ニ據ル

附則

本令ハ土木出張所規程施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（第一號樣式）

表）

（紙

國府縣道臺帳

甲（第一號樣式）

國府縣道臺帳

| | | |

摘要

乙

橋梁調書

路線名	橋梁名	河川等名稱	位置	橋種	材質	耐力	延長	純徑間 長	純徑間 數	有效幅員	橋面上有效高	竣功年月日	備考

丙

隧道調書

路線名	隧道名	位置	延長	有效幅員	路面上高	卷立ノ種類	竣功年月日	備考

丁

溝橋調書

路線名	溝橋名	位置	種類	延長		大イサ又ハ直徑		備考
					米		米	